

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2020年1月9日提出
【発行者名】	明治安田アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大崎 能正
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門三丁目4番7号
【事務連絡者氏名】	植村 吉二 連絡場所 東京都港区虎ノ門三丁目4番7号
【電話番号】	03-6731-4721
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	明治安田グローバルバランスオープン
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	上限 1,000億円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

（１）【ファンドの名称】

明治安田グローバルバランスオープン（以下「当ファンド」ということがあります。）

愛称として、「五穀豊穡」という名称を用いることがあります。

（２）【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の受益権（以下「受益権」といいます。）

当初の１口当たり元本は、１円（１万口当たり元本金額１万円）です。

当ファンドについて、委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供された信用格付、または信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「（１１）振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第２条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社である明治安田アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

（３）【発行（売出）価額の総額】

上限 1,000億円とします。

（４）【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額 とします。

取得申込の受付は、販売会社の営業日の午後３時までとします。なお、当該受付時間を過ぎてからの申込は、翌営業日の取扱いとします。

基準価額は委託会社の営業日に日々計算されます。基準価額は販売会社または下記へお問い合わせください。また、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号 0120-565787（受付時間は、営業日の午前９時～午後５時）

ホームページアドレス <http://www.myam.co.jp/>

「基準価額」とは、ファンドの資産総額から負債総額を控除した金額（純資産総額）を計算日における受益権総口数で除して得た１口当たりの価額をいいます。なお、便宜上１万口当たりに換算した価額で表示されます。

（５）【申込手数料】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、2.2%（税抜2.0%）を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは、お申込みの販売会社までお問い合わせください。

分配金再投資コース の場合、収益分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。

分配金再投資コースでは、自動継続投資契約（計算期末に支払われる収益分配金で当ファンドの買付を自動的に行うことに関して、当ファンドの当初取得申込時にあらかじめ指定する契約。販売会社により名称が異なる場合があります。）を販売会社と結びます。

（６）【申込単位】

販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

取得申込者が販売会社との間で、自動継続投資契約および定時定額購入取引に関する契約等を締結した場合、当該契約に規定する単位とします。

当ファンドには、収益分配金の受取方法により「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」があります。いずれのコースも販売会社が定めるお申込単位となります。なお、収益分配金の受取方法を途中で変更することはできません。詳しくは販売会社までお問い合わせください。

自動継続投資契約に基づく収益分配金の再投資については、１口単位とします。

販売会社により、どちらか一方のコースのみお取扱いとなる場合があります。

（７）【申込期間】

2020年1月10日から2020年7月9日まで

申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

当ファンドは、信託約款の規定に基づき、2020年2月26日に信託終了（繰上償還）を行う予定であり、現在、異議申立て手続き中です。当ファンドの信託終了（繰上償還）が決定された場合は、2020年1月22日を最終受付日として翌営業日から取得申込の受付を中止するとともに、以後、申込期間の更新は行われません。

（８）【申込取扱場所】

申込取扱場所は原則として販売会社の本支店、営業所等とします。

販売会社については下記へお問い合わせください。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号 0120-585787（受付時間は、営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス <http://www.myam.co.jp/>

販売会社と販売会社以外の取次会社が取次契約を結ぶことにより、当該取次会社がファンドの取扱いを当該販売会社に取次ぐ場合があります。

（ 9 ）【払込期日】

取得申込者は、販売会社が定める日までに申込代金（申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じた額）、申込手数料および申込手数料に係る消費税等に相当する金額の合計額）を販売会社に支払うものとし、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

振替受益権に係る各取得申込日の発行価額の総額は、追加信託が行なわれる日に委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

（ 10 ）【払込取扱場所】

申込を受付けた販売会社とします。申込代金は販売会社にお支払いください。

販売会社につきましては、「（ 8 ）申込取扱場所」をご参照下さい。

（ 11 ）【振替機関に関する事項】

株式会社証券保管振替機構

（ 12 ）【その他】

申込証拠金

該当事項はありません。

本邦以外の地域における発行

該当事項はありません。

決算日

年1回（4月10日。休業日の場合は翌営業日）

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「（ 11 ）振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取り扱われるものとし、ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および上記「（ 11 ）振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

当ファンドは、信託約款の規定に基づき、2020年2月26日に信託終了（繰上償還）を行う予定です。

2019年12月11日から2020年1月21日までの間に異議申立のあった受益者の受益権の合計口数が、2019年12月11日現在の当ファンドに係る受益権の総口数の二分の一を超えないときは、予定通り信託終了（繰上償還）を行います。

また、異議申立のあった受益者の受益権の合計口数が二分の一を超えた場合には、信託終了（繰上償還）が中止されます。この場合、信託終了（繰上償還）を行わない旨およびその理由を速やかに公告し、かつ2019年12月11日現在における知れている受益者の方に書面でお知らせいたします。

なお、信託終了（繰上償還）の決定（2020年1月22日予定）につきましては、当社ホームページ上にてご確認いただけます。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

明治安田グローバルバランスオープンは、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

また、内外の株式・公社債ならびに短期金融資産に直接投資することがあります。

当ファンドは一般社団法人投資信託協会が定める分類方法において以下の通りとなっております。

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。

・商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型	国内 海外	株式 債券 不動産投信
追加型	内外	その他資産（ ） 資産複合

< 商品分類表（網掛け表示部分）の定義 >

追加型

一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。

内外

目論見書または投資信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

資産複合

目論見書または投資信託約款において、株式、債券、不動産投信、その他資産の各資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

・属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株	年1回 年2回 年4回	グローバル (日本含む) 日本 北米		
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年6回 (隔月) 年12回 (毎月)	欧州 アジア オセアニア	ファミリーファンド	あり ()
不動産投信	日々	中南米	ファンド・ オブ・ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券 (資産複合(株式、債券) 資産配分変更型))	その他 ()	アフリカ 中近東 (中東) エマージング		
資産複合 () 資産配分固定型 資産配分変更型				

< 属性区分表（網掛け表示部分）の定義 >

その他資産（投資信託証券（資産複合（株式、債券）資産配分変更型））

目論見書または投資信託約款において、投資信託証券（投資形態がファミリーファンドまたはファンド・オブ・ファンズのものを行います。）を通じて、主として株式、債券に投資し、組入比率については機動的な変更を行なう旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないものを行います。

年1回

目論見書または投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものを行います。

グローバル（日本含む）

目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界（日本を含む。）の資産を源泉とする旨の記載があるものを行います。

ファミリーファンド

目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものを行います。

為替ヘッジなし

目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものを行います。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

当ファンドが該当しないその他の商品分類および属性区分の定義等については、一般社団法人投資信託協会ホームページ（URL: <https://www.toushin.or.jp/>）で閲覧が可能です。

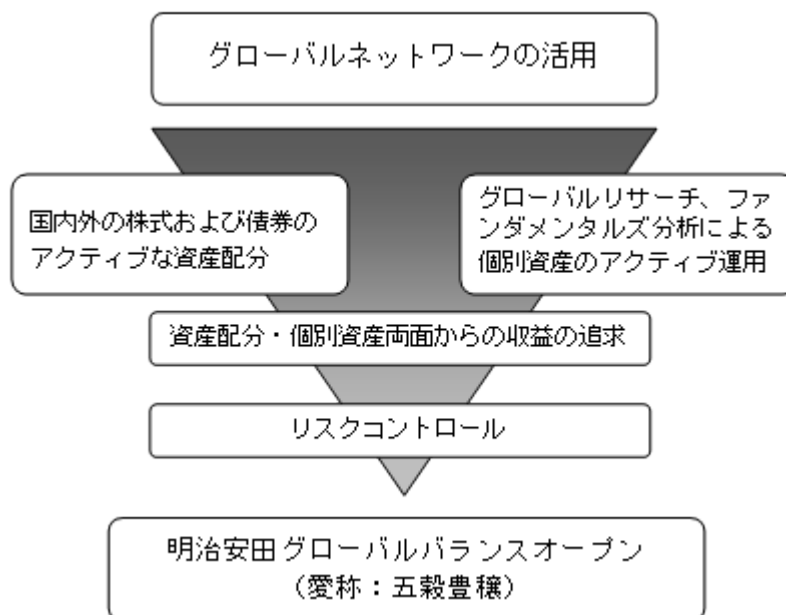
信託金の限度額：上限 1,000億円

委託会社は、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

ファンドの特色

主として「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド」および「明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド」（以下「各マザーファンド」といいます）の各受益証券への投資を通じて、国内株式・国内債

券・外国株式・外国債券の資産配分をアクティブに行い、資産配分と個別資産の運用の両方で安定的な超過収益の獲得を目指します。また、内外の株式、公社債ならびに短期金融資産に直接投資する事があります。



リサーチの特色

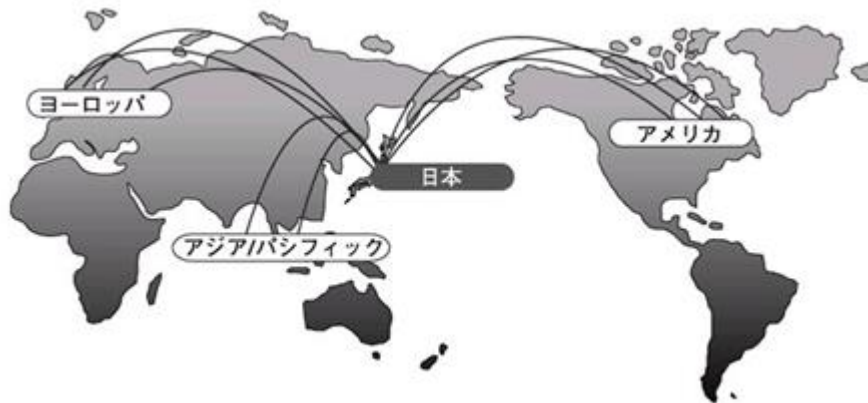
1. リサーチの視点

- ・ファンダメンタルズリサーチを重視した運用により、株式・債券で市場を上回る収益獲得を目指します。経済・企業活動のグローバル化により世界の市場の統合度は高まりつつあり、グローバルな視点に基づくリサーチ・運用を重視しています。
- ・株式運用においては、国際銘柄比較を重視したグローバル・ベースのボトムアップ・リサーチ（企業調査）に付加価値の源泉を求め、成長性を持ちかつクオリティー（経営内容の質、財務体質等）の高い銘柄に投資します。
- ・債券運用においては、為替や金利の水準・期間構造の変化を生み出す中期的なマクロ経済トレンドの分析・予測に重点を置き、アクティブな国別配分、通貨配分、デュレーションの変更により付加価値の追求を行います。

2. リサーチの体制

< グローバルリサーチ >

海外の調査・運用に関しては、ヨーロッパ、アメリカ、アジア/パシフィックをカバーするアリアンツ・グローバル・インベスターズグループのネットワークを活用します。

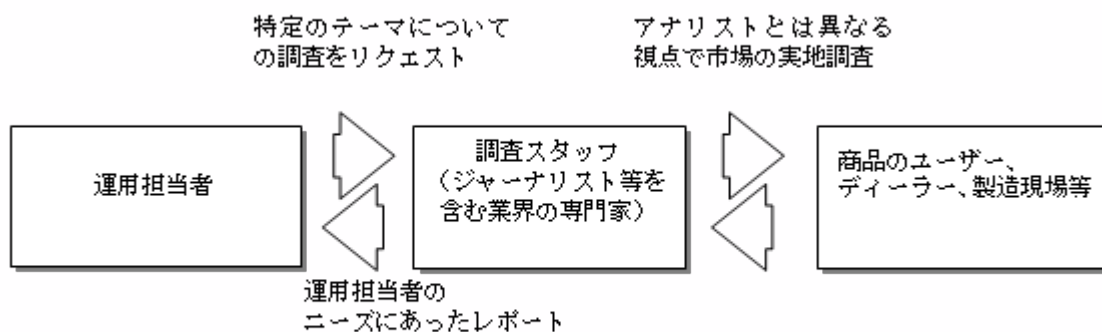


< グラスルーツリサーチ >

グラスルーツリサーチはアナリストおよびポートフォリオ・マネジャーの問題提起に基づき外部のリサーチャーを活用して、運用判断のサポートとなる特定の業界、製品、顧客動向等の調査を行うアリアンツ・グローバル・インベスターズグループのユニークなシステムで、グローバルな視点で競争環境や事業の発展など、現在及び将来の投資に影響を与える重要な情報収集を捉えることを目的とします。グラスルーツリサーチが厚みのある情報を提供します。

- ・アリアンツ・グローバル・インベスターズグループ独自の調査ネットワークです。
- ・運用担当者が調査テーマをリクエストします（調査の双方向性）。
- ・商品のユーザー、ディーラーあるいは製造現場の声を調査します。

（グラスルーツリサーチのイメージ）



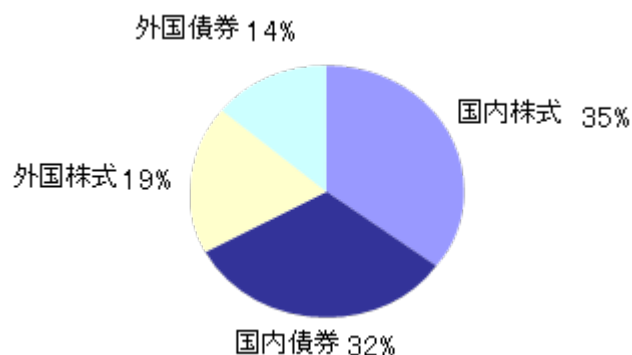
※ グラスルーツリサーチは、通常のファンダメンタルズリサーチの補完的な位置付けであり、組入れる銘柄すべてについて行うわけではありません。

各マザーファンドの基本資産配分の比率は、当社の投資プロセスに基づいて毎月見直します。

<資産配分戦略の特徴>

- ・国内外の株式および債券を投資対象とした分散投資を行います。各アセット・クラス間でアクティブに資産配分を行い、資産配分と個別資産の運用の両方で安定的な収益の獲得を目指します。
- ・当社のグローバル バランス運用は、3段階で付加価値を追求します。
 - 1．日本株式、日本債券、外国株式、外国債券の各アセット・クラスの間で、リスクをコントロールしつつアクティブに配分を決定します。
 - 2．株式運用プロセスは個別銘柄選択を重視し、国別・セクター別アロケーションはリスクコントロールとして位置づけます。
 - 3．債券運用プロセスは、リスクをコントロールしつつ、ベンチマークに対する通貨・デュレーション・イールド カーブ ポジショニングを重視します。
- ・資産配分戦略（アセット・アロケーション）の決定
アセット・アロケーションは、資産別各運用チームから提供される情報をもとに毎月投資政策委員会で協議され、決定されます。（相場急変時には臨時にアセット・アロケーションの変更を検討し、必要に応じて見直しを行います。）

<アセット・アロケーション> 標準的資産配分イメージ



（単位：％）

資産	標準的 資産配分比率	変動範囲
国内株式（明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド、 明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド）	35	± 15
国内債券（明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド）	32	± 15
外国株式（明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド）	19	± 10
外国債券（明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド）	14	± 10

標準的資産配分比率および変動範囲は、あくまでも資料作成時点において想定しているものであり、今後の経済・金融情勢動向により予告なく見直す場合があります。

TOPIX(東証株価指数)、NOMURA - BPI総合、MSCI - KOKUSAI(円換算値)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)を個別資産のベンチマークとします。

TOPIX(東証株価指数)は、日本国内の株式市場の動向を的確に表すために、株式会社東京証券取引所(以下、東京証券取引所といいます。)が公表する株価指数で、東京証券取引所市場第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。TOPIXの指数値及びTOPIXの商標は、東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利及びTOPIXの商標に関するすべての権利は東京証券取引所が有します。また、同社は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

NOMURA - BPI総合は、日本国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

MSCI - KOKUSAIは、MSCI Inc. が算出・公表している株価指数で、日本を除く世界主要国の株式市場の動きを捉える基準として広く認知されているものです。MSCI - KOKUSAIに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、同社は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。なお、ドルベースの指数(配当込み、ヘッジなし)をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて、委託会社において円換算値を計算しています。

FTSE世界国債インデックスは、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(2)【ファンドの沿革】

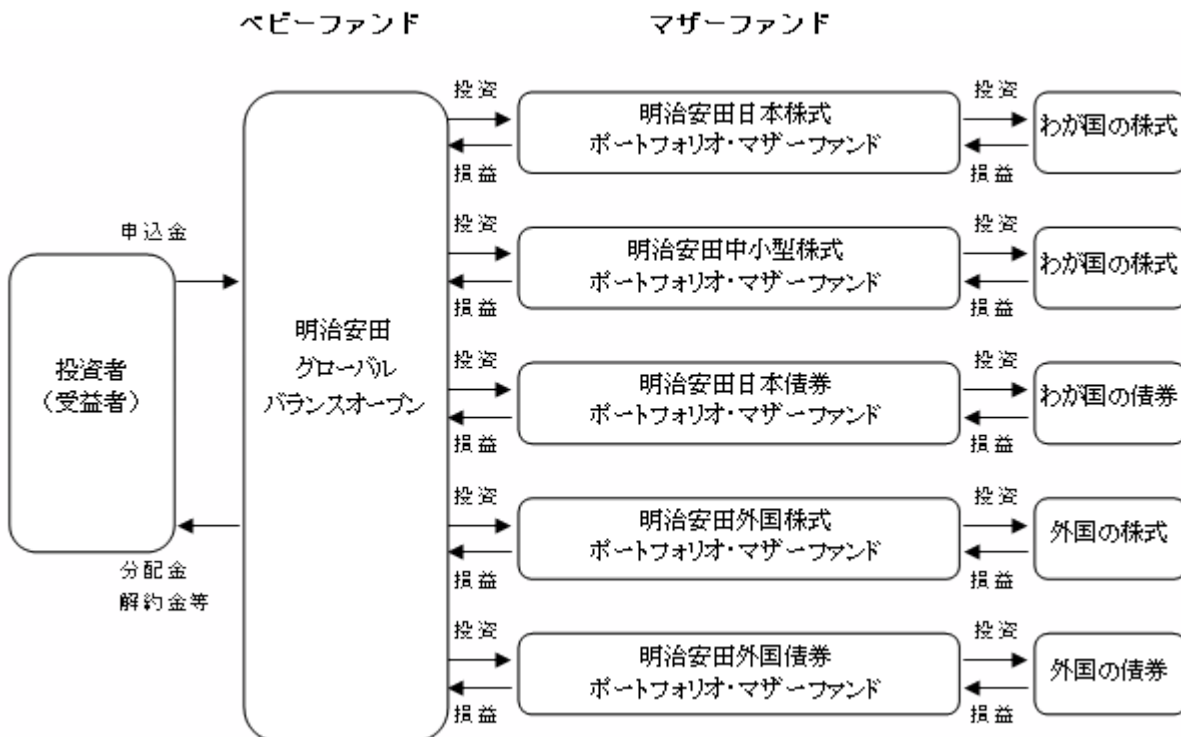
- 2001年 4月11日 信託契約締結、ファンドの設定、ファンドの運用開始
- 2009年 4月 1日 ファンドの名称を「明治ドレスナー・グローバルバランスオープン」から「MDAMグローバルバランスオープン」に変更
- 2010年10月 1日 ファンドの名称を「MDAMグローバルバランスオープン」から「明治安田グローバルバランスオープン」に変更

（３）【ファンドの仕組み】

ファンドの仕組み

運用にあたってはファミリーファンド方式を採用し、実質的な運用をマザーファンド（以下「親投資信託」ともいいます。）で行う仕組みになっています。

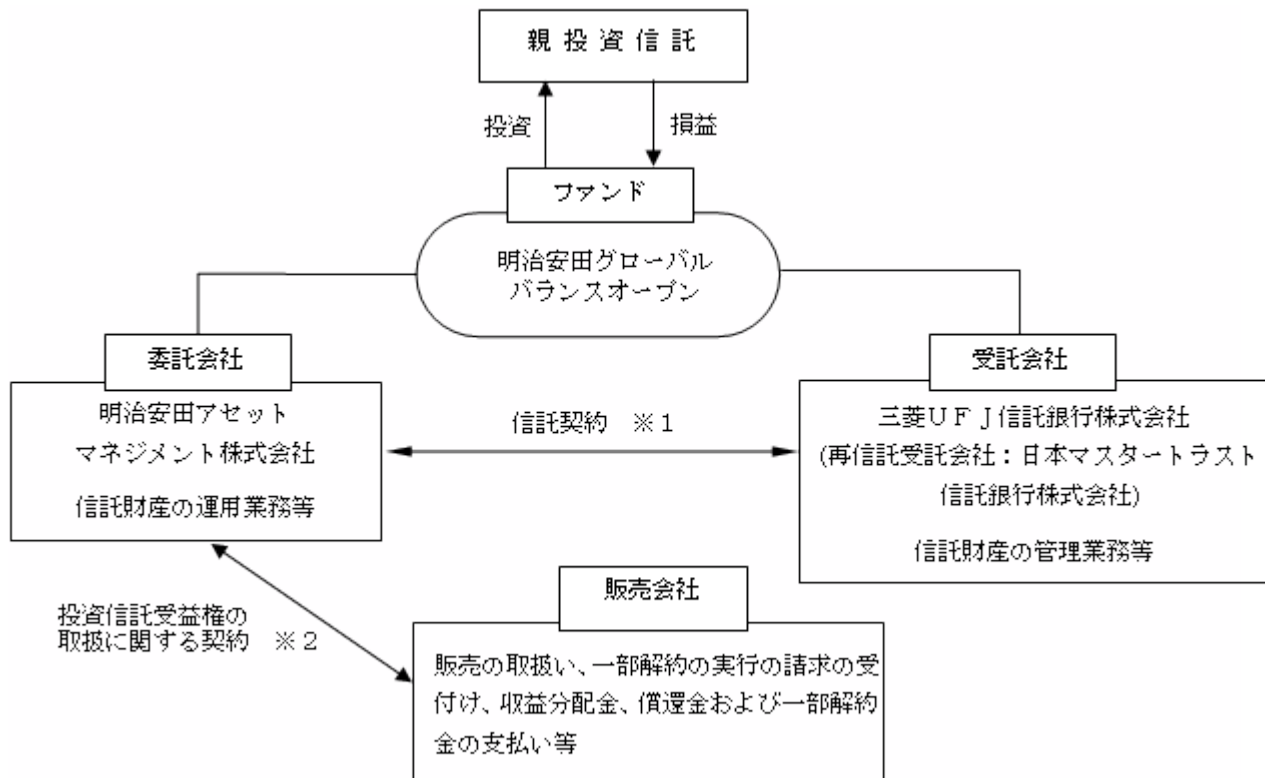
「ファミリーファンド方式」とは、お客さまからご投資いただいた資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。



損益はすべて投資者である受益者に帰属します。

委託会社等及びファンドの関係法人

1. 委託会社（委託者）： 明治安田アセットマネジメント株式会社
信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）及び運用報告書の作成等を行います。
2. 受託会社（受託者）： 三菱UFJ信託銀行株式会社
信託財産の保管・管理業務等を行います。（受託者は信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。）
3. 販売会社
ファンドの販売会社として募集・販売の取扱い、一部解約実行の請求の受付、収益分配金、償還金等の支払い、運用報告書の交付等を行います。



1 信託契約

委託会社と受託会社との間において「信託契約（信託約款）」を締結しており、委託会社及び受託会社の業務、受益者の権利、投資信託財産の運用・評価・管理、収益の分配、信託期間、償還等を規定しています。

2 投資信託受益権の取扱いに関する契約

委託会社と販売会社との間において「投資信託受益権の取扱いに関する契約」を締結しており、販売会社が行う募集・販売等の取扱い、収益分配金及び償還金の支払い、買取り及び解約の取扱い等を規定しています。

委託会社等の概況

1．資本金の額（本書提出日現在） 10億円

2．委託会社の沿革

1986年11月： コスモ投信株式会社設立

1998年10月： ディーアンドシーキャピタルマネジメント株式会社と合併、商号を「コスモ投信投資顧問株式会社」に変更

2000年2月： 商号を「明治ドレスナー投信株式会社」に変更

2000年7月： 明治ドレスナー・アセットマネジメント株式会社と合併、商号を「明治ドレスナー・アセットマネジメント株式会社」に変更

2009年4月： 商号を「MDAMアセットマネジメント株式会社」に変更

2010年10月： 安田投信投資顧問株式会社と合併、商号を「明治安田アセットマネジメント株式会社」に変更

3．大株主の状況（本書提出日現在）

氏名又は名称	住所	所有 株式数	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	17,539株	92.86%
アリアンツ・グローバル・ インベスターズ ゲー・エム・ペー・ハー	ドイツ, 60323 フランクフルト・ アム・マイン, ボッケンハイマー・ ラントシュトラッセ 42-44	1,261株	6.68%
富国生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町2-2-2	87株	0.46%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

1．運用方針

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、運用を行います。

2．運用の形態等

各マザーファンドを通して、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券に分散投資し、資産配分と個別資産の運用の両方で安定的な収益の獲得を目指すアクティブ運用を行います。

3．投資態度

主として「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド」および「明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド」の各受益証券への投資を通じて、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券の資産配分をアクティブに行い、資産配分と個別資産の運用の両方で安定的な超過収益の獲得を目指します。

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンドの基本資産配分の比率は、当社の投資プロセスに基づいて毎月見直します。

TOPIX（東証株価指数）、NOMURA - BPI総合、MSCI - KOKUSAI（円換算値）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）を個別資産のベンチマークとします。

実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いませんが、市況動向等によっては一部為替ヘッジを行う場合があります。

資金動向、市況動向等によっては前記のような運用ができない場合があります。

（参考）親投資信託の概要

・「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド」

運用の基本方針

1．基本方針

この投資信託は、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果をめざして運用を行います。

2．運用方法

（1）投資対象

わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。

（2）投資態度

TOPIX500に含まれている銘柄を主要投資対象とします。

投資する銘柄数は、50前後を目安とします。

株式の組入比率は原則として高位を保ちます。

リサーチを最重要視しファンダメンタルズ分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資が運用パフォーマンスの向上に繋がるとの考えに基づいて運用を行います。

投資については、アナリストおよびポートフォリオ・マネジャーによるファンダメンタルズ分析、企業への訪問・ヒアリング、グラスルーツリサーチをベースとして、企業の成長性、クオリティーおよびバリュエーション（企業価値評価）を重視した銘柄選定を行います。

年金運用で培ったリスクコントロール手法を活用し、長期保有での資産価値の増大をめざした運用を行います。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場におけるわが国の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引（以下「有価証券先物取引等」といいます。）を行うことができます。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なる受取金利または異なる受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことができます。

信託財産の効率的な運用等に資するため、有価証券の貸付けおよび資金の借入れを行うことができます。

非株式割合は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

資金動向、市況動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用が出来ない場合があります。

（3）投資制限

株式への投資には制限を設けません。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産への投資は行いません。

信用取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券先物取引等を約款所定の範囲で行います。

スワップ取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券の貸付けおよび資金の借入れを約款所定の範囲で行います。

・「明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド」

運用の基本方針

1．基本方針

この投資信託は、わが国の中小型株式に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。

2．運用方法

(1) 投資対象

わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

おもにTOPIX500対象銘柄以外の銘柄を主要投資対象とします。

投資する銘柄数は、50～80程度を目安とします。

株式の組入比率は原則として高位を保ちます。

リサーチを最重要視しファンダメンタルズ分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資が運用パフォーマンスの向上に繋がるとの考えに基づいて運用を行います。

企業トップマネジメントとのミーティングを重視したボトムアップ・リサーチにグラスルーツリサーチを加え成長企業の発掘・選別を行います。（グラスルーツリサーチはアナリストおよびポートフォリオ・マネジャーの問題提起に基づき外部のリサーチャーを活用して、運用判断のサポートとなる特定の業界、製品、顧客動向等の調査を行うアリアンツ・グローバル・インベスターズグループのユニークなシステムで、グローバルな視点での日本企業の活動分析にも力を発揮するリサーチ手法です。）

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場におけるわが国の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引（以下「有価証券先物取引等」といいます。）を行うことができます。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことができます。

信託財産の効率的な運用等に資するため、有価証券の貸付けおよび資金の借入れを行うことができます。

非株式割合は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

資金動向、市況動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用が出来ない場合があります。

(3) 投資制限

株式への投資には制限を設けません。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産への投資は行いません。

信用取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券先物取引等を約款所定の範囲で行います。

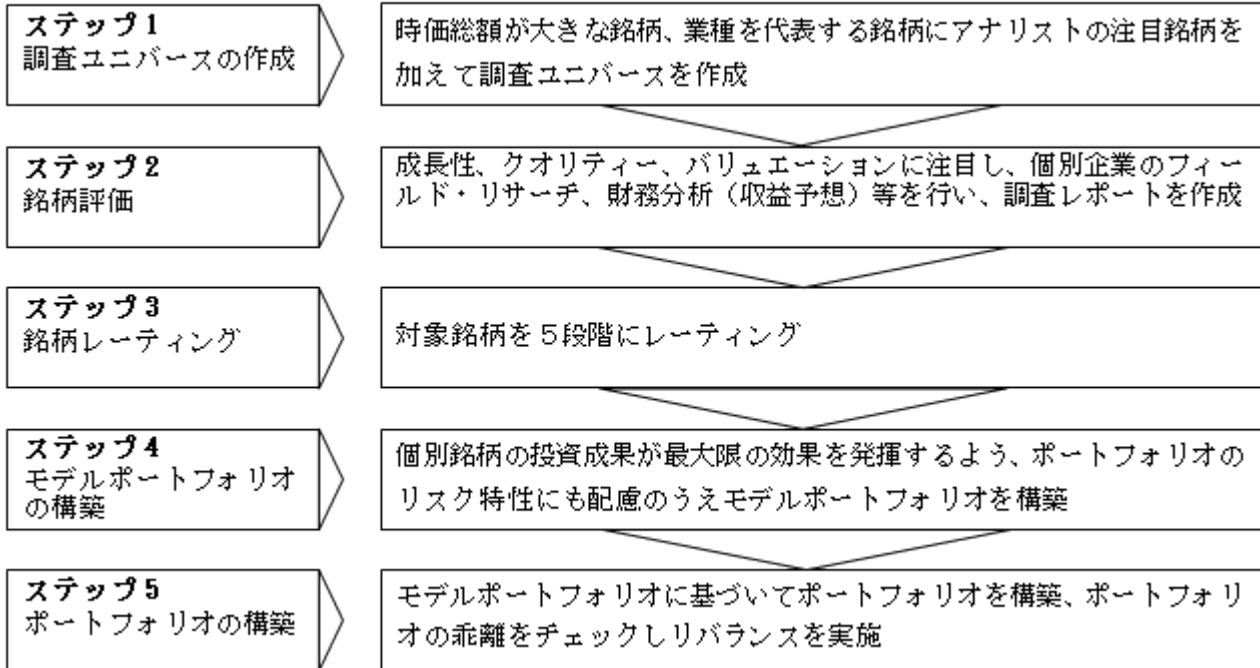
スワップ取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券の貸付けおよび資金の借入れを約款所定の範囲で行います。

「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド」を通しての国内株式運用の特色

- ・TOPIX（東証株価指数）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。
- ・運用にあたっては、当社の投資プロセスでポートフォリオの構築、リスク管理を行います。

運用プロセスの概要



・「明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド」

運用の基本方針

1．基本方針

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

2．運用方法

(1) 投資対象

邦貨建ての国債、政府保証債、地方債、利付金融債、社債等を主要投資対象とします。

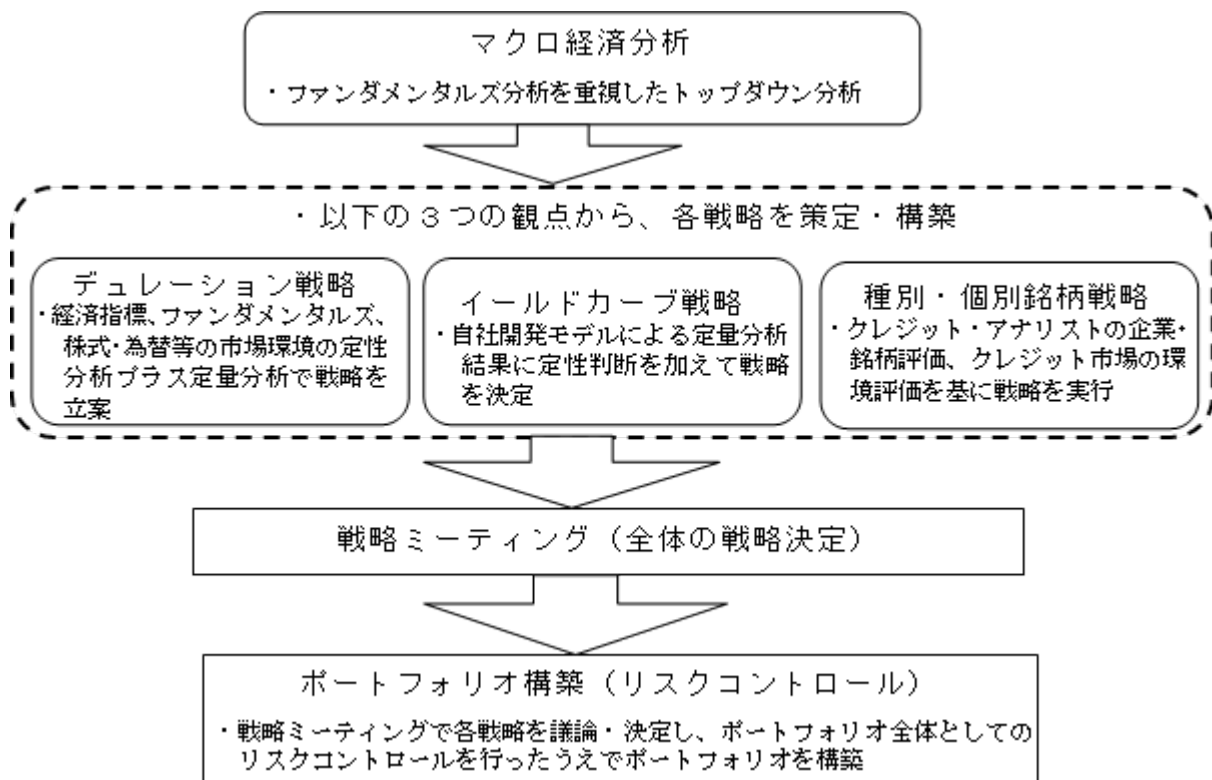
(2) 投資態度

「NOMURA - BPI総合」をベンチマークとしてこれを中長期的に上回る投資成果を目指します。

信用リスクの低減を図るため、原則として取得時に信用ある格付会社によるA格相当以上の格付けを有する公社債およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断した公社債に投資します。

格付けとは、債券などの元本および利息の支払能力などを専門的な第三者（信用格付業者等）が評価した意見です。格付けが高い債券ほど安全性が高いとされています。一方、発行体にとっては格付けが高いほど有利な条件で発行ができるため、一般的に、格付けが高い債券ほど利回りは低く、格付けが低い債券ほど利回りは高くなります（以下同じ）。

運用にあたっては、当社の投資プロセスでポートフォリオの構築、リスク管理を行います。



債券市場は、長期的には経済のファンダメンタルズによって変動するという考えを基本としファンダメンタルズ分析を重視したアクティブ運用を行います。

マクロ経済分析をベースとした金利の方向性予測等に基づき、市況動向やリスク分散等をも勘案して、デュレーションの調整、イールドカーブポジショニングのコントロールを行います。

公社債の組入比率は、原則として高位を保ちます。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場におけるわが国の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引（以下「有価証券先物取引等」といいます。）を行うことができます。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）ならびに金利先渡取引を行うことができます。

(3) 投資制限

株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産への投資は行いません。

有価証券先物取引等を約款所定の範囲で行います。

スワップ取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券の貸付けおよび資金の借入りを約款所定の範囲で行います。

金利先渡し取引を約款所定の範囲で行います。

・「明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド」

運用の基本方針

1. 基本方針

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

2. 運用方法

(1) 投資対象

世界各国（日本を除く）の株式を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

MSCI-KOKUSAI（円換算値）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果をめざします。

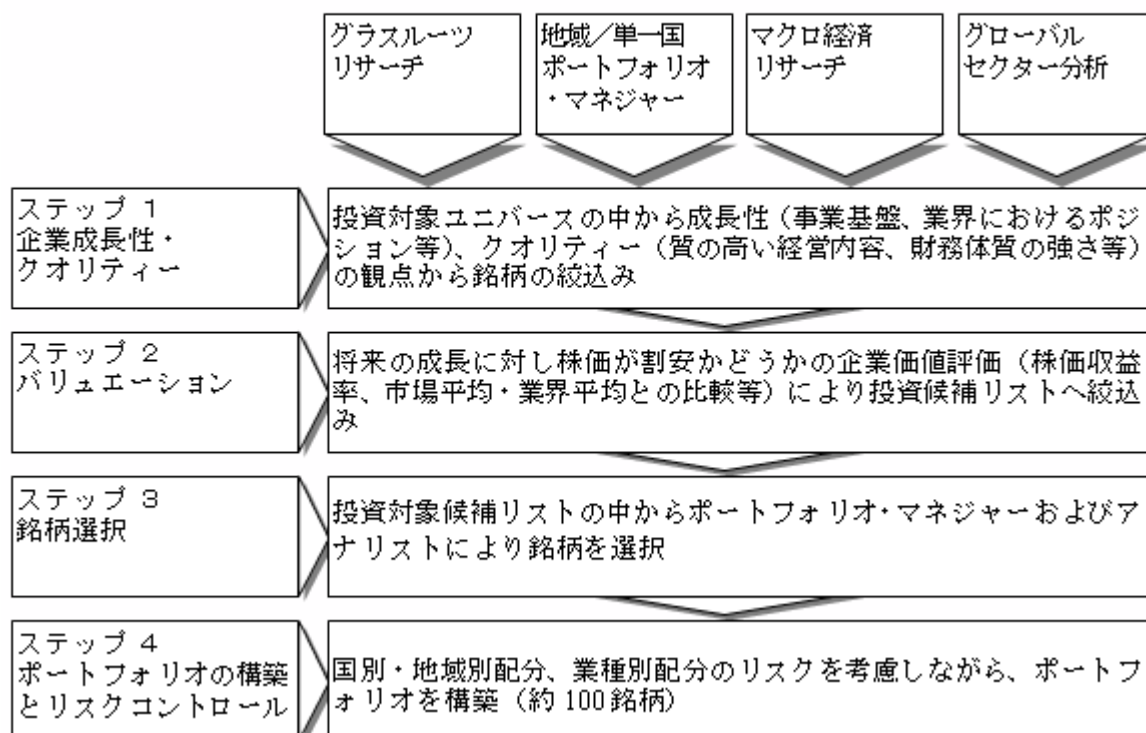
MSCI-KOKUSAIに採用されている国（構成国についてはMSCIの定期的な見直しにより変更される場合があります。）を主な投資対象国としますが、市況動向により、それ以外の国に投資することもあります。

リサーチを最重要視しファンダメンタルズ分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資が運用パフォーマンスの向上に繋がるとの考えに基づいて運用を行います。

国際銘柄比較を重視したグローバル・ベースのボトムアップ・リサーチ（企業調査）に付加価値の源泉を求め、成長性を持ちかつクオリティーの高い銘柄に投資します。

- a. 成長性（事業基盤、業界におけるポジション等）、クオリティー（質の高い経営内容、財務体質の強さ等）に着目し、投資対象銘柄の絞込みをします。
- b. 将来の成長に対し、株価が割安かどうかの企業価値評価（株価収益率、市場平均・業界平均との比較等）を行い、投資候補リストへの絞込みをします。
- c. 投資候補リストの中から、国別・地域別配分、業種別配分のリスクを考慮しながら、ポートフォリオを構築します。

運用プロセスの概要



銘柄選定にあたってはアナリストおよびポートフォリオ・マネジャーによるファンダメンタルズ分析に注力したグローバルリサーチと、その補完的役割を果たすグラスルーツリサーチを活用して、企業の成長性、クオリティーおよびバリュエーション（企業価値評価）を重視します。

グラスルーツリサーチはアナリストおよびポートフォリオ・マネジャーの問題提起に基づき外部のリサーチャーを活用して、運用判断のサポートとなる特定の業界、製品、顧客動向等の調査を行うアリアンツ・グローバル・インベスターズグループのユニークなシステムで、グローバルな視点で競争環境や事業の発展など、現在及び将来の投資に影響を与える重要な情報収集を捉えることを目的とします。

株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。

組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。

外国為替予約取引を行います。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、通貨にか

かる先物取引、通貨にかかる選択権取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場におけるわが国の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、通貨にかかる先物取引、通貨にかかるオプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引(以下「有価証券先物取引等」といいます。)を行うことができます。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)および金利先渡取引ならびに為替先渡取引を行うことができます。

(3) 投資制限

株式への投資には制限を設けません。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

信用取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券先物取引等を約款所定の範囲で行います。

スワップ取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券の貸付けおよび資金の借入れを約款所定の範囲で行います。

金利先渡取引および為替先渡取引を約款所定の範囲で行います。

・「明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド」

運用の基本方針

1．基本方針

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

2．運用方法

(1) 投資対象

世界各国（日本を除く）の国債、国際機関債、社債等を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてこれを中長期的に上回る投資成果を目指します。

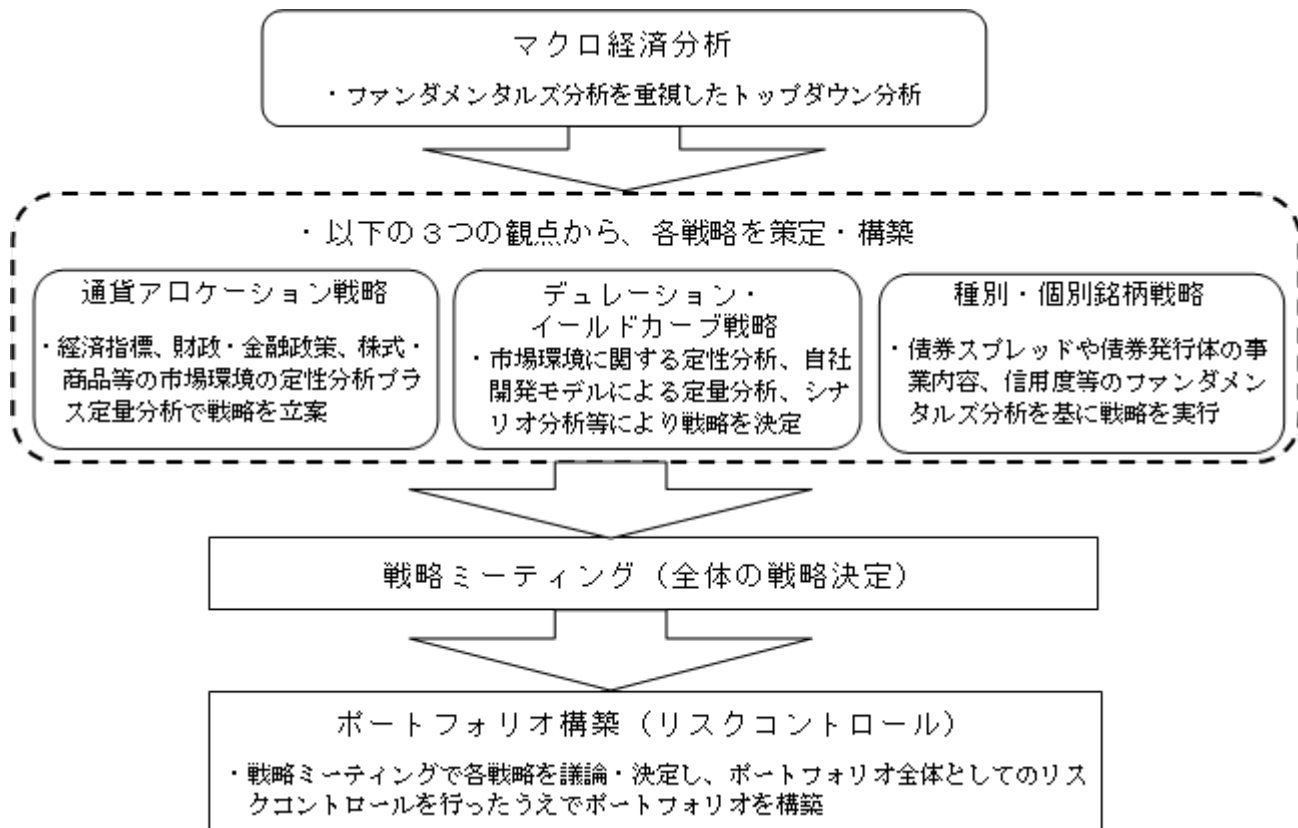
FTSE世界国債インデックスに採用されている国（構成国については定期的な見直しにより変更になる場合があります。）を主な投資対象国とします。

ファンドはインデックス構成国を主要投資対象国としますが、常に投資対象国すべてに投資するものではありません。

なお、ファンドは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしますが、ベンチマークを上回る場合もあれば下回る場合もあります。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果の実現を目指しますが、ベンチマークに対して一定の投資成果をあげることを保証するものではありません。また、ベンチマークは今後見直す場合があります。

信用リスクの低減を図るため、原則として取得時に信用ある格付会社によるA格相当以上の格付けを有する公社債およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断した公社債に投資します。

運用にあたっては、当社の投資プロセスでポートフォリオの構築、リスク管理を行います。



債券市場は、長期的には経済のファンダメンタルズによって変動するという考えを基本としファンダメンタルズ分析を重視したアクティブ運用を行います。

各国の政治、経済動向の変化や市況動向、リスク分散等を勘案して、国別・通貨別配分比率およびデュレーションの調整を行います。

公社債の組入比率は、原則として高位を保ちます。

組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。

外国為替予約取引を行います。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、通貨にかかる先物取引、通貨にかかる選択権取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場におけるわが国の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、通貨にかかる先物取引、通貨にかかるオプション取引、金利にかかる先物取引および金

利にかかるオプション取引と類似の取引(以下「有価証券先物取引等」といいます。)を行うことができます。

信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)および金利先渡取引ならびに為替先渡取引を行うことができます。

信託財産の効率的な運用等に資するため、有価証券の貸付けおよび資金の借入れを行うことができます。

(3) 投資制限

株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

有価証券先物取引等を約款所定の範囲で行います。

スワップ取引を約款所定の範囲で行います。

有価証券の貸付けおよび資金の借入れを約款所定の範囲で行います。

金利先渡取引および為替先渡取引を約款所定の範囲で行います。

前記各マザーファンドにおいて、資金動向、市況動向等によっては、前記のような運用ができない場合があります。

（２）【投資対象】

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ．有価証券
 - ロ．デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款に定めるものに限ります。）
 - ハ．約束手形（金融商品取引法第2条第1項第15号に掲げるものを除きます。）
- 二．金銭債権
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ．為替手形

委託会社は、信託金を、主として「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド」、「明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド」および「明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド」の各受益証券ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。ただし、私募により発行された有価証券（短期社債等を除く）に投資することを指図しません。

1. 株券または新株引受権証券
2. 国債証券
3. 地方債証券
4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券が一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
6. 特定目的会社に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
9. 特定目的会社に係る優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
10. コマーシャル・ペーパー
11. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から11.の証券または証書の性質を有するもの
13. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
14. 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
15. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
16. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
17. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
18. 外国の者が発行する譲渡性預金証書
19. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
20. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
21. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
22. 外国の者に対する権利で上記21.の有価証券の性質を有するもの

なお、上記1.の証券または証書、上記12.ならびに17.の証券または証書のうち上記1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、上記2.から6.までの証券および上記12.ならびに17.の証券または証書のうち上記2.から6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、上記13.および14.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することの指図ができます。

1. 預金

2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)

3. コール・ローン

4. 手形割引市場において売買される手形

5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの

6. 外国の者に対する権利で5.の権利の性質を有するもの

上記の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は信託金を上記「1.から4.」までの金融商品により運用することの指図ができます。

（３）【運用体制】

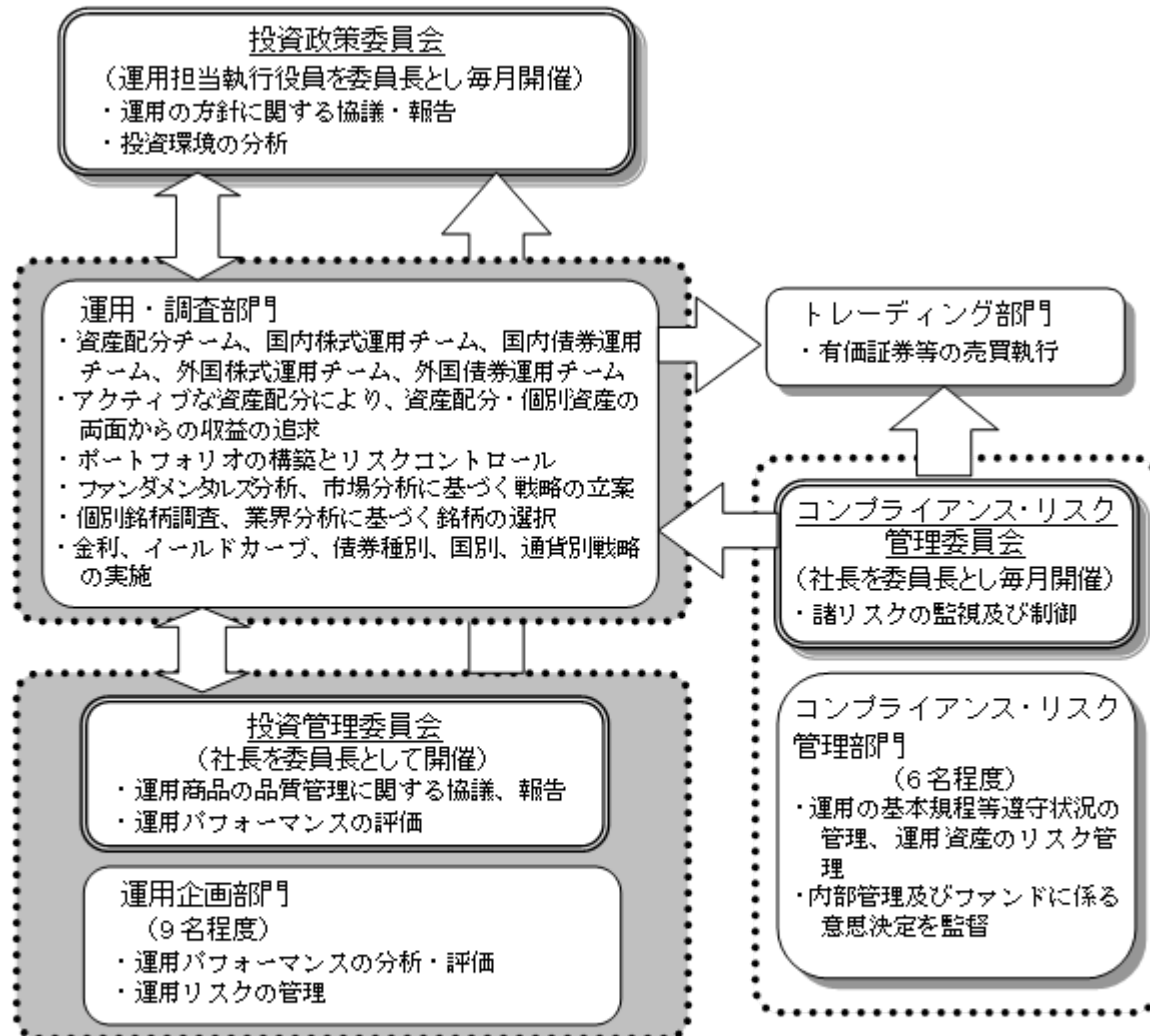
当ファンドの運用体制は以下の通りです。

投資政策委員会にて、マクロ経済環境・市況環境に関する分析、資産配分・資産毎の運用戦略に関する検討を行います。

ファンドの運用担当者は、投資政策委員会における分析・検討等を踏まえて運用計画を策定し、運用計画に基づき、有価証券等の売買をトレーディング部門に指図します。

ファンドに関する運用の基本規程等の遵守状況の管理、運用資産のリスク管理は、運用部門から独立したコンプライアンス・リスク管理部、運用企画部が行います。

投資管理委員会にて、ファンドの運用パフォーマンスの評価等を行い、これを運用部門にフィードバックすることにより、より精度の高い運用体制を維持するよう努めています。



●ファンド運用に関する社内規程として、「投資一任契約および信託財産の運用業務に関する基本規程」及び基本規程に付随する細則等の取扱い基準を設けております。

●ファンドの関係法人に対する管理は、管理関連部門において適正に管理しております。

ファンドの運用体制等は、本書提出日現在のものであり、今後変更となることがあります。

また、委託会社のホームページ (<http://www.myam.co.jp/>) の会社案内から、運用体制に関する情報がご覧いただけます。

< 受託会社に対する管理体制 >

当社では、受託会社または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

（４）【分配方針】

収益分配方針

毎年１回（４月１０日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

１．分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

2. 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。
3. 収益分配にあらず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

収益の分配方式

1. 信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。
 - a. 配当金、利子、貸付有価証券に係る品貸料およびこれ等に類する収益から支払利息を控除した額（以下「配当等収益」といいます。）は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後、その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
 - b. 売買損益に評価損益を加減した利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。
2. 毎計算期末において信託財産につき生じた損失は、次期に繰越します。

収益分配金の支払い

収益分配金は、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から（原則として決算日から起算して5営業日までに）、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に支払います。収益分配金の支払いは、販売会社において行います。なお、分配金再投資コースでお申込みの受益権にかかる収益分配金は、原則として税金を差し引いた後、決算日の基準価額で翌営業日に自動的に再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

（5）【投資制限】

< 投資信託約款に基づく投資制限 >

株式への投資制限

株式への実質投資割合には、制限を設けません。

実質投資割合とは、当ファンドが保有するある種類の資産の評価額が当ファンドの純資産総額に占める比率（以下「組入比率」といいます。）と、当該同一種類の資産のマザーファンドにおける組入比率に当該マザーファンド受益証券の当ファンドにおける組入比率を乗じて得た率を合計したものをいいます。以下同じ。

外貨建資産への投資制限

外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

新株引受権証券等の投資制限

委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図を行いません。

信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額に、マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。以下同じ。

投資信託証券の投資制限

委託会社は、信託財産に属する投資信託証券（マザーファンドを除きます。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図を行いません。

投資する株式等の範囲

1. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。
2. 上記にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとします。

信用リスク集中回避のための投資制限

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

信用取引の指図範囲

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引き渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
2. 上記の信用取引の指図は、当該売付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
3. 信託財産の一部解約等の事由により、上記の売付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。

先物取引等の運用指図・目的・範囲

1. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。
2. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに為替変動リスクを回避するため、わが国の取引所における通貨に係る先物取引ならびに外国の取引所における通貨に係る先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。
3. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、わが国の取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

スワップ取引の運用指図・目的・範囲

1. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
2. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
3. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産に係るスワップ取引の想定元本の合計額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合

には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

4. スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
5. 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

金利先渡取引および為替先渡取引の運用指図

1. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
2. 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
3. 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
4. 委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日(以下「決済日」といいます。)における決済日から一定の期間を経過した日(以下「満期日」といいます。)までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率(以下「指標利率」といいます。)の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額および当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引(同一の相手方との間で直物外国為替取引および当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。以下本条において同じ。)のスワップ幅(当該直物外国為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係る外国為替相場との差を示す数値をいいます。以下本条において同じ。)を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

デリバティブ取引等に係る投資制限

デリバティブ取引については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。

有価証券の貸付けの指図および範囲

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次のa. およびb. の範囲内で貸付けの指図をすることができます。
 - a. 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
 - b. 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
2. 上記a. およびb. に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
3. 委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

公社債の空売りの指図範囲

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、公社債(信託財産により借入れた公社債を含みます。)の引き渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
2. 上記の売付けの指図は、当該売付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

3. 信託財産の一部解約等の事由により、上記の売付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図を行うものとします。

公社債の借入れ

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図を行うことができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
2. 上記の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
3. 信託財産の一部解約等の事由により、上記の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図を行うものとします。
4. 上記1.の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。

外国為替予約取引の指図

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
2. 上記の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産（マザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額を含みます。）の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
3. 上記の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。
4. 上記2.において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

資金の借入れ

1. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、および再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
2. 上記1.の資金借入額は、次に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
 - a. 一部解約に伴う支払資金の手当てにあたっては、一部解約金の支払資金の手当のために行った有価証券等の売却または解約等ならびに有価証券等の償還による受取りの確定している資金の額の範囲内
 - b. 再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てにあたっては、収益分配金の再投資額の範囲内
 - c. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
3. 一部解約に伴う支払資金の手当てのための借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とします。
4. 再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てのための借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとします。
5. 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

< 法律等で規制される投資制限 >

同一法人の発行する株式への投資制限

委託会社は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行う全ての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権の総数が、当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しないものとします。

デリバティブ取引の投資制限（金融商品取引業等に関する内閣府令 第130条第1項第8号）

委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書に係る取引および選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを受託会社に指図しないものとします。

3【投資リスク】

(1) ファンドのリスクと留意点

明治安田グローバルバランスオープンは、直接あるいはマザーファンドを通じて、株式や債券（公社債）など値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。

したがって、金融機関の預貯金と異なり投資元本は保証されず、元本を割り込むおそれがあります。また、ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

値動きの主な要因

1. 株価変動リスク

株式の価格は、政治・経済情勢、金融情勢・金利変動等および発行体の企業の事業活動や財務状況等の影響を受けて変動します。保有する株式価格の下落は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

2. 債券価格変動リスク

債券（公社債等）の価格は、金融情勢・金利変動および信用度等の影響を受けて変動します。一般に債券の価格は、市中金利の水準が上昇すると下落します。保有する債券価格の下落は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

3. 為替変動リスク

外貨建資産への投資については、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

4. 信用リスク

投資している有価証券等の発行体において、利払いや償還金の支払い遅延等の債務不履行が起こる可能性があります。

また、有価証券への投資等ファンドに関する取引において、取引の相手方の業績悪化や倒産等による契約不履行が起こる可能性があります。

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他のリスク・留意点

有価証券を売買しようとする際、需要または供給が少ない場合、希望する時期・価格・数量による売買ができなくなることがあります。

投資対象国の経済や政治等の不安定性に伴う有価証券市場の混乱により当該投資国に投資した資産の価値が大きく下落することがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式には運用の効率性等の利点がありますが、マザーファンドにおいて他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う売買等を行う場合には、当ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

資金動向、市況動向等によっては、投資方針に沿う運用ができない場合があります。

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて行われる場合があるため、分配水準は必ずしも当該計算期間中の収益率を示すものではありません。

投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況により、分配金額の全部または一部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は純資産から支払われるため、分配金支払いに伴う純資産の減少により基準価額が下落する要因となります。当該計算期間中の運用収益を超える分配を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べ下落することとなります。

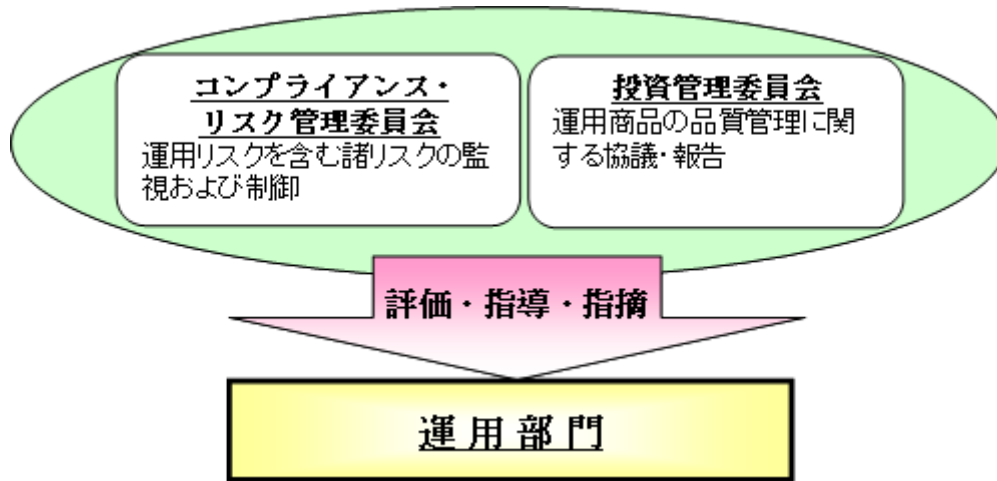
当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

(2) リスク管理体制

ファンドの運用にあたっては、社内規程や運用計画に基づき、運用部門が運用プロセスの中でリスクコントロールを行います。また、運用部門から独立した部署により諸リスクの状況が確認され、各種委員会等において協議・報告される体制となっています。

コンプライアンス・リスク管理委員会は、法令諸規則・社内規程等の遵守状況、運用資産のリスク管理状況等を把握・管理し、必要に応じて指示・指摘を行います。

投資管理委員会は、運用パフォーマンスの評価・分析、トレーディング分析、運用スタイル・運用方針との整合性、投資信託財産の運用リスク等を把握・管理し、必要に応じて指導・指摘を行います。



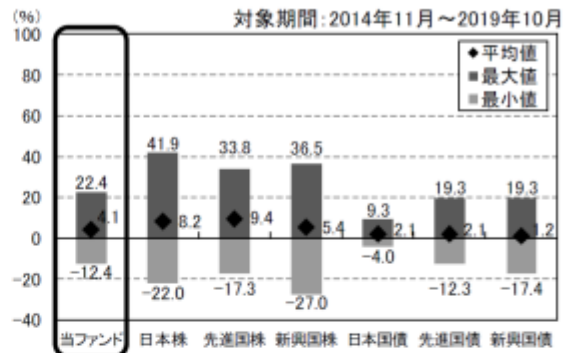
ファンドのリスク管理体制等は、本書提出日現在のものであり、今後変更となることがあります。

(3) 参考情報

当ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移

※グラフは、ファンドの5年間の各月末における分配金再投資基準価額(税引前の分配金を再投資したものととして算出。以下同じ。)および各月末における直近1年間の騰落率を表示しています。

※年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

当ファンドと他の代表的な
資産クラスとの騰落率の比較

※グラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、5年間の各月末における直近1年間の騰落率データ(60個)を用いて、平均、最大、最小を表示したものです。

※ファンドの年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額(税引前の分配金を再投資したものととして算出)をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※すべての資産クラスが、当ファンドの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数について

資産クラス	指数名称	権利者
日本株	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCI-KOKUSAI(配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 海外指数は、対円での為替ヘッジなしによる投資を想定して、各月末の指数値を円換算または円ベースとしています。

※ 各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、上記に記載の各権利者に帰属します。

また、各権利者は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任を負いません。

< 代表的な資産クラスの指数について >

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所 市場第一部（以下、東証市場第一部ということがあります。）の時価総額の動きをあらわす株価指数であり、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）が算出、公表を行っています。東証市場第一部に上場しているすべての銘柄を計算の対象としていますので、日本の株式市場のほぼ全体の資産価値の動きを表しています。

東証株価指数（TOPIX）は東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関する全ての権利およびTOPIXの商標に関する全ての権利は東京証券取引所が有します。東京証券取引所はTOPIXの指数値の算出若しくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出若しくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更若しくは使用の停止を行うことができます。東京証券取引所はTOPIXの商標の使用若しくはTOPIXの指数の利用に関して得られる結果について何ら保証、言及をするものではありません。

MSCI-KOKUSAIは、MSCI Inc.が算出する日本を除く世界主要国の株式市場を捉える指数として広く認知されているものであり、MSCI-KOKUSAI 指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が算出する新興国の株価の動きを表す代表的な指数であり、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

NOMURA - BPI（国債）は、日本国債の市場全体の動向を表す、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド）は、J.P.Morgan Securities LLC（JPモルガン）が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、JPモルガンの知的財産です。JPモルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

申込手数料は、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数）に、2.2%（税抜2.0%）を上限として各販売会社が別途定める料率を乗じて得た金額となります。詳細については、お申込みの各販売会社までお問合わせください。

購入時手数料は、購入時の商品説明、事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。

「税抜」における税とは、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）相当額をいいます（以下同じ。）。

分配金再投資コースでお申込みの受益者が販売会社との間で結んだ「自動継続投資契約（販売会社により名称が異なる場合があります。以下同じ。）」に基づいて収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

(2)【換金（解約）手数料】

解約手数料はかかりません。

信託財産留保額は、解約請求受付日の翌営業日の基準価額に0.2%の率を乗じて得た額とします。

「信託財産留保額」とは、受益者の公平性および運用資金の安定性に資するために投資信託を中途解約される受益者の基準価額から差し引いて、残存受益者の信託財産に繰り入れる金額をいいます。

(3)【信託報酬等】

ファンドの純資産総額に対し、年1.65%（税抜1.5%）の率を乗じて得た額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの日々の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（該当日が休業日の場合は翌営業日）および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。信託報酬の実質的な配分は次のとおりです。

<内訳>

配分	料率（年率）
委託会社	0.792%（税抜0.72%）
販売会社	0.77%（税抜0.7%）
受託会社	0.088%（税抜0.08%）
合計	1.65%（税抜1.5%）

<内容>

支払い先	役務の内容
委託会社	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	ファンド財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
合計	運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の日々の基準価額×信託報酬率

（４）【その他の手数料等】

ファンドは以下の費用も負担します。

信託財産の監査にかかる費用（監査費用）として、監査法人に純資産総額に対し年0.0055%（税抜0.005%）を支払う他、有価証券の売買の際に売買仲介人に支払う売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合に当該資産の保管や資金の送金等に要する費用として保管銀行に支払う保管費用、その他信託事務の処理に要する費用等がある場合には、信託財産中より支弁します。

信託財産において一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行った場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

その他の費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。また、監査費用は監査法人等によって見直され、変更される場合があります。

当該手数料等の合計額については、投資者の皆さまの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

（５）【課税上の取扱い】

個人、法人別の課税の取扱いについて

１．個人の受益者に対する課税

< 収益分配金（普通分配金）に対する課税 >

個人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、以下の税率による源泉徴収（申告不要）となります。なお、確定申告による申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

税率
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）

< 一部解約時および償還時に対する課税 >

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、以下の税率による申告分離課税が適用されます。なお、源泉徴収ありの特定口座を選択している場合は、源泉徴収（原則として、確定申告は不要）となります。

税率
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）

< 損益通算について >

一部解約時および償還時の損失については、確定申告等により、上場株式等（特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。以下同じ。）の譲渡益と相殺することができ、上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）および利子所得の金額との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等との譲渡損との相殺が可能となります。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

２．法人の受益者に対する課税

法人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、以下の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。源泉徴収された所得税は、法人税の額から控除できます。

税率
15.315%（所得税15.315%）

個別元本方式について

１．追加型株式投資信託について、受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

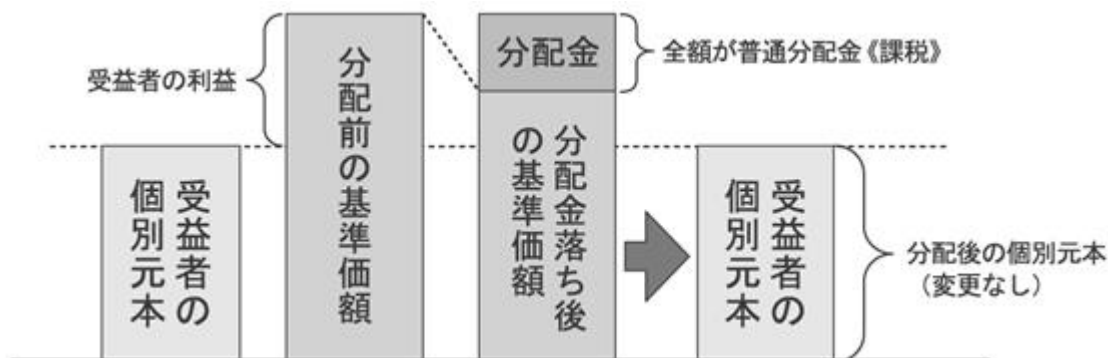
2. 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合には各販売会社毎に、個別元本の算出が行われます。また、同一取扱販売会社であっても複数支店で同一ファンドを取得する場合は当該支店毎に、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の両コースで取得する場合はコース別に、個別元本の計算が行われる場合があります。
3. 受益者が元本払戻金(特別分配金)を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金の課税について

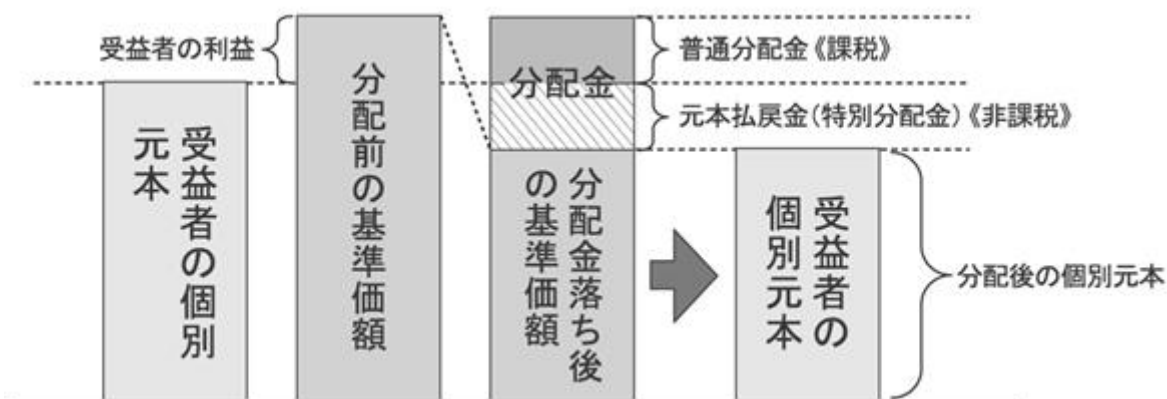
収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払い戻しに相当する部分)があります。

1. 収益分配金落ち後の基準価額が、当該受益者の個別元本と同額の場合または受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。
2. 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。なお収益分配金の発生時に、その個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の受益者の個別元本となります。

1. の場合



2. の場合



上記の図はイメージ図であり、個別元本、基準価額および分配金の各水準等を示唆するものではありません。

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

当ファンドは、配当控除ならびに益金不算入制度の適用はありません。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）、ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。

< 少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）、ジュニアNISA（ニーサ）」をご利用の場合 >

NISA（ニーサ）をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。ご利用になることができるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。

ジュニアNISA（ニーサ）をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。未成年者のために、原則として親権者等が代理で運用を行い、18歳まで払出しが制限されます。ご利用になることができるのは、20歳未満までの方で、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。

詳しくは、販売会社へお問合わせください。

外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

上記は2019年10月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。税金の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めいたします。

5【運用状況】

以下は2019年10月31日現在の運用状況です。

投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資比率の合計は四捨五入の関係で合わない場合があります。

マザーファンドの運用状況は、当ファンドの後に続きます。

(1)【投資状況】

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	170,003,843	99.74
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		441,786	0.26
合計(純資産総額)		170,445,629	100.00

(2)【投資資産】**【投資有価証券の主要銘柄】****イ. 評価額上位銘柄明細**

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	明治安田日本株式ポートフォリオ・ マザーファンド	47,465,585	1.1983	56,878,529	1.2598	59,797,143	35.08
2	日本	親投資信託 受益証券	明治安田日本債券ポートフォリオ・ マザーファンド	31,493,380	1.4609	46,008,679	1.4853	46,777,117	27.44
3	日本	親投資信託 受益証券	明治安田外国株式ポートフォリオ・ マザーファンド	12,734,374	2.5028	31,871,592	2.6099	33,235,442	19.50
4	日本	親投資信託 受益証券	明治安田外国債券ポートフォリオ・ マザーファンド	10,289,947	2.2949	23,614,505	2.3481	24,161,824	14.18
5	日本	親投資信託 受益証券	明治安田中小型株式ポートフォリオ・ マザーファンド	2,144,824	2.7911	5,986,609	2.8125	6,032,317	3.54

ロ. 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.74
合計	99.74

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】
【純資産の推移】

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第9期計算期間末（2010年 4月12日）	480,689,580	480,689,580	8,207	8,207
第10期計算期間末（2011年 4月11日）	417,865,766	417,865,766	7,876	7,876
第11期計算期間末（2012年 4月10日）	373,468,632	373,468,632	7,749	7,749
第12期計算期間末（2013年 4月10日）	395,032,025	395,032,025	9,637	9,637
第13期計算期間末（2014年 4月10日）	303,204,856	303,204,856	10,353	10,353
第14期計算期間末（2015年 4月10日）	265,344,695	268,567,649	12,349	12,499
第15期計算期間末（2016年 4月11日）	219,419,060	219,419,060	11,318	11,318
第16期計算期間末（2017年 4月10日）	209,969,755	213,072,706	12,180	12,360
第17期計算期間末（2018年 4月10日）	204,552,854	207,391,313	12,972	13,152
第18期計算期間末（2019年 4月10日）	177,093,117	177,093,117	12,532	12,532
2018年10月末日	192,751,063		12,658	
11月末日	191,044,853		12,708	
12月末日	178,831,380		11,865	
2019年 1月末日	179,595,759		12,193	
2月末日	183,075,778		12,411	
3月末日	176,253,705		12,476	
4月末日	178,253,144		12,584	
5月末日	166,256,114		12,193	
6月末日	169,627,906		12,407	
7月末日	170,310,386		12,586	
8月末日	166,818,822		12,341	
9月末日	167,615,136		12,595	
10月末日	170,445,629		12,870	

【分配の推移】

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第9期計算期間	2009年 4月11日～2010年 4月12日	0
第10期計算期間	2010年 4月13日～2011年 4月11日	0
第11期計算期間	2011年 4月12日～2012年 4月10日	0
第12期計算期間	2012年 4月11日～2013年 4月10日	0
第13期計算期間	2013年 4月11日～2014年 4月10日	0
第14期計算期間	2014年 4月11日～2015年 4月10日	150
第15期計算期間	2015年 4月11日～2016年 4月11日	0
第16期計算期間	2016年 4月12日～2017年 4月10日	180
第17期計算期間	2017年 4月11日～2018年 4月10日	180

第18期計算期間	2018年 4月11日 ~ 2019年 4月10日	0
----------	---------------------------	---

【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第9期計算期間	2009年 4月11日～2010年 4月12日	15.71
第10期計算期間	2010年 4月13日～2011年 4月11日	4.03
第11期計算期間	2011年 4月12日～2012年 4月10日	1.61
第12期計算期間	2012年 4月11日～2013年 4月10日	24.36
第13期計算期間	2013年 4月11日～2014年 4月10日	7.43
第14期計算期間	2014年 4月11日～2015年 4月10日	20.73
第15期計算期間	2015年 4月11日～2016年 4月11日	8.35
第16期計算期間	2016年 4月12日～2017年 4月10日	9.21
第17期計算期間	2017年 4月11日～2018年 4月10日	7.98
第18期計算期間	2018年 4月11日～2019年 4月10日	3.39
第19期中間計算期間	2019年 4月11日～2019年10月10日	0.10

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（４）【設定及び解約の実績】

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第9期計算期間	2009年 4月11日～2010年 4月12日	70,992,859	71,209,433
第10期計算期間	2010年 4月13日～2011年 4月11日	48,247,152	103,423,476
第11期計算期間	2011年 4月12日～2012年 4月10日	35,861,832	84,453,722
第12期計算期間	2012年 4月11日～2013年 4月10日	27,542,524	99,599,539
第13期計算期間	2013年 4月11日～2014年 4月10日	15,608,750	132,646,456
第14期計算期間	2014年 4月11日～2015年 4月10日	11,392,531	89,393,701
第15期計算期間	2015年 4月11日～2016年 4月11日	11,675,081	32,668,351
第16期計算期間	2016年 4月12日～2017年 4月10日	8,815,178	30,299,350
第17期計算期間	2017年 4月11日～2018年 4月10日	12,463,748	27,157,757
第18期計算期間	2018年 4月11日～2019年 4月10日	8,913,329	25,293,340
第19期中間計算期間	2019年 4月11日～2019年10月10日	3,339,150	11,594,825

(参考)

. 明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

(1) 投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	5,731,725,050	96.25
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		223,477,116	3.75
合計(純資産総額)		5,955,202,166	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国/地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	39,200	6,976.00	273,459,200	7,542.00	295,646,400	4.96
2	日本	株式	クボタ	機械	114,100	1,638.50	186,952,850	1,732.00	197,621,200	3.32
3	日本	株式	日本ユニシス	情報・通信業	53,900	2,737.00	147,524,300	3,585.00	193,231,500	3.24
4	日本	株式	エムスリー	サービス業	74,100	1,807.00	133,898,700	2,604.00	192,956,400	3.24
5	日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	8,000	19,078.20	152,625,600	22,075.00	176,600,000	2.97
6	日本	株式	日本電気	電気機器	40,500	3,760.00	152,280,000	4,300.00	174,150,000	2.92
7	日本	株式	アドバンテスト	電気機器	34,500	3,228.67	111,389,115	4,945.00	170,602,500	2.86
8	日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	31,300	4,670.00	146,171,000	5,376.00	168,268,800	2.83
9	日本	株式	花王	化学	19,100	8,329.00	159,083,900	8,744.00	167,010,400	2.80
10	日本	株式	日本M&Aセンター	サービス業	49,700	2,924.33	145,339,201	3,310.00	164,507,000	2.76
11	日本	株式	信越化学工業	化学	13,500	10,671.98	144,071,730	12,160.00	164,160,000	2.76
12	日本	株式	ヤマハ発動機	輸送用機器	74,500	2,432.00	181,184,000	2,140.00	159,430,000	2.68
13	日本	株式	横河電機	電気機器	78,700	2,268.00	178,491,600	1,997.00	157,163,900	2.64
14	日本	株式	ニトリホールディングス	小売業	9,200	13,967.18	128,498,056	16,510.00	151,892,000	2.55
15	日本	株式	キーエンス	電気機器	2,100	66,758.84	140,193,577	68,820.00	144,522,000	2.43
16	日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	37,600	3,544.06	133,256,656	3,611.00	135,773,600	2.28
17	日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	58,600	2,125.34	124,544,924	2,271.00	133,080,600	2.23
18	日本	株式	MonotaRO	小売業	39,600	2,821.35	111,725,460	3,305.00	130,878,000	2.20
19	日本	株式	任天堂	その他製品	3,300	34,350.00	113,355,000	38,620.00	127,446,000	2.14
20	日本	株式	三井不動産	不動産業	45,500	2,584.00	117,572,000	2,781.00	126,535,500	2.12
21	日本	株式	シマノ	輸送用機器	6,900	16,276.56	112,308,264	18,100.00	124,890,000	2.10
22	日本	株式	S M C	機械	2,600	45,816.42	119,122,708	47,190.00	122,694,000	2.06
23	日本	株式	山九	陸運業	21,600	5,230.00	112,968,000	5,540.00	119,664,000	2.01
24	日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	204,800	528.10	108,154,880	569.80	116,695,040	1.96
25	日本	株式	村田製作所	電気機器	19,800	5,927.00	117,354,600	5,863.00	116,087,400	1.95
26	日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	18,700	5,706.60	106,713,420	5,868.00	109,731,600	1.84

27	日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	27,700	4,078.00	112,960,600	3,880.00	107,476,000	1.80
28	日本	株式	ソニー	電気機器	15,900	6,484.32	103,100,688	6,625.00	105,337,500	1.77
29	日本	株式	ペプチドリーム	医薬品	18,800	5,601.50	105,308,200	5,460.00	102,648,000	1.72
30	日本	株式	大成建設	建設業	23,700	3,787.37	89,760,669	4,300.00	101,910,000	1.71

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 外国	業種	投資比率 (%)
株式	国内	建設業	1.71
		食料品	1.44
		化学	6.79
		医薬品	4.56
		石油・石炭製品	1.71
		金属製品	1.48
		機械	5.38
		電気機器	19.03
		輸送用機器	9.74
		精密機器	2.55
		その他製品	2.14
		陸運業	4.35
		海運業	0.96
		空運業	0.92
		情報・通信業	6.77
		卸売業	3.20
		小売業	6.32
		銀行業	3.76
		証券、商品先物取引業	0.47
保険業	1.84		
不動産業	2.12		
サービス業	9.00		
合計			96.25

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

・明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

(1) 投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	4,286,672,000	96.59
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		151,135,216	3.41
合計(純資産総額)		4,437,807,216	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国/地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	コムチュア	情報・通信業	62,400	1,795.23	112,022,400	2,068.00	129,043,200	2.91
2	日本	株式	セントラル警備保障	サービス業	20,000	5,430.00	108,600,000	6,370.00	127,400,000	2.87
3	日本	株式	コプロ・ホールディングス	サービス業	43,500	1,941.74	84,465,841	2,594.00	112,839,000	2.54
4	日本	株式	乃村工藝社	サービス業	82,000	1,436.18	117,766,886	1,346.00	110,372,000	2.49
5	日本	株式	ファンケル	化学	33,700	2,957.29	99,660,800	3,075.00	103,627,500	2.34
6	日本	株式	住友ベークライト	化学	22,200	4,271.41	94,825,500	4,545.00	100,899,000	2.27
7	日本	株式	グンゼ	繊維製品	20,800	4,741.03	98,613,600	4,735.00	98,488,000	2.22
8	日本	株式	デジタルガレージ	情報・通信業	26,800	3,112.25	83,408,500	3,580.00	95,944,000	2.16
9	日本	株式	ライト工業	建設業	54,200	1,431.52	77,588,800	1,729.00	93,711,800	2.11
10	日本	株式	KHネオケム	化学	31,000	3,075.41	95,338,003	2,657.00	82,367,000	1.86
11	日本	株式	第一工業製薬	化学	23,200	3,729.56	86,526,000	3,530.00	81,896,000	1.85
12	日本	株式	熊谷組	建設業	23,800	3,065.00	72,947,000	3,360.00	79,968,000	1.80
13	日本	株式	東芝テック	電気機器	20,300	2,955.85	60,003,925	3,930.00	79,779,000	1.80
14	日本	株式	寿スピリッツ	食料品	10,000	4,580.28	45,802,800	7,460.00	74,600,000	1.68
15	日本	株式	薬王堂ホールディングス	小売業	28,000	2,569.50	71,946,000	2,621.00	73,388,000	1.65
16	日本	株式	前田工織	その他製品	40,000	2,104.50	84,180,124	1,820.00	72,800,000	1.64
17	日本	株式	サカタのタネ	水産・農林業	20,000	3,367.40	67,348,094	3,590.00	71,800,000	1.62
18	日本	株式	西松屋チェーン	小売業	73,900	875.00	64,662,500	966.00	71,387,400	1.61
19	日本	株式	エフピコ	化学	10,300	6,611.47	68,098,200	6,750.00	69,525,000	1.57
20	日本	株式	NECネットエスアイ	情報・通信業	20,000	2,721.44	54,428,902	3,430.00	68,600,000	1.55
21	日本	株式	イーレックス	電気・ガス業	45,700	993.43	45,399,900	1,479.00	67,590,300	1.52
22	日本	株式	オカムラ	その他製品	61,500	1,176.00	72,324,000	1,092.00	67,158,000	1.51
23	日本	株式	ユナイテッドアローズ	小売業	20,000	3,461.94	69,238,882	3,315.00	66,300,000	1.49
24	日本	株式	アイペット損害保険	保険業	34,600	1,939.86	67,119,400	1,888.00	65,324,800	1.47
25	日本	株式	澁谷工業	機械	21,700	3,426.65	74,358,500	2,977.00	64,600,900	1.46
26	日本	株式	パローホールディングス	小売業	34,700	2,645.78	91,808,700	1,854.00	64,333,800	1.45
27	日本	株式	エスベック	電気機器	32,500	2,160.36	70,211,700	1,968.00	63,960,000	1.44

28	日本	株式	ジェイエイシーリクルートメント	サービス業	30,000	2,458.99	73,769,700	2,055.00	61,650,000	1.39
29	日本	株式	アンリツ	電気機器	29,400	2,167.95	63,738,000	2,081.00	61,181,400	1.38
30	日本	株式	ダブルスタンダード	情報・通信業	11,500	4,615.53	53,078,597	5,300.00	60,950,000	1.37

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 外国	業種	投資比率 (%)
株式	国内	水産・農林業	1.62
		建設業	5.66
		食料品	1.68
		繊維製品	2.70
		パルプ・紙	2.29
		化学	11.54
		医薬品	1.52
		ガラス・土石製品	1.85
		金属製品	0.63
		機械	4.50
		電気機器	8.23
		輸送用機器	3.19
		精密機器	0.97
		その他製品	5.04
		電気・ガス業	2.73
		情報・通信業	12.28
		卸売業	5.43
		小売業	6.21
		銀行業	0.75
		保険業	2.72
サービス業	15.06		
合計			96.59

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

・ 明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド

(1) 投資状況

資産の種類	国 / 地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国債証券	日本	18,485,463,450	46.65
	メキシコ	502,259,000	1.27
	小計	18,987,722,450	47.91
地方債証券	日本	197,804,000	0.50
特殊債券	日本	14,524,318	0.04
社債券	日本	18,336,770,100	46.27
	スペイン	802,704,000	2.03
	フランス	743,449,000	1.88
	小計	19,882,923,100	50.17
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		545,455,656	1.38
合計(純資産総額)		39,628,429,524	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国 / 地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	国債証券	第355回利付国債10年	4,382,000,000	102.88	4,508,448,950	102.59	4,495,625,260	0.1	2029/6/20	11.34
2	日本	社債券	第1回武田薬品工業無担保社債(劣後特約付)	2,200,000,000	100.00	2,200,000,000	103.26	2,271,843,200	1.72	2079/6/6	5.73
3	日本	国債証券	第356回利付国債10年	1,782,000,000	102.63	1,829,011,480	102.45	1,825,783,740	0.1	2029/9/20	4.61
4	日本	社債券	第1回ドンキホーテホールディングス無担保社債(劣後特約付)	1,600,000,000	100.64	1,610,393,600	102.07	1,633,211,200	1.49	2053/11/28	4.12
5	日本	社債券	第10回三菱UFJフィナンシャル・グループ無担保永久社債(劣後特約付)	1,600,000,000	100.00	1,600,000,000	99.99	1,599,849,600	0.82	9999/99/99	4.04
6	日本	国債証券	第405回利付国債2年	1,305,000,000	100.61	1,313,090,600	100.65	1,313,534,700	0.1	2021/10/1	3.31
7	日本	国債証券	第151回利付国債20年	1,049,000,000	115.56	1,212,224,400	116.83	1,225,588,660	1.2	2034/12/20	3.09
8	日本	社債券	第18回光通信無担保社債	1,000,000,000	103.45	1,034,590,000	104.04	1,040,410,000	1.79	2033/3/23	2.63
9	日本	社債券	第52回ソフトバンクグループ無担保社債	1,000,000,000	102.63	1,026,350,000	102.27	1,022,780,000	2.03	2024/3/8	2.58
10	日本	社債券	第7回三井住友トラスト・ホールディングス無担保社債(劣後特約付)	900,000,000	100.08	900,767,700	100.16	901,477,800	0.42	2027/6/8	2.27

11	日本	国債証券	第146回利付国債20年	728,000,000	123.00	895,498,000	123.09	896,102,480	1.7	2033/9/20	2.26
12	日本	国債証券	第168回利付国債20年	777,000,000	104.61	812,819,700	103.44	803,744,340	0.4	2039/3/20	2.03
13	日本	社債券	第3回日本製鉄無担保社債 (劣後特約付)	800,000,000	100.00	800,000,000	100.38	803,106,400	1.24	2079/9/12	2.03
14	スペイン	社債券	2017第1回バンコ・サント ンデル・エセ・アー円貨 社債(TLAC)	800,000,000	99.79	798,334,000	100.33	802,704,000	0.568	2023/1/11	2.03
15	日本	国債証券	第11回利付国債40年	689,000,000	108.40	746,902,640	113.30	780,699,010	0.8	2058/3/20	1.97
16	フランス	社債券	2015第1回ソシエテジェ ネラル円貨社債(劣後特約 付)	700,000,000	105.39	737,751,000	106.20	743,449,000	2.195	2025/6/12	1.88
17	日本	社債券	第8回みずほフィナンシャル グループ無担保永久社債(劣 後特約付)	700,000,000	100.00	700,000,000	100.30	702,163,700	0.98	9999/99/99	1.77
18	日本	国債証券	第37回利付国債30年	450,000,000	132.71	597,235,500	135.86	611,383,500	1.9	2042/9/20	1.54
19	日本	社債券	住友生命保険相互会社 第2回A号劣後債	600,000,000	100.27	601,620,000	100.49	602,998,200	0.84	2076/6/29	1.52
20	日本	社債券	第57回ソフトバンク グループ無担保社債	600,000,000	100.00	600,000,000	98.05	588,306,000	1.38	2026/9/11	1.48
21	日本	国債証券	第46回利付国債30年	450,000,000	125.26	563,679,000	128.91	580,095,000	1.5	2045/3/20	1.46
22	日本	国債証券	第170回利付国債20年	564,000,000	101.07	570,084,260	101.42	572,048,280	0.3	2039/9/20	1.44
23	日本	国債証券	第34回利付国債30年	390,000,000	137.55	536,456,700	140.43	547,684,800	2.2	2041/3/20	1.38
24	日本	国債証券	第63回利付国債30年	531,000,000	101.73	540,208,530	100.53	533,824,920	0.4	2049/6/20	1.35
25	日本	社債券	第16回回光通信無担保社債	400,000,000	107.84	431,360,000	108.09	432,392,000	1.78	2027/8/10	1.09
26	日本	国債証券	第64回利付国債30年	430,000,000	100.44	431,926,800	100.40	431,728,600	0.4	2049/9/20	1.09
27	日本	国債証券	第49回利付国債30年	326,000,000	123.07	401,237,540	126.81	413,403,860	1.4	2045/12/20	1.04
28	日本	社債券	損害保険ジャパン日本興亜第 3回劣後債	400,000,000	101.12	404,518,400	101.53	406,122,400	1.06	2077/4/26	1.02
29	日本	社債券	第1回日本生命第2回 劣後ローン流動化劣後債	400,000,000	100.67	402,693,200	100.87	403,501,200	1.03	2048/9/18	1.02
30	メキシコ	国債証券	第31回メキシコ合衆国 円貨債券	400,000,000	100.00	400,000,000	100.53	402,140,000	1.05	2026/7/3	1.01

ロ.種類別投資比率

種類	投資比率（％）
国債証券	47.91
地方債証券	0.50
特殊債券	0.04
社債券	50.17
合計	98.62

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

・ 明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド

(1) 投資状況

資産の種類	国 / 地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
株式	アメリカ	11,843,092,365	66.89
	フランス	900,993,274	5.09
	ドイツ	760,389,672	4.29
	イギリス	697,518,739	3.94
	スイス	655,920,836	3.70
	オランダ	418,365,678	2.36
	カナダ	321,229,857	1.81
	スウェーデン	295,701,650	1.67
	オーストラリア	281,380,213	1.59
	アイルランド	193,493,903	1.09
	香港	185,857,902	1.05
	イタリア	118,073,039	0.67
	中国	93,132,741	0.53
	ノルウェー	88,435,276	0.50
	ベルギー	77,012,966	0.43
	スペイン	65,610,409	0.37
小計		16,996,208,520	95.99
投資証券	アメリカ	292,390,456	1.65
	オーストラリア	66,800,772	0.38
	小計	359,191,228	2.03
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		349,914,049	1.98
合計(純資産総額)		17,705,313,797	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国 / 地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引	買建		58,510,846	0.33

(注) 為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国 / 地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	49,590	13,702.90	679,526,824	15,745.13	780,801,334	4.41
2	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	3,820	130,044.94	496,771,692	137,265.01	524,352,361	2.96

3	アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	24,000	17,935.70	430,456,835	19,516.74	468,401,760	2.65
4	アメリカ	株式	NEXTERA ENERGY INC	公益事業	18,200	21,876.76	398,157,063	25,636.88	466,591,303	2.64
5	アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ ハードウェアおよび機器	16,580	22,250.19	368,908,282	26,486.14	439,140,347	2.48
6	アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	2,230	199,251.15	444,330,083	193,805.31	432,185,844	2.44
7	アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	27,360	11,761.26	321,788,337	13,689.48	374,544,238	2.12
8	アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	12,300	26,743.70	328,947,604	27,742.62	341,234,275	1.93
9	スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	28,205	11,091.41	312,833,392	11,663.65	328,973,384	1.86
10	アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	小売	11,800	22,721.63	268,115,335	25,721.81	303,517,372	1.71
11	アメリカ	株式	CITIGROUP INC	銀行	37,040	7,204.64	266,859,882	7,944.97	294,281,822	1.66
12	アメリカ	株式	ECOLAB INC	素材	13,440	20,490.37	275,390,652	21,091.14	283,464,986	1.60
13	アメリカ	株式	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	医薬品・バイオテクノロジー ・ライフサイエンス	8,080	30,779.89	248,701,521	32,866.51	265,561,456	1.50
14	アメリカ	株式	DANAHER CORP	ヘルスケア機器・サービス	17,165	14,684.55	252,060,468	15,052.66	258,378,909	1.46
15	アメリカ	株式	AMETEK INC	資本財	25,660	9,259.61	237,601,721	9,941.83	255,107,430	1.44
16	アメリカ	株式	ACCENTURE PLC-CL A	ソフトウェア・サービス	12,150	19,873.19	241,459,325	20,314.83	246,825,189	1.39
17	アメリカ	株式	UNITED TECHNOLOGIES CORP	資本財	15,165	14,497.76	219,858,638	15,661.29	237,503,602	1.34
18	アメリカ	株式	ROPER TECHNOLOGIES INC	資本財	6,365	37,979.93	241,742,289	36,833.01	234,442,142	1.32
19	アメリカ	株式	S&P GLOBAL INC	各種金融	8,450	24,853.09	210,008,651	27,726.29	234,287,167	1.32
20	アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー ・ライフサイエンス	55,900	4,507.75	251,983,492	4,189.70	234,204,364	1.32
21	アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	15,600	13,811.89	215,465,563	14,905.67	232,528,483	1.31
22	アメリカ	株式	FACEBOOK INC-A	メディア・娯楽	11,220	19,731.15	221,383,534	20,496.65	229,972,525	1.30
23	アメリカ	株式	UNION PACIFIC CORP	運輸	12,460	18,062.89	225,063,619	18,286.39	227,848,494	1.29
24	アメリカ	株式	US BANCORP	銀行	35,770	5,527.55	197,720,478	6,219.22	222,461,700	1.26

25	オランダ	株式	KONINKLIJKE DSM NV	素材	16,873	12,754.52	215,207,059	13,032.65	219,900,038	1.24
26	アメリカ	株式	ABBOTT LABORATORIES	ヘルスケア機器・サービス	23,800	8,788.49	209,166,107	9,147.00	217,698,809	1.23
27	イギリス	株式	COMPASS GROUP PLC	消費者サービス	75,415	2,656.98	200,376,440	2,877.46	217,004,242	1.23
28	アメリカ	株式	AMERICAN EXPRESS CO	各種金融	16,755	12,337.13	206,708,779	12,855.46	215,393,259	1.22
29	アメリカ	株式	BOOKING HOLDINGS INC	小売	960	201,998.01	193,918,095	223,155.00	214,228,804	1.21
30	ドイツ	株式	ADIDAS AG	耐久消費財・アパレル	6,184	29,445.81	182,092,948	33,759.80	208,770,646	1.18

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 外国	業種	投資比率 (%)
株式	外国	エネルギー	3.96
		素材	6.35
		資本財	6.59
		商業・専門サービス	1.01
		運輸	1.70
		自動車・自動車部品	0.66
		耐久消費財・アパレル	2.69
		消費者サービス	2.50
		メディア・娯楽	5.94
		小売	5.85
		食品・生活必需品小売り	0.99
		食品・飲料・タバコ	5.10
		家庭用品・パーソナル用品	2.98
		ヘルスケア機器・サービス	5.90
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.28
		銀行	6.48
		各種金融	5.05
		保険	3.03
		不動産	0.65
		ソフトウェア・サービス	11.11
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.61		
電気通信サービス	1.15		
公益事業	3.01		
半導体・半導体製造装置	3.40		
投資証券			2.03
合計			98.02

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	通貨	買建 / 売建	数量	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引	オーストラリアドル	買建	429,936.73	32,276,124	32,361,337	0.18
	ホンコンドル	買建	1,883,970.45	26,148,002	26,149,509	0.14

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

. 明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

(1) 投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	アメリカ	11,845,264,355	45.13
	イタリア	3,567,237,761	13.59
	スペイン	2,542,254,422	9.68
	フランス	2,331,842,887	8.88
	イギリス	1,511,712,552	5.76
	ベルギー	756,641,751	2.88
	ドイツ	562,561,727	2.14
	カナダ	507,082,735	1.93
	オーストラリア	387,129,018	1.47
	スウェーデン	344,111,048	1.31
	ポーランド	270,127,992	1.03
	アイルランド	244,329,786	0.93
	メキシコ	207,115,574	0.79
	南アフリカ	120,989,528	0.46
	マレーシア	113,810,691	0.43
ノルウェー	68,089,683	0.26	
	小計	25,380,301,510	96.69
地方債証券	カナダ	140,689,268	0.54
社債券	フランス	435,893,284	1.66
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		292,954,330	1.12
合計(純資産総額)		26,249,838,392	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
為替予約取引	買建		724,774,195	2.76
	売建		724,395,464	2.75

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 2%	13,530,000	10,923.35	1,477,930,350	11,062.37	1,496,739,766	2	2024/5/31	5.70
2	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 2.5%	12,570,000	11,207.40	1,408,771,397	11,292.04	1,419,410,298	2.5	2024/5/15	5.41
3	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 2.375%	12,450,000	11,064.60	1,377,542,955	11,075.98	1,378,960,526	2.375	2022/3/15	5.25
4	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 6%	9,980,000	13,611.75	1,358,452,668	13,679.75	1,365,239,174	6	2026/2/15	5.20
5	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 2.125%	11,900,000	10,984.97	1,307,211,579	11,017.29	1,311,058,105	2.125	2022/5/15	4.99
6	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 4.75%	7,235,000	14,720.67	1,065,040,896	15,710.19	1,136,632,475	4.75	2041/2/15	4.33
7	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 2.25%	9,090,000	10,715.32	974,022,876	11,298.85	1,027,065,640	2.25	2027/8/15	3.91
8	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 3.75%	7,220,000	13,264.28	957,681,167	13,932.81	1,005,949,040	3.75	2043/11/15	3.83
9	イタ リア	国債 証券	BTPS 4.5%	6,600,000	14,148.55	933,804,497	14,323.77	945,369,335	4.5	2024/3/1	3.60
10	スペ イン	国債 証券	SPANISH GOV'T 3.8%	4,860,000	14,332.88	696,578,323	14,323.77	696,135,601	3.8	2024/4/30	2.65
11	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 2.875%	6,050,000	11,135.53	673,699,679	11,140.63	674,008,458	2.875	2021/10/15	2.57
12	フラ ンス	国債 証券	FRANCE O.A.T. 0.5%	5,260,000	12,953.29	681,343,181	12,790.95	672,804,107	0.5	2029/5/25	2.56
13	イギ リス	国債 証券	TREASURY 3.5%	3,120,000	20,007.62	624,238,054	21,114.31	658,766,685	3.5	2045/1/22	2.51
14	フラ ンス	国債 証券	FRANCE O.A.T. 0%	5,030,000	12,439.08	625,685,873	12,323.33	619,863,579	0	2022/5/25	2.36
15	スペ イン	国債 証券	SPANISH GOV'T 1.15%	4,790,000	12,360.98	592,091,143	12,293.57	588,862,190	1.15	2020/7/30	2.24
16	イタ リア	国債 証券	BTPS 0.35%	4,760,000	12,183.16	579,918,847	12,187.41	580,121,090	0.35	2020/6/15	2.21
17	イタ リア	国債 証券	BTPS 5%	3,070,000	15,184.92	466,177,326	18,696.33	573,977,570	5	2040/9/1	2.19
18	スペ イン	国債 証券	SPANISH GOV'T 4.8%	3,840,000	14,844.84	570,041,903	14,731.88	565,704,323	4.8	2024/1/31	2.16
19	アメ リカ	国債 証券	US TREASURY N/B 2.75%	4,300,000	10,674.49	459,003,205	11,890.88	511,308,138	2.75	2042/8/15	1.95

20	イタリア	国債証券	BTPS 5.5%	3,240,000	13,953.32	452,087,724	14,117.29	457,400,384	5.5	2022/11/1	1.74
21	イギリス	国債証券	TREASURY 4.5%	2,110,000	20,150.60	425,177,721	21,044.03	444,029,072	4.5	2034/9/7	1.69
22	フランス	社債券	DEXIA CRED LOCAL 2.25%	4,000,000	10,843.76	433,750,526	10,897.33	435,893,284	2.25	2020/2/18	1.66
23	イタリア	国債証券	BTPS 4.5%	2,800,000	15,296.91	428,313,629	15,091.40	422,559,340	4.5	2026/3/1	1.61
24	イタリア	国債証券	BTPS 5.5%	2,910,000	13,936.32	405,546,923	14,033.48	408,374,512	5.5	2022/9/1	1.56
25	フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 2%	2,410,000	14,701.30	354,301,480	16,250.13	391,628,215	2	2048/5/25	1.49
26	ベルギー	国債証券	BELGIAN 0347 0.9%	2,970,000	13,535.01	401,989,992	13,117.68	389,595,096	0.9	2029/6/22	1.48
27	イギリス	国債証券	TREASURY 4.25%	1,950,000	19,153.28	373,488,980	19,850.59	387,086,555	4.25	2032/6/7	1.47
28	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.625%	3,410,000	10,340.03	352,595,037	10,834.41	369,453,404	1.625	2026/2/15	1.41
29	スペイン	国債証券	SPANISH GOV'T 1.45%	2,620,000	13,425.21	351,740,678	13,486.91	353,357,262	1.45	2029/4/30	1.35
30	カナダ	国債証券	CANADA-GOV'T 1.0%	4,160,000	7,852.97	326,683,580	7,982.91	332,089,287	1	2027/6/1	1.27

ロ. 種類別投資比率

種類	投資比率 (%)
国債証券	96.69
地方債証券	0.54
社債券	1.66
合計	98.88

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	通貨	買建 / 売建	数量	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引	ドル	買建	6,657,244.38	725,376,676	724,774,195	2.76
	ドル	売建	6,653,765.63	724,997,629	724,395,464	2.75

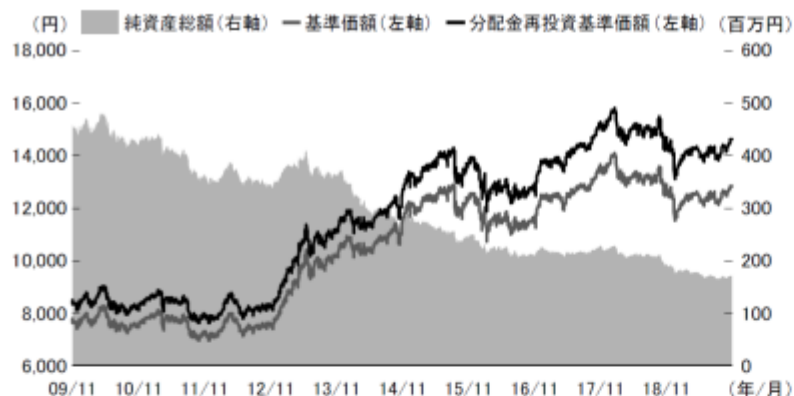
(注) 為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

<参考情報>

以下の事項は交付目論見書の運用実績に記載されているものです。

2019年10月31日現在

基準価額・純資産の推移



※分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、分配金実績があった場合に税引前分配金を再投資したものと算出しています。

分配の推移

分配金の推移	
2019年4月	0円
2018年4月	180円
2017年4月	180円
2016年4月	0円
2015年4月	150円

設定来累計	1,510円
-------	--------

※分配金は、10,000口あたりの税引前の金額

基準価額	12,870円
------	---------

純資産総額	170百万円
-------	--------

主要な資産の状況

資産の組入比率

資産の種類	投資比率(%)
明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド	35.08
明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド	27.44
明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド	19.50
明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド	14.18
明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド	3.54
その他の資産(負債控除後)	0.26
合計(純資産総額)	100

組入資産上位銘柄(各マザーファンド)

※各マザーファンドの対純資産総額比

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

	銘柄名	業種	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.96
2	クボタ	機械	3.32
3	日本ユニシス	情報・通信業	3.24
4	エムスリー	サービス業	3.24
5	東京エレクトロン	電気機器	2.97

明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

	銘柄名	業種	投資比率(%)
1	コムチュア	情報・通信業	2.91
2	セントラル警備保障	サービス業	2.87
3	コプロ・ホールディングス	サービス業	2.54
4	乃村工藝社	サービス業	2.49
5	ファンケル	化学	2.34

明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド

	銘柄名	利率(%)	償還期限	種類	投資比率(%)
1	第355回利付国債10年	0.1	2029年 6月20日	国債証券	11.34
2	第1回武田薬品工業無担保社債 (劣後特約付)	1.72	2024年10月 6日	社債券	5.73
3	第356回利付国債10年	0.1	2029年 9月20日	国債証券	4.61
4	第1回ドンキホーテホールディングス 無担保社債(劣後特約付)	1.49	2023年11月29日	社債券	4.12
5	第10回三菱UFJフィナンシャル・ グループ無担保永久社債(劣後特約付)	0.82	2025年 1月15日	社債券	4.04

※繰上償還条項が付与されている銘柄がある場合は、最初の繰上償還可能日を表示しています。

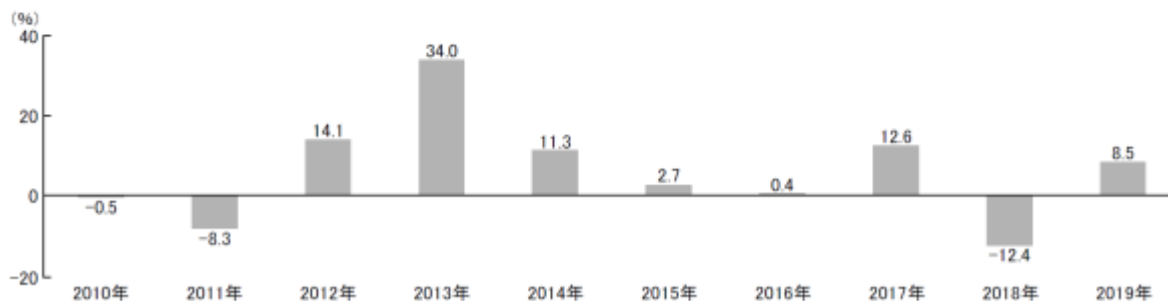
明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド

	銘柄名	国/地域	業種	投資比率(%)
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.41
2	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.96
3	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.65
4	NEXTERA ENERGY INC	アメリカ	公益事業	2.64
5	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.48

明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

	銘柄名	利率(%)	償還期限	国/地域	種類	投資比率(%)
1	US TREASURY N/B 2%	2	2024年5月31日	アメリカ	国債証券	5.70
2	US TREASURY N/B 2.5%	2.5	2024年5月15日	アメリカ	国債証券	5.41
3	US TREASURY N/B 2.375%	2.375	2022年3月15日	アメリカ	国債証券	5.25
4	US TREASURY N/B 6%	6	2026年2月15日	アメリカ	国債証券	5.20
5	US TREASURY N/B 2.125%	2.125	2022年5月15日	アメリカ	国債証券	4.99

年間収益率の推移(暦年ベース)



※収益率は分配金(税引前)を再投資したものととして算出しています。

※2019年は10月末までの収益率を表示しています。

※ファンドにはベンチマークはありません。

※最新の運用状況は委託会社のホームページでご確認することができます。

※ファンドの運用実績はあくまで過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

取得のお申込みの際には、販売会社取引口座を開設していただきます。

販売会社と販売会社以外の取次会社が取次契約を結ぶことにより、当該取次会社がファンドの取扱いを当該販売会社に取次ぐ場合があります。

取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。

取得価額は取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。取得申込者は、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じた額）、申込手数料および申込手数料にかかる消費税等に相当する額の合計額（申込代金）を、販売会社が指定した期日までに販売会社においてお支払いいただきます。

基準価額につきましては、取扱販売会社または下記委託会社にてご確認いただけます。また、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号 0120-565787（受付時間は、営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス <http://www.myam.co.jp/>

申込手数料は、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数）に、2.2%（税抜2.0%）を上限として各販売会社が別途定める料率を乗じて得た金額とします。

申込手数料につきましては、お申込みの販売会社にお問合わせください。

分配金再投資コースでお申込みの受益者が販売会社との間で結んだ「自動継続投資契約」に基づいて収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

お申込単位は、販売会社が定める申込単位とします。

自動継続投資契約に基づく収益分配金の再投資については1口単位とします。

ファンドのお申込みには、収益の分配が行われるごとに分配金を受益者に支払う「分配金受取りコース」と、分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料でファンドに再投資する「分配金再投資コース」があります。分配金の受取方法を途中で変更することはできません。

「分配金再投資コース」を選択する場合には、取得申込者は、販売会社との間で自動継続投資契約を締結する必要があります。

販売会社により「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」のどちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社までお問い合わせください。

分配金再投資コースで当ファンドの取得申込みをする場合であっても、販売会社によっては、分配金を定期的に受け取るための定期引出契約（販売会社により異なる名称を用いる場合があります。）を締結することにより、分配金を受け取ることができる場合があります。

申込期間中における取得申込みの受付時間は、原則として午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付として取扱います。

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた取得申込みの受付を取消することができるものとします。

2【換金（解約）手続等】

・信託の一部解約（解約請求制）

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。

一部解約の価額（解約価額）は、解約請求受付日の翌営業日の基準価額から0.2%の信託財産留保額を控除した金額とします。解約代金は請求を受付けた日から起算して、原則として5営業日目から受益者に支払います。

基準価額につきましては、取扱販売会社または下記委託会社にてご確認いただけます。また、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号 0120-565787（受付時間は、営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス <http://www.myam.co.jp/>

「信託財産留保額」とは、受益者の公平性および運用資金の安定性に資するために投資信託を中途解約される受益者の基準価額から差し引いて、残存受益者の信託財産に繰り入れる金額をいいます。

換金の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

換金手数料はありません。

ご換金単位は、販売会社が定める単位とします。

自動継続投資契約にかかる受益権については1口の整数倍をもって一部解約の実行を請求することができます。

一部解約の実行請求の受付時間は、原則として午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付とします。

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受付を中止することおよびすでに受付けた一部解約の実行の請求の受付を取消することができます。

上記により、一部解約の実行の請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受付けたものとして、上記の規定に準じて計算された価額とします。

信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の解約請求には制限を設ける場合があります。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

基準価額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。便宜上1万口あたりに換算した価額で表示されます。

なお、ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

主な資産の種類	評価方法
親投資信託受益証券	基準価額計算日の基準価額で評価します。
株 式	原則として、基準価額計算日 の金融商品取引所の終値で評価します。 外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。
公社債等	原則として、基準価額計算日 における以下のいずれかの価額で評価します。 日本証券業協会発表の売買参考統計値(平均値) 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除きます。） 価格情報会社の提供する価額 外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。
外貨建資産	原則として、基準価額計算日の対顧客相場の仲値で円換算を行います。 また、予約為替の評価は、原則としてわが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

基準価額につきましては、取扱販売会社または下記委託会社にてご確認いただけます。また、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

明治安田アセットマネジメント株式会社

電話番号 0120-565787（受付時間は、営業日の午前9時～午後5時）

ホームページアドレス <http://www.myam.co.jp/>

(2)【保管】

該当事項はありません。

(3)【信託期間】

この信託の期間は無期限です。

異議申立手続きの結果、当ファンドの信託終了（繰上償還）が決定された場合は、信託期間の末日は2020年2月26日に変更されます。

(4)【計算期間】

ファンドの計算期間は、原則として毎年4月11日から翌年4月10日までとします。

各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日以降の営業日で該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

(5)【その他】

信託の終了および繰上償還条項

1. 委託会社は、信託期間中において、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、あるいはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
2. 委託会社は、上記の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面をこの信託契約に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託契約に係る全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
3. 上記2.の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。
4. 上記3.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるとときは、委託会社はこの信託契約の解約を行わないものとします。
5. 委託会社は、この信託契約の解約を行わないときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

6. 上記3.から5.までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、一定の期間が1ヵ月を下らずに公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しないものとします。

信託契約に関する監督官庁の命令

委託会社は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。

委託会社の登録取消等に伴う取扱い

委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、この信託契約を解約し信託を終了させます。ただし、監督官庁が、この信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、「信託約款の変更 4.」に該当する場合を除き、この信託は、その委託会社と受託会社との間において存続します。

受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社がその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、「信託約款の変更」の規定にしたがい、新受託会社を選任します。ただし、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

償還金について

償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から(原則として償還日(償還日が休業日の場合は当該償還日の翌営業日)から起算して5営業日までに)、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に支払います。償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。

委託会社の事業および承継に伴う取扱い

1. 委託会社は、事業の全部又は一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。
2. 委託会社は、分割により事業の全部又は一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

信託約款の変更

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。
2. 委託会社は、その変更事項のうちその内容が重要なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託約款に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託約款に係る全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
3. 上記の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。
4. 上記の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、この信託約款の変更をしません。
5. 委託会社は、当該信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
6. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、上記の規定にしたがいます。

反対者の買取請求権

信託契約の解約またはその内容が重大な信託約款の変更を行う場合において、一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。ただし、当該請求の取扱いは、委託会社と受託会社の協議により定めた手続きにより行うものとします。

運用報告書

委託会社は、決算時及び償還時に作成のうえ、交付運用報告書は、販売会社を通じて信託財産にかかる知っている受益者に交付します。

委託会社は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供することができます。この場合において、委託会社は、運用報告書を交付したものとみなします。

ただし、委託会社は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付するものとします。

その他のディスクロージャー資料について

委託会社は、通常、月次の運用レポートを作成しており、販売会社にて入手可能です。また、委託会社のホームページにおいても入手可能です。

公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<http://www.myam.co.jp/>

2. 前項の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改等に関する手続き

委託会社と販売会社との間で締結された「投資信託受益権の取扱いに関する契約」は、契約期間満了日の3ヵ月前までに委託会社および販売会社いずれかから別段の意思表示がない限り、1年毎に自動更新されます。また、本契約が終了した場合は、受益者に対する支払事務等において受益者に不測の損害を与えぬよう協議します。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

(1) 収益分配金請求権

受益者は委託会社の決定した収益分配金を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から（原則として決算日から起算して5営業日までに）、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

収益分配金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。

受益者が、収益分配金についてその支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

分配金再投資コースにお申込みされている受益者の収益分配金については、販売会社を通じて、自動継続投資契約に基づき、原則として税控除後、決算日の基準価額で翌営業日に自動的に再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

(2) 償還金請求権

受益者はファンドにかかる償還金を持分に応じて請求する権利を有します。

償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から（原則として償還日（償還日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日までに）、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。

受益者が、信託終了による償還金についてその支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

(3) 受益権の買取請求権

信託契約の解約またはその内容が重大な信託約款の変更を行う場合において、一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、受託銀行に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。ただし、当該請求の取扱いは、委託会社と受託銀行の協議により定められた手続きにより行うものとします。

(4) 信託の一部解約の実行請求権

受益者は、一部解約の実行を販売会社を通して委託会社に請求することができます。一部解約金は、受益者の請求を受付けた日から起算して、原則として、5営業日目から受益者に支払います。

(5) 帳簿閲覧謄写請求権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内に、当該受益者に係る信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第18期計算期間（2018年4月11日から2019年4月10日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【明治安田グローバルバランスオープン】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第17期 (2018年4月10日現在)	第18期 (2019年4月10日現在)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	5,603,957	2,423,880
親投資信託受益証券	203,564,959	176,172,230
流動資産合計	209,168,916	178,596,110
資産合計	209,168,916	178,596,110
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	2,838,459	-
未払解約金	-	9,880
未払受託者報酬	94,481	79,358
未払委託者報酬	1,676,949	1,408,594
その他未払費用	6,173	5,161
流動負債合計	4,616,062	1,502,993
負債合計	4,616,062	1,502,993
純資産の部		
元本等		
元本	157,692,170	141,312,159
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	46,860,684	35,780,958
(分配準備積立金)	51,003,815	43,200,033
元本等合計	204,552,854	177,093,117
純資産合計	204,552,854	177,093,117
負債純資産合計	209,168,916	178,596,110

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第17期 (自 2017年 4月11日 至 2018年 4月10日)	第18期 (自 2018年 4月11日 至 2019年 4月10日)
営業収益		
有価証券売買等損益	20,292,445	3,472,729
営業収益合計	20,292,445	3,472,729
営業費用		
受託者報酬	187,637	170,260
委託者報酬	3,330,420	3,022,133
その他費用	13,614	12,382
営業費用合計	3,531,671	3,204,775
営業利益又は営業損失 ()	16,760,774	6,677,504
経常利益又は経常損失 ()	16,760,774	6,677,504
当期純利益又は当期純損失 ()	16,760,774	6,677,504
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 ()	2,471,952	536,804
期首剰余金又は期首欠損金 ()	37,583,576	46,860,684
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,772,909	2,520,842
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,772,909	2,520,842
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,946,164	7,459,868
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,946,164	7,459,868
分配金	2,838,459	-
期末剰余金又は期末欠損金 ()	46,860,684	35,780,958

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	当ファンドの計算期間は、2018年4月11日から2019年4月10日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第17期 (2018年4月10日現在)	第18期 (2019年4月10日現在)
1. 計算期間の末日における受益権の総数 157,692,170口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 141,312,159口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.2972円 (10,000口当たり純資産額) (12,972円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.2532円 (10,000口当たり純資産額) (12,532円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第17期 (自 2017年4月11日 至 2018年4月10日)			第18期 (自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)		
分配金の計算過程 計算期間末における分配対象額84,503,287円(10,000口当たり5,358円72銭)のうち、2,838,459円(10,000口当たり180円00銭)を分配金額としております。			分配金の計算過程 計算期間末における分配対象額は、73,249,436円(10,000口当たり5,183円51銭)であり、分配金は0円としております。		
項目		金額または口数	項目		金額または口数
配当等収益額(費用控除後)	A	2,969,774円	配当等収益額(費用控除後)	A	-円
有価証券売買等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	B	8,789,366円	有価証券売買等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	B	-円
収益調整金額	C	30,661,013円	収益調整金額	C	30,049,403円
分配準備積立金額	D	42,083,134円	分配準備積立金額	D	43,200,033円
分配対象額(A+B+C+D)	E	84,503,287円	分配対象額(A+B+C+D)	E	73,249,436円
期末受益権口数	F	157,692,170口	期末受益権口数	F	141,312,159口
10,000口当たりの分配対象額 (E÷F×10,000)	G	5,358円72銭	10,000口当たりの分配対象額 (E÷F×10,000)	G	5,183円51銭
10,000口当たりの分配金額	H	180円00銭	10,000口当たりの分配金額	H	-円 -銭
分配金額(F×H÷10,000)	I	2,838,459円	分配金額(F×H÷10,000)	I	-円

（金融商品に関する注記）

1. 金融商品の状況に関する事項

	第17期 （自 2017年4月11日 至 2018年4月10日）	第18期 （自 2018年4月11日 至 2019年4月10日）
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「（その他の注記）」の「2. 有価証券関係」に記載しております。これらは価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、及び流動性リスクに晒されております。	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「（その他の注記）」の「2. 有価証券関係」に記載しております。これらは価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、及び流動性リスクに晒されております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては運用部門から独立したリスク管理に関する委員会を設け投資リスクの管理を行っております。信託約款の遵守状況、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスク等モニターしており、ガイドラインに沿った運用を行っているかにつき定期的なフォロー及びチェックを実施しております。市場リスクについてはファンド運用状況の継続モニタリングを実施し、各種委員会においてパフォーマンス動向や業種配分等のポートフォリオ特性分析などファンドの運用状況を報告します。信用リスクについては格付けその他発行体等に関する情報を収集、分析のうえファンドの商品特性に照らして組入れ銘柄の信用リスク管理をしております。また、流動性リスクについては市場流動性の状況を把握し流動性リスクを管理しております。	委託会社においては運用部門から独立したリスク管理に関する委員会を設け投資リスクの管理を行っております。信託約款の遵守状況、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスク等モニターしており、ガイドラインに沿った運用を行っているかにつき定期的なフォロー及びチェックを実施しております。市場リスクについてはファンド運用状況の継続モニタリングを実施し、各種委員会においてパフォーマンス動向や業種配分等のポートフォリオ特性分析などファンドの運用状況を報告します。信用リスクについては格付けその他発行体等に関する情報を収集、分析のうえファンドの商品特性に照らして組入れ銘柄の信用リスク管理をしております。また、流動性リスクについては市場流動性の状況を把握し流動性リスクを管理しております。
4. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

	第17期 (自 2017年4月11日 至 2018年4月10日)	第18期 (自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	親投資信託受益証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	親投資信託受益証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(関連当事者との取引に関する注記)

第17期(自 2017年4月11日 至 2018年4月10日)

該当事項はございませぬ。

第18期(自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)

該当事項はございませぬ。

(その他の注記)

1. 元本の移動

	第17期 (自 2017年4月11日 至 2018年4月10日)	第18期 (自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)
期首元本額	172,386,179円	157,692,170円
期中追加設定元本額	12,463,748円	8,913,329円
期中一部解約元本額	27,157,757円	25,293,340円

2. 有価証券関係

売買目的有価証券

	第17期 (自 2017年4月11日 至 2018年4月10日)	第18期 (自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)
種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額(円)
親投資信託 受益証券	15,080,878	3,210,834
合計	15,080,878	3,210,834

3. デリバティブ取引関係

第17期（2018年4月10日現在）

該当事項はございません。

第18期（2019年4月10日現在）

該当事項はございません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

（1）株式（2019年4月10日現在）

該当事項はございません。

（2）株式以外の有価証券

（2019年4月10日現在）

種類	銘柄	総口数（口）	評価額（円）	備考
親投資信託受益証券	明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド	47,317,805	56,431,214	
親投資信託受益証券	明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド	2,068,046	5,815,758	
親投資信託受益証券	明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド	8,666,839	19,779,459	
親投資信託受益証券	明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド	43,883,576	64,008,583	
親投資信託受益証券	明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド	12,058,263	30,137,216	
合計		113,994,529	176,172,230	

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

（参考）

当ファンドは「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

同親投資信託の状況は次の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年4月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
金銭信託	58,424,942
株式	5,479,638,200
未収入金	207,510,559
未収配当金	47,120,950
流動資産合計	5,792,694,651
資産合計	5,792,694,651
負債の部	
流動負債	
未払金	196,590,410
未払解約金	2,740,000
その他未払費用	7,182
流動負債合計	199,337,592
負債合計	199,337,592
純資産の部	
元本等	
元本	4,689,879,429
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	903,477,630
元本等合計	5,593,357,059
純資産合計	5,593,357,059
負債純資産合計	5,792,694,651

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	貸借対照表は、ファンドの計算期間末の2019年4月10日現在であります。 なお、当親投資信託の計算期間は、2018年4月19日から2019年4月18日までとなっております。

(その他の注記)

(2019年4月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間（自 2018年4月11日 至 2019年4月10日）の元本状況	
期首（2018年4月11日）の元本額	4,285,896,577円
対象期間中の追加設定元本額	780,428,281円
対象期間中の一部解約元本額	376,445,429円
2019年4月10日現在の元本額の内訳	
ノーロード明治安田5資産バランス（安定コース）	27,125,044円
ノーロード明治安田5資産バランス（安定成長コース）	58,786,385円
ノーロード明治安田5資産バランス（積極コース）	86,960,885円
ノーロード明治安田日本株式アクティブ	267,811,669円
明治安田日本株式リサーチオープン	260,539,358円
明治安田DC日本株式リサーチオープン	1,498,412,404円
明治安田DCハートフルライフ（プラン70）	777,728,680円
明治安田グローバルバランスオープン	47,317,805円
明治安田DCグローバルバランスオープン	570,640,784円
明治安田DCハートフルライフ（プラン30）	296,446,532円
明治安田DCハートフルライフ（プラン50）	732,238,955円
明治安田VA日本株式オープン（適格機関投資家私募）	53,703,198円
明治安田VAハートフルライフ30（適格機関投資家私募）	5,843,009円
明治安田VAハートフルライフ50（適格機関投資家私募）	6,324,721円
計	4,689,879,429円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.1926円
（10,000口当たり純資産額）	(11,926円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(2019年4月10日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
日本円	ヤクルト本社	15,100	7,250.00	109,475,000	
	味の素	31,900	1,713.00	54,644,700	
	日本たばこ産業	41,100	2,609.00	107,229,900	
	レンゴー	67,200	995.00	66,864,000	
	信越化学工業	11,600	10,450.00	121,220,000	
	日本触媒	7,400	7,650.00	56,610,000	
	花王	31,800	8,473.00	269,441,400	
	中外製薬	7,800	7,070.00	55,146,000	
	エーザイ	8,600	6,424.00	55,246,400	
	大塚ホールディングス	20,900	4,248.00	88,783,200	
	J X T Gホールディングス	52,000	541.00	28,132,000	
	太平洋セメント	14,800	3,900.00	57,720,000	
	クボタ	185,300	1,612.00	298,703,600	
	日本電気	43,500	3,960.00	172,260,000	
	セイコーエプソン	32,000	1,755.00	56,160,000	
	横河電機	129,000	2,358.00	304,182,000	
	アドバンテスト	56,500	3,095.00	174,867,500	
	村田製作所	29,100	5,893.00	171,486,300	
	トヨタ自動車	41,300	6,795.00	280,633,500	
	ヤマハ発動機	75,300	2,320.00	174,696,000	
	島津製作所	19,200	3,245.00	62,304,000	
	任天堂	3,300	32,920.00	108,636,000	
	東北電力	68,400	1,389.00	95,007,600	
	東海旅客鉄道	2,800	24,255.00	67,914,000	
	山九	30,900	5,160.00	159,444,000	
	九州旅客鉄道	21,700	3,540.00	76,818,000	
	商船三井	63,200	2,655.00	167,796,000	
	日本航空	14,300	3,787.00	54,154,100	
	日本ユニシス	57,000	2,816.00	160,512,000	
	日本電信電話	51,700	4,562.00	235,855,400	
	ソフトバンクグループ	10,500	10,985.00	115,342,500	
	三菱商事	70,600	3,067.00	216,530,200	
	三越伊勢丹ホールディングス	50,500	1,060.00	53,530,000	
	良品計画	3,900	26,170.00	102,063,000	
	三井住友トラスト・ホールディングス	66,100	4,020.00	265,722,000	
	三井住友フィナンシャルグループ	42,000	3,955.00	166,110,000	
	S B Iホールディングス	11,800	2,499.00	29,488,200	
	アイフル	890,900	257.00	228,961,300	
	三井不動産	46,000	2,675.00	123,050,000	
	日本M & Aセンター	29,200	3,060.00	89,352,000	
	エムスリー	92,400	1,836.00	169,646,400	
	電通	6,000	4,650.00	27,900,000	
小計		2,554,600		5,479,638,200	

合計				5,479,638,200	
----	--	--	--	---------------	--

(2) 株式以外の有価証券(2019年 4 月10日現在)

該当事項はございません。

第 2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

（参考）

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年4月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
金銭信託	264,920,969
株式	4,333,219,000
未収入金	16,607,840
未収配当金	34,344,550
流動資産合計	4,649,092,359
資産合計	4,649,092,359
負債の部	
流動負債	
未払解約金	43,790,000
その他未払費用	32,813
流動負債合計	43,822,813
負債合計	43,822,813
純資産の部	
元本等	
元本	1,637,599,626
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	2,967,669,920
元本等合計	4,605,269,546
純資産合計	4,605,269,546
負債純資産合計	4,649,092,359

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	貸借対照表は、ファンドの計算期間末の2019年4月10日現在であります。 なお、当親投資信託の計算期間は、2018年4月19日から2019年4月18日までとなっております。

(その他の注記)

(2019年4月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間（自 2018年4月11日 至 2019年4月10日）の元本状況	
期首（2018年4月11日）の元本額	1,015,043,702円
対象期間中の追加設定元本額	916,750,370円
対象期間中の一部解約元本額	294,194,446円
2019年4月10日現在の元本額の内訳	
明治安田DC中小型株式オープン	930,501,861円
明治安田日本中小型成長株式ファンド	526,692,669円
明治安田日本株式リサーチオープン	10,906,362円
明治安田DC日本株式リサーチオープン	63,005,700円
明治安田DCハートフルライフ（プラン70）	32,904,393円
明治安田グローバルバランスオープン	2,068,046円
明治安田DCグローバルバランスオープン	25,163,141円
明治安田DCハートフルライフ（プラン30）	12,475,056円
明治安田DCハートフルライフ（プラン50）	31,065,979円
明治安田VA日本株式オープン（適格機関投資家私募）	2,300,019円
明治安田VAハートフルライフ30（適格機関投資家私募）	247,955円
明治安田VAハートフルライフ50（適格機関投資家私募）	268,445円
計	1,637,599,626円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.8122円
（10,000口当たり純資産額）	（28,122円）

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(2019年4月10日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
日本円	サカタのタネ	12,500	3,640.00	45,500,000	
	前田建設工業	33,500	1,082.00	36,247,000	
	東鉄工業	11,900	3,010.00	35,819,000	
	熊谷組	23,800	3,130.00	74,494,000	
	ライト工業	52,000	1,460.00	75,920,000	
	寿スピリッツ	14,000	4,230.00	59,220,000	
	アリアケジャパン	8,000	6,510.00	52,080,000	
	グンゼ	20,000	4,665.00	93,300,000	
	マツオカコーポレーション	17,200	3,525.00	60,630,000	
	特種東海製紙	14,000	4,125.00	57,750,000	
	北越コーポレーション	75,800	635.00	48,133,000	
	ラサ工業	25,000	1,545.00	38,625,000	
	日本曹達	12,500	2,952.00	36,900,000	
	関東電化工業	26,800	805.00	21,574,000	
	KHネオケム	27,000	3,090.00	83,430,000	
	住友ベークライト	21,300	4,200.00	89,460,000	
	第一工業製薬	22,300	3,705.00	82,621,500	
	ファンケル	32,400	2,692.00	87,220,800	
	レック	40,000	1,528.00	61,120,000	
	エフピコ	9,900	6,600.00	65,340,000	
	ペプチドリーム	15,600	5,640.00	87,984,000	
	ヘリオス	27,100	1,790.00	48,509,000	
	日本カーボン	8,300	5,270.00	43,741,000	
	ニチアス	18,300	2,222.00	40,662,600	
	ジェイテックコーポレーション	7,300	4,750.00	34,675,000	
	日精エー・エス・ビー機械	12,300	4,090.00	50,307,000	
	ハーモニック・ドライブ・システムズ	8,000	4,560.00	36,480,000	
	澁谷工業	20,800	3,395.00	70,616,000	
	タダノ	41,900	1,186.00	49,693,400	
	竹内製作所	17,200	2,076.00	35,707,200	
	日本ピラー工業	38,200	1,336.00	51,035,200	
	安川電機	14,200	4,000.00	56,800,000	
	アンリツ	28,200	2,212.00	62,378,400	
	TOA	28,000	1,139.00	31,892,000	
	エスベック	31,200	2,146.00	66,955,200	
	日置電機	12,200	4,880.00	59,536,000	
	山一電機	27,500	1,211.00	33,302,500	
	トヨタ紡織	30,800	1,761.00	54,238,800	
	武蔵精密工業	28,400	1,664.00	47,257,600	
	プレス工業	93,700	600.00	56,220,000	
	シグマ光機	31,200	1,393.00	43,461,600	
	朝日インテック	15,400	5,110.00	78,694,000	
	前田工織	15,700	2,383.00	37,413,100	

	オカムラ	61,500	1,163.00	71,524,500	
	エフオン	70,300	806.00	56,661,800	
	イーレックス	43,900	1,025.00	44,997,500	
	日鉄ソリューションズ	22,000	2,951.00	64,922,000	
	コムチュア	30,000	3,580.00	107,400,000	
	マクロミル	45,000	1,386.00	62,370,000	
	ソースネクスト	70,000	460.00	32,200,000	
	スマレジ	4,600	3,495.00	16,077,000	
	デジタルガレージ	25,700	3,185.00	81,854,500	
	E Mシステムズ	52,700	1,308.00	68,931,600	
	アルコニックス	41,800	1,290.00	53,922,000	
	シークス	25,500	1,723.00	43,936,500	
	キヤノンマーケティングジャパン	24,400	2,210.00	53,924,000	
	西本Wismettacホールディングス	21,000	4,255.00	89,355,000	
	S O U	18,000	4,915.00	88,470,000	
	薬王堂	28,000	2,600.00	72,800,000	
	西松屋チェーン	73,900	874.00	64,588,600	
	ユナイテッドアローズ	10,000	3,525.00	35,250,000	
	ビジョナリーホールディングス	680,000	72.00	48,960,000	
	バローホールディングス	33,300	2,690.00	89,577,000	
	池田泉州ホールディングス	163,900	284.00	46,547,600	
	アイペット損害保険	16,600	3,875.00	64,325,000	
	S B I インシュアランスグループ	57,000	1,270.00	72,390,000	
	ジェイエイシーリクルートメント	43,000	2,420.00	104,060,000	
	イオンファンタジー	16,000	2,926.00	46,816,000	
	ラウンドワン	27,700	1,410.00	39,057,000	
	S E R I Oホールディングス	18,000	818.00	14,724,000	
	ポート	50,000	1,140.00	57,000,000	
	識学	1,300	5,250.00	6,825,000	
	コプロ・ホールディングス	30,000	2,021.00	60,630,000	
	東祥	17,000	2,955.00	50,235,000	
	セントラル警備保障	28,300	4,945.00	139,943,500	
	小計	2,921,800		4,333,219,000	
	合計			4,333,219,000	

(2) 株式以外の有価証券(2019年4月10日現在)

該当事項はございません。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

（参考）

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年4月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
金銭信託	407,578,207
国債証券	14,336,106,740
特殊債券	303,709,886
社債券	19,631,939,300
未収利息	53,440,778
前払費用	12,648,393
流動資産合計	34,745,423,304
資産合計	34,745,423,304
負債の部	
流動負債	
未払解約金	1,800,000
その他未払費用	68,711
流動負債合計	1,868,711
負債合計	1,868,711
純資産の部	
元本等	
元本	23,820,445,073
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	10,923,109,520
元本等合計	34,743,554,593
純資産合計	34,743,554,593
負債純資産合計	34,745,423,304

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	国債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	貸借対照表は、ファンドの計算期間末の2019年4月10日現在であります。 なお、当親投資信託の計算期間は、2018年4月11日から2019年4月10日までとなっております。

(その他の注記)

(2019年4月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間(自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)の元本状況	
期首(2018年4月11日)の元本額	20,515,775,995円
対象期間中の追加設定元本額	15,204,275,824円
対象期間中の一部解約元本額	11,899,606,746円
2019年4月10日現在の元本額の内訳	
明治安田先進国コアファンド(年1回決算型)	41,688,567円
明治安田DC先進国コアファンド	35,323,808円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定コース)	110,264,298円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定成長コース)	71,092,074円
ノーロード明治安田5資産バランス(積極コース)	34,469,093円
明治安田日本債券オープン(年1回決算型)	16,314,810円
明治安田DCハートフルライフ(プラン70)	303,662,703円
明治安田グローバルバランスオープン	43,883,576円
明治安田DCグローバルバランスオープン	527,202,549円
明治安田日本債券オープン(毎月決算型)	1,616,931,062円
明治安田DCハートフルライフ(プラン30)	794,285,663円
明治安田DCハートフルライフ(プラン50)	868,846,325円
明治安田DC日本債券オープン	8,703,931,000円
明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)	15,464,536円
明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)	7,400,362円
明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPF ファンド(適格機関投資家私募)	10,629,684,647円
計	23,820,445,073円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.4586円
(10,000口当たり純資産額)	(14,586円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式（2019年4月10日現在）

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

（2019年4月10日現在）

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
日本円				
国債証券	第396回利付国債2年	373,000,000	374,741,910	
	第399回利付国債2年	1,270,000,000	1,276,781,800	
	第11回利付国債40年	40,000,000	43,276,400	
	第11回利付国債40年	228,000,000	246,675,480	
	第11回利付国債40年	20,000,000	21,638,200	
	第11回利付国債40年	239,000,000	258,576,490	
	第353回利付国債10年	820,000,000	834,005,600	
	第353回利付国債10年	200,000,000	203,416,000	
	第353回利付国債10年	405,000,000	411,917,400	
	第354回利付国債10年	1,715,000,000	1,742,422,850	
	第32回利付国債30年	273,000,000	377,965,770	
	第34回利付国債30年	390,000,000	536,456,700	
	第37回利付国債30年	450,000,000	597,235,500	
	第43回利付国債30年	241,000,000	312,343,230	
	第46回利付国債30年	450,000,000	563,679,000	
	第49回利付国債30年	130,000,000	160,002,700	
	第49回利付国債30年	190,000,000	233,850,100	
	第49回利付国債30年	6,000,000	7,384,740	
	第61回利付国債30年	122,000,000	127,976,780	
	第61回利付国債30年	584,000,000	612,610,160	
	第61回利付国債30年	132,000,000	138,466,680	
	第61回利付国債30年	12,000,000	12,587,880	
	第133回利付国債20年	272,000,000	331,619,680	
	第146回利付国債20年	358,000,000	437,683,640	
	第150回利付国債20年	15,000,000	17,776,350	
	第151回利付国債20年	1,377,000,000	1,591,357,590	
	第151回利付国債20年	200,000,000	231,134,000	
	第161回利付国債20年	331,000,000	349,029,570	
	第162回利付国債20年	68,000,000	71,627,800	
	第166回利付国債20年	248,000,000	264,764,800	
	第167回利付国債20年	590,000,000	606,862,200	
	第167回利付国債20年	685,000,000	704,577,300	
	第167回利付国債20年	168,000,000	172,801,440	
	第167回利付国債20年	450,000,000	462,861,000	
国債証券計		13,052,000,000	14,336,106,740	
特殊債券	S種第14回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	16,260,000	16,639,508	
	第53回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	41,815,000	44,416,729	
	第143回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	200,000,000	200,670,000	
	S種第5回貸付債権担保住宅金融公庫債券	40,698,000	41,983,649	
特殊債券計		298,773,000	303,709,886	

社債券	2017第1回バンク・サンタンデル・エセ・ アー円貨社債(TLAC)	100,000,000	99,753,000	
	2017第1回バンク・サンタンデル・エセ・ アー円貨社債(TLAC)	300,000,000	299,259,000	
	2017第1回バンク・サンタンデル・エセ・ アー円貨社債(TLAC)	300,000,000	299,259,000	
	2015第1回ソシエテジェネラル円貨社債(劣 後特約付)	700,000,000	737,751,000	
	2015第2回ソシエテジェネラル円貨社債(劣 後特約付)	300,000,000	303,559,800	
	第6回ケーティー円貨社債	200,000,000	200,130,000	
	第7回ケーティー円貨社債	100,000,000	100,130,000	
	第8回ケーティー円貨社債	200,000,000	200,122,000	
	第8回ケーティー円貨社債	400,000,000	400,244,000	
	アフラックユーロ円債30/10/18	300,000,000	304,363,200	
	第500回関西電力(一般担保付)	100,000,000	100,745,000	
	第17回東京電力パワーグリッド(一般担保付)	900,000,000	895,626,000	
	第1回積水ハウス無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	404,654,400	
	太陽生命保険株式会社第5回A号劣後債	200,000,000	200,224,800	
	住友生命保険相互会社第2回A号劣後債	800,000,000	802,185,600	
	サントリーホールディングス第1回劣後債	100,000,000	100,467,600	
	ヒューリック第1回劣後債	200,000,000	201,132,800	
	第5回クラレ無担保社債	100,000,000	99,863,000	
	第2回日本土地建物無担保社債	100,000,000	100,218,000	
	第3回日本土地建物無担保社債	200,000,000	199,642,000	
	第2回住友三井オートサービス無担保社債	200,000,000	200,360,000	
	第4回三井住友トラスト・パナソニックファイ ナンス無担保社債	200,000,000	200,090,000	
	日本生命劣後ローン流動化第1回劣後債	200,000,000	201,965,000	
	第1回日本生命第2回劣後ローン流動化劣後債	400,000,000	402,693,200	
	第1回ドンキホーテホールディングス無担保社債 (劣後特約付)	800,000,000	805,196,800	
	第1回ドンキホーテホールディングス無担保社債 (劣後特約付)	200,000,000	201,299,200	
	第1回ドンキホーテホールディングス無担保社債 (劣後特約付)	300,000,000	301,948,800	
	第1回ドンキホーテホールディングス無担保社債 (劣後特約付)	300,000,000	301,948,800	
	三菱商事株式会社第1回劣後特約付	300,000,000	301,876,800	
	三菱商事株式会社第4回劣後特約付	100,000,000	100,428,500	
	三菱商事株式会社第5回劣後特約付	200,000,000	201,350,800	
	第73回クレディセゾン無担保社債	300,000,000	300,516,000	
	第16回三菱UFJフィナンシャル・グループ無 担保社債(劣後特約付)	200,000,000	200,457,600	
	第18回三菱UFJフィナンシャル・グループ無 担保社債(劣後特約付)	700,000,000	699,503,000	
	第7回三井住友トラスト・ホールディングス無担 保社債(劣後特約付)	900,000,000	900,767,700	
	第6回みずほフィナンシャルグループ無担保永久 社債(劣後特約付)	600,000,000	604,798,200	
	第34回リコーリース無担保社債	200,000,000	199,964,000	
	第34回リコーリース無担保社債	100,000,000	99,982,000	

	第12回オリエントコーポレーション無担保社債	200,000,000	201,190,000	
	第17回オリエントコーポレーション無担保社債	200,000,000	199,780,000	
	第19回オリエントコーポレーション無担保社債	400,000,000	398,084,000	
	日立キャピタル株式会社第1回劣後特約付	100,000,000	100,888,200	
	第5回アプラスフィナンシャル無担保社債	200,000,000	199,112,000	
	第1回MS&ADインシュアランスグループHD無担保社債(劣後特約付)	300,000,000	304,370,400	
	第3回MS&ADインシュアランスグループHD無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	203,692,600	
	三井住友海上火災保険第1回劣後債	300,000,000	303,177,300	
	三井住友海上火災保険第3回劣後債	300,000,000	303,584,100	
	損害保険ジャパン日本興亜第3回劣後債	400,000,000	404,518,400	
	第1回T&Dホールディングス無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	202,845,800	
	三菱地所第2回劣後債	100,000,000	100,457,900	
	第35回相鉄ホールディングス無担保社債	300,000,000	305,712,000	
	第36回相鉄ホールディングス無担保社債	100,000,000	101,296,000	
	第38回相鉄ホールディングス無担保社債	200,000,000	203,092,000	
	第41回南海電気鉄道無担保社債	100,000,000	101,223,000	
	第43回南海電気鉄道無担保社債	100,000,000	102,696,000	
	第44回南海電気鉄道無担保社債	200,000,000	202,740,000	
	第16回光通信無担保社債	500,000,000	539,205,000	
	第18回光通信無担保社債	1,000,000,000	1,034,590,000	
	第48回ソフトバンクグループ無担保社債	300,000,000	308,061,000	
	第51回ソフトバンクグループ無担保社債	400,000,000	410,580,000	
	第52回ソフトバンクグループ無担保社債	1,000,000,000	1,026,350,000	
	第53回ソフトバンクグループ無担保社債	100,000,000	100,217,000	
	社債券計	19,400,000,000	19,631,939,300	
	合計		34,271,755,926	

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

（参考）

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年4月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
預金	81,143,927
金銭信託	199,436,046
株式	18,008,539,102
投資証券	225,868,366
未収配当金	27,705,343
流動資産合計	18,542,692,784
資産合計	18,542,692,784
負債の部	
流動負債	
未払解約金	8,630,000
その他未払費用	49,656
流動負債合計	8,679,656
負債合計	8,679,656
純資産の部	
元本等	
元本	7,415,735,806
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	11,118,277,322
元本等合計	18,534,013,128
純資産合計	18,534,013,128
負債純資産合計	18,542,692,784

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、金融商品取引業者等から提示される気配相場、または運用会社等が公表する基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>(3) 為替予約取引 個別法に基づき、計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p> <p>なお、外貨建資産等の会計処理は「投資信託財産計算規則」第60条及び第61条に基づいております。</p>
3. 費用・収益の計上基準	<p>(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額、未だ確定していない場合には入金時に計上しております。</p> <p>(2) 有価証券売買等損益及び為替予約による為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>
4. その他	<p>貸借対照表は、ファンドの計算期間末の2019年4月10日現在であります。</p> <p>なお、当親投資信託の計算期間は、2018年4月11日から2019年4月10日までとなっております。</p>

(その他の注記)

(2019年4月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間(自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)の元本状況	
期首(2018年4月11日)の元本額	4,852,025,856円
対象期間中の追加設定元本額	8,588,157,759円
対象期間中の一部解約元本額	6,024,447,809円
2019年4月10日現在の元本額の内訳	
明治安田先進国コアファンド(年1回決算型)	18,027,956円
明治安田DC先進国コアファンド	15,279,497円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定コース)	13,365,698円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定成長コース)	29,034,959円
ノーロード明治安田5資産バランス(積極コース)	28,455,645円
明治安田DCハートフルライフ(プラン70)	230,256,240円
明治安田グローバルバランスオープン	12,058,263円
明治安田DCグローバルバランスオープン	145,554,188円
明治安田DC外国株式リサーチオープン	3,742,875,349円
明治安田DCハートフルライフ(プラン30)	78,484,427円
明治安田DCハートフルライフ(プラン50)	263,833,280円
明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)	1,582,566円
明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)	2,286,482円
明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPファンド(適格機関投資家私募)	2,834,641,256円
計	7,415,735,806円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.4993円
(10,000口当たり純資産額)	(24,993円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(2019年4月10日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル	AMAZON.COM INC	2,430	1,835.84	4,461,091.20	
	ABBOTT LABORATORIES	25,700	78.67	2,021,819.00	
	AMERICAN EXPRESS CO	18,355	109.85	2,016,296.75	
	ANADARKO PETROLEUM CORP	9,460	46.17	436,768.20	
	APPLE INC	20,050	199.50	3,999,975.00	
	AMETEK INC	27,460	83.55	2,294,283.00	
	VERIZON COMMUNICATIONS INC	33,700	58.40	1,968,080.00	
	JPMORGAN CHASE & CO	29,960	104.87	3,141,905.20	
	COLGATE-PALMOLIVE CO	18,300	68.11	1,246,413.00	
	DANAHER CORP	18,865	131.83	2,486,972.95	
	WALT DISNEY CO/THE	15,900	116.86	1,858,074.00	
	DOLLAR TREE INC	9,760	102.60	1,001,376.00	
	CITIGROUP INC	39,540	65.20	2,578,008.00	
	ECOLAB INC	14,440	181.50	2,620,860.00	
	EOG RESOURCES INC	22,015	98.57	2,170,018.55	
	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	8,125	163.85	1,331,281.25	
	NEXTERA ENERGY INC	19,700	189.71	3,737,287.00	
	GILEAD SCIENCES INC	9,400	66.09	621,246.00	
	NVIDIA CORP	4,045	189.26	765,556.70	
	WW GRAINGER INC	2,435	305.28	743,356.80	
	HOME DEPOT INC	12,800	200.90	2,571,520.00	
	INTEL CORP	23,100	55.32	1,277,892.00	
	INTL FLAVORS & FRAGRANCES	8,830	131.19	1,158,407.70	
	AGILENT TECHNOLOGIES INC	23,235	81.42	1,891,793.70	
	MICROSOFT CORP	53,990	119.28	6,439,927.20	
	NIKE INC -CL B	11,000	84.28	927,080.00	
	WELLS FARGO & CO	9,870	48.14	475,141.80	
	ORACLE CORP	23,700	53.83	1,275,771.00	
	ALIGN TECHNOLOGY INC	3,050	285.25	870,012.50	
	PEPSICO INC	17,100	122.17	2,089,107.00	
	PFIZER INC	61,300	42.84	2,626,092.00	
	US BANCORP	38,770	49.22	1,908,259.40	
	ROPER TECHNOLOGIES INC	7,065	343.01	2,423,365.65	
	SCHLUMBERGER LTD	18,100	45.58	824,998.00	
	SCHWAB (CHARLES) CORP	39,645	44.45	1,762,220.25	
	PRUDENTIAL FINANCIAL INC	14,350	97.26	1,395,681.00	
	STARBUCKS CORP	11,870	75.12	891,674.40	
	TEXAS INSTRUMENTS INC	14,415	113.94	1,642,445.10	
	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	8,800	277.80	2,444,640.00	
	UNION PACIFIC CORP	17,000	166.09	2,823,530.00	
	UNITED TECHNOLOGIES CORP	14,195	132.25	1,877,288.75	
	UNITEDHEALTH GROUP INC	13,200	248.79	3,284,028.00	

	WALMART INC	12,900	98.69	1,273,101.00	
	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	11,620	85.84	997,460.80	
	VISA INC-CLASS A SHARES	25,900	157.49	4,078,991.00	
	ACCENTURE PLC-CL A	12,950	177.73	2,301,603.50	
	SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	42,145	63.87	2,691,801.15	
	FACEBOOK INC-A	14,185	177.58	2,518,972.30	
	EATON CORP PLC	14,400	82.35	1,185,840.00	
	ABBVIE INC	16,900	82.69	1,397,461.00	
	BOOKING HOLDINGS INC	1,040	1,794.47	1,866,248.80	
	WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	19,100	54.50	1,040,950.00	
	ALLERGAN PLC	3,550	147.44	523,412.00	
	S&P GLOBAL INC	9,250	214.81	1,986,992.50	
	ALPHABET INC-CL A	4,090	1,202.69	4,919,002.10	
小計		983,055		111,163,380.20	
				(12,361,367,878)	
カナダドル	BANK OF NOVA SCOTIA	26,000	71.05	1,847,300.00	
	SUNCOR ENERGY INC	56,415	44.15	2,490,722.25	
小計		82,415		4,338,022.25	
				(361,791,055)	
オーストラリアドル	RIO TINTO LTD	29,355	101.58	2,981,880.90	
	SUNCORP GROUP LTD	69,693	13.32	928,310.76	
	BRAMBLES LTD	125,650	11.74	1,475,131.00	
小計		224,698		5,385,322.66	
				(426,571,407)	
イギリスポンド	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	16,240	31.10	505,064.00	
	ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	52,311	25.025	1,309,082.77	
	INMARSAT PLC	122,697	5.418	664,772.34	
	WHITBREAD PLC	12,983	50.00	649,150.00	
	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	18,872	64.08	1,209,317.76	
	COMPASS GROUP PLC	82,439	17.93	1,478,131.27	
	JOHNSON MATTHEY PLC	27,063	33.09	895,514.67	
小計		332,605		6,711,032.81	
				(973,770,860)	
スイスフラン	NOVARTIS AG-REG	5,895	84.81	499,954.95	
	NESTLE SA-REG	28,271	96.62	2,731,544.02	
	PARTNERS GROUP HOLDING AG	2,070	744.60	1,541,322.00	
	CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	14,592	70.40	1,027,276.80	
	ALCON INC	1,179	58.05	68,440.95	
小計		52,007		5,868,538.72	
				(652,522,820)	
香港ドル	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	13,500	282.40	3,812,400.00	
	AIA GROUP LTD	238,055	79.70	18,972,983.50	

	TENCENT HOLDINGS LTD	22,305	383.60	8,556,198.00	
小計		273,860		31,341,581.50	
				(444,423,625)	
スウェーデンクローナ	HEXAGON AB-B SHS	21,930	502.60	11,022,018.00	
	ATLAS COPCO AB-A SHS	31,817	268.60	8,546,046.20	
	EPIROC AB-A	57,396	97.18	5,577,743.28	
小計		111,143		25,145,807.48	
				(302,001,147)	
ユーロ	ADIDAS AG	8,376	224.15	1,877,480.40	
	DEUTSCHE POST AG-REG	20,600	29.86	615,116.00	
	SAP SE	5,302	98.38	521,610.76	
	BAYER AG-REG	6,376	60.92	388,425.92	
	BASF SE	13,214	68.71	907,933.94	
	PORSCHE AUTOMOBIL HLDG-PFD	7,235	58.72	424,839.20	
	WIRECARD AG	7,059	107.20	756,724.80	
	AROWNTOWN SA	103,867	7.114	738,909.83	
	BANCA GENERALI SPA	35,709	23.66	844,874.94	
	INGENICO GROUP	7,882	65.02	512,487.64	
	PERNOD-RICARD SA	6,940	159.85	1,109,359.00	
	SOCIETE GENERALE	17,519	26.595	465,917.80	
	AXA SA	58,854	23.16	1,363,058.64	
	ORPEA	12,438	107.00	1,330,866.00	
	TOTAL SA	28,499	50.23	1,431,504.77	
	KONINKLIJKE DSM NV	23,581	101.15	2,385,218.15	
	ASML HOLDING NV	7,520	179.20	1,347,584.00	
	RED ELECTRICA CORPORACION SA	31,746	18.815	597,300.99	
	UCB SA	9,537	77.94	743,313.78	
	SMURFIT KAPPA GROUP PLC	56,607	26.40	1,494,424.80	
小計		468,861		19,856,951.36	
				(2,486,090,310)	
合計				18,008,539,102	
				(18,008,539,102)	

(注1) 通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2) 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(注3) 通貨の表示は、外貨についてはその通貨の単位、邦貨については円単位で表示しております。

(注4) 有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式時価比率	合計額に対する比率
米ドル	株式55銘柄	66.7%	67.8%
カナダドル	株式 2 銘柄	2.0%	2.0%
オーストラリアドル	株式 3 銘柄	2.3%	2.3%
イギリスポンド	株式 7 銘柄	5.3%	5.4%
スイスフラン	株式 5 銘柄	3.5%	3.6%
香港ドル	株式 3 銘柄	2.4%	2.4%
スウェーデンクローナ	株式 3 銘柄	1.6%	1.7%
ユーロ	株式20銘柄	13.4%	13.6%

(2) 株式以外の有価証券

(2019年4月10日現在)

種類	銘柄	口数(口)	評価額		備考
			単価	金額	
投資証券					
米ドル	CROWN CASTLE INTL CORP	15,645	129.83	2,031,190.35	
小計		15,645		2,031,190.35	
				(225,868,366)	
投資証券計				225,868,366	
				(225,868,366)	
合計				225,868,366	
				(225,868,366)	

(注1) 通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2) 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(注3) 通貨の表示は、外貨についてはその通貨の単位、邦貨については円単位で表示しております。

(注4) 有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入時価比率	合計額に対する比率
米ドル	投資証券 1 銘柄	1.2%	1.2%

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

（参考）

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年4月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
預金	8,878
金銭信託	157,181,964
国債証券	22,405,961,498
地方債証券	619,417,998
特殊債券	857,193,654
社債券	442,992,822
未収利息	100,387,399
前払費用	122,462,381
流動資産合計	24,705,606,594
資産合計	24,705,606,594
負債の部	
流動負債	
未払解約金	580,000
その他未払費用	24,218
流動負債合計	604,218
負債合計	604,218
純資産の部	
元本等	
元本	10,824,900,702
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	13,880,101,674
元本等合計	24,705,002,376
純資産合計	24,705,002,376
負債純資産合計	24,705,606,594

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 個別法に基づき、計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p> <p>なお、外貨建資産等の会計処理は「投資信託財産計算規則」第60条及び第61条に基づいております。</p>
3. 費用・収益の計上基準	<p>有価証券売買等損益及び為替予約による為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>
4. その他	<p>貸借対照表は、ファンドの計算期間末の2019年4月10日現在であります。</p> <p>なお、当親投資信託の計算期間は、2018年4月11日から2019年4月10日までとなっております。</p>

(その他の注記)

(2019年4月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間(自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)の元本状況	
期首(2018年4月11日)の元本額	10,613,867,573円
対象期間中の追加設定元本額	2,366,635,451円
対象期間中の一部解約元本額	2,155,602,322円
2019年4月10日現在の元本額の内訳	
明治安田先進国コアファンド(年1回決算型)	11,589,115円
明治安田DC先進国コアファンド	9,820,934円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定コース)	28,522,628円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定成長コース)	30,883,487円
ノーロード明治安田5資産バランス(積極コース)	22,844,643円
明治安田DCハートフルライフ(プラン70)	99,787,852円
明治安田グローバルバランスオープン	8,666,839円
明治安田DCグローバルバランスオープン	104,750,230円
明治安田外国債券オープン	272,340,446円
明治安田DCハートフルライフ(プラン30)	85,493,928円
明治安田DCハートフルライフ(プラン50)	141,111,784円
明治安田DC外国債券オープン	3,222,525,840円
明治安田外国債券オープン(毎月分配型)	4,605,195,470円
グローバル・インカム・プラス(毎月分配型)	469,534,092円
明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)	1,669,122円
明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)	1,202,902円
明治安田VA外国債券オープン(適格機関投資家私募)	8,617,296円
明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPファンド(適格機関投資家私募)	1,700,344,094円
計	10,824,900,702円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.2822円
(10,000口当たり純資産額)	(22,822円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式（2019年4月10日現在）

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(2019年4月10日現在)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券				
米ドル	US TREASURY N/B 1.875%	1,410,000	1,400,636.72	
	US TREASURY N/B 1.875%	2,620,000	2,602,601.57	
	US TREASURY N/B 1.875%	10,700,000	10,628,945.36	
	US TREASURY N/B 2.0%	6,820,000	6,775,776.59	
	US TREASURY N/B 2.375%	12,520,000	12,545,431.25	
	US TREASURY N/B 2%	5,260,000	5,179,456.25	
	US TREASURY N/B 2%	910,000	896,065.62	
	US TREASURY N/B 1.625%	850,000	808,097.66	
	US TREASURY N/B 1.625%	560,000	532,393.75	
	US TREASURY N/B 2.875%	13,000,000	13,413,359.44	
	US TREASURY N/B 2.25%	9,090,000	8,945,838.32	
	US TREASURY N/B 4.75%	5,335,000	7,041,783.22	
	US TREASURY N/B 2.75%	240,000	235,293.75	
	US TREASURY N/B 2.75%	1,950,000	1,911,761.72	
	US TREASURY N/B 2.75%	1,410,000	1,382,350.78	
	US TREASURY N/B 2.75%	940,000	921,567.19	
	US TREASURY N/B 3.75%	760,000	877,265.62	
	US TREASURY N/B 3.75%	1,850,000	2,135,449.22	
	US TREASURY N/B 3.75%	8,140,000	9,395,976.60	
小計		84,365,000	87,630,050.63	
			(9,744,461,630)	
カナダドル	CANADA-GOV'T 1.0%	1,640,000	1,552,194.40	
	CANADA-GOV'T 1.0%	130,000	123,039.80	
	CANADA-GOV'T 1.0%	900,000	851,814.00	
	CANADA-GOV'T 1.0%	2,130,000	2,015,959.80	
小計		4,800,000	4,543,008.00	
			(378,886,867)	
オーストラリアドル	AUSTRALIAN GOVT. 3.25%	220,000	252,824.00	
	AUSTRALIAN GOVT. 3.25%	880,000	1,011,296.00	
	AUSTRALIAN GOVT. 3.25%	760,000	873,392.00	
小計		1,860,000	2,137,512.00	
			(169,312,325)	
イギリスポンド	UK TSY GILT 1%	220,000	221,716.00	
	UK TSY GILT 1%	2,580,000	2,600,124.00	
	TREASURY 4.25%	2,200,000	2,980,890.00	
	TREASURY 4.5%	2,110,000	3,008,754.50	
	TREASURY 3.5%	1,890,000	2,624,359.50	

小計		9,000,000	11,435,844.00	
			(1,659,340,964)	
マレーシアリングット	MALAYSIA GOVT 3.659%	2,400,000	2,408,997.60	
	MALAYSIA GOVT 3.844%	1,960,000	1,898,079.68	
小計		4,360,000	4,307,077.28	
			(116,894,077)	
スウェーデンクローナ	SWEDISH GOVRNMNT 1.5%	1,070,000	1,155,236.20	
	SWEDISH GOVRNMNT 1.5%	1,110,000	1,198,422.60	
	SWEDISH GOVRNMNT 1.5%	380,000	410,270.80	
	SWEDISH GOVRNMNT 1.5%	13,720,000	14,812,935.20	
小計		16,280,000	17,576,864.80	
			(211,098,146)	
ノルウェークローネ	NORWEGIAN GOV'T 1.75%	850,000	858,160.00	
	NORWEGIAN GOV'T 1.75%	4,750,000	4,795,600.00	
	NORWEGIAN GOV'T 3.75%	8,930,000	9,381,947.30	
	NORWEGIAN GOV'T 3.75%	9,150,000	9,613,081.50	
	NORWEGIAN GOV'T 3.75%	6,220,000	6,534,794.20	
	NORWEGIAN GOV'T 3.75%	1,420,000	1,491,866.20	
小計		31,320,000	32,675,449.20	
			(424,454,085)	
メキシコペソ	MEXICAN BONOS 6.5%	18,850,000	18,167,630.00	
	MEXICAN BONOS 5.75%	8,190,000	7,247,297.42	
	MEXICAN BONOS 8.5%	8,590,000	8,664,733.00	
小計		35,630,000	34,079,660.42	
			(200,047,606)	
ポーランドズロチ	POLAND GOVT BOND 4%	3,970,000	4,288,394.00	
	POLAND GOVT BOND 4%	310,000	334,862.00	
	POLAND GOVT BOND 4%	310,000	334,862.00	
小計		4,590,000	4,958,118.00	
			(144,826,626)	
南アフリカランド	REP SOUTH AFRICA 7.25%	9,900,000	9,925,484.58	
	REP SOUTH AFRICA 7%	7,950,000	6,705,030.00	
小計		17,850,000	16,630,514.58	
			(131,214,760)	
ユーロ	DEUTSCHLAND REP 1.75%	3,110,000	3,445,973.30	
	DEUTSCHLAND REP 4.25%	3,020,000	5,267,816.20	
	DEUTSCHLAND REP 2.5%	810,000	1,199,205.00	
	DEUTSCHLAND REP 2.5%	210,000	310,905.00	
	BTPS 5.5%	270,000	310,176.00	
	BTPS 5.5%	2,830,000	3,251,104.00	

	BTPS 5.5%	140,000	160,832.00	
	BTPS 4.5%	6,620,000	7,508,404.00	
	BTPS 5%	640,000	800,128.00	
	BTPS 5%	5,050,000	6,313,510.00	
	FRANCE O.A.T. 3%	9,600,000	10,539,840.00	
	FRANCE O.A.T. 0.5%	830,000	856,145.00	
	FRANCE O.A.T. 0.5%	930,000	959,295.00	
	FRANCE O.A.T. 0.5%	2,290,000	2,362,135.00	
	FRANCE O.A.T. 6%	1,310,000	1,834,131.00	
	FRANCE O.A.T. 1.25%	1,110,000	1,187,811.00	
	FRANCE O.A.T. 2%	420,000	487,578.00	
	FRANCE O.A.T. 2%	2,090,000	2,426,281.00	
	FRANCE O.A.T. 2%	180,000	208,962.00	
	SPANISH GOV'T 4.8%	3,840,000	4,693,248.00	
	SPANISH GOV'T 3.8%	330,000	389,416.50	
	SPANISH GOV'T 3.8%	1,710,000	2,017,885.50	
	SPANISH GOV'T 3.8%	130,000	153,406.50	
	SPANISH GOV'T 3.8%	330,000	389,416.50	
	SPANISH GOV'T 3.8%	1,700,000	2,006,085.00	
	SPANISH GOV'T 3.8%	400,000	472,020.00	
	SPANISH GOV'T 3.8%	260,000	306,813.00	
	SPANISH GOV'T 4.7%	2,590,000	3,876,453.00	
	BELGIAN 0.8%	1,590,000	1,672,521.00	
	BELGIAN 0320 4.25%	2,180,000	3,455,082.00	
	IRISH GOVT 5.4%	1,560,000	2,053,272.00	
	IRISH GOVT 1.7%	1,690,000	1,837,368.00	
	REP OF POLAND 3.375%	800,000	932,280.00	
小計		60,570,000	73,685,498.50	
			(9,225,424,412)	
国債証券計			22,405,961,498	
			(22,405,961,498)	
地方債証券				
米ドル	ONTARIO PROVINCE 4%	3,300,000	3,313,794.00	
小計		3,300,000	3,313,794.00	
			(368,493,892)	
カナダドル	ONTARIO PROVINCE 4%	230,000	239,993.50	
	ONTARIO PROVINCE 4%	860,000	897,367.00	
	BRIT COLUMBIA 5.7%	130,000	168,480.00	
小計		1,220,000	1,305,840.50	
			(108,907,097)	
オーストラリアドル	ONTARIO PROVINCE 3.1%	1,720,000	1,792,917.68	
小計		1,720,000	1,792,917.68	
			(142,017,009)	

地方債証券計			619,417,998	
			(619,417,998)	
特殊債券				
米ドル	ASIAN DEV BANK 1%	7,000,000	6,946,100.00	
小計		7,000,000	6,946,100.00	
			(772,406,320)	
オーストラリアドル	QUEENSLAND TREAS 5.5%	400,000	432,760.00	
	QUEENSLAND TREAS 4.25%	580,000	637,652.00	
小計		980,000	1,070,412.00	
			(84,787,334)	
特殊債券計			857,193,654	
			(857,193,654)	
社債券				
米ドル	DEXIA CRED LOCAL 2.25%	4,000,000	3,983,748.40	
小計		4,000,000	3,983,748.40	
			(442,992,822)	
社債券計			442,992,822	
			(442,992,822)	
合計			24,325,565,972	
			(24,325,565,972)	

(注1) 通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2) 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(注3) 通貨の表示は、外貨についてはその通貨の単位、邦貨については円単位で表示しております。

(注4) 有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券時価比率	合計額に対する比率
米ドル	国債証券10銘柄	39.5%	40.1%
	地方債証券1銘柄	1.5%	1.5%
	特殊債証券1銘柄	3.1%	3.2%
	社債証券1銘柄	1.8%	1.8%
カナダドル	国債証券1銘柄	1.5%	1.6%
	地方債証券2銘柄	0.4%	0.4%
オーストラリアドル	国債証券1銘柄	0.7%	0.7%
	地方債証券1銘柄	0.6%	0.6%
	特殊債証券2銘柄	0.4%	0.4%
イギリスポンド	国債証券4銘柄	6.7%	6.8%
マレーシアリングgit	国債証券2銘柄	0.5%	0.5%
スウェーデンクローナ	国債証券1銘柄	0.9%	0.9%
ノルウェークローネ	国債証券2銘柄	1.7%	1.7%
メキシコペソ	国債証券3銘柄	0.8%	0.8%
ポーランドズロチ	国債証券1銘柄	0.6%	0.6%
南アフリカランド	国債証券2銘柄	0.5%	0.5%
ユーロ	国債証券19銘柄	37.3%	37.9%

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

【中間財務諸表】

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第19期中間計算期間（2019年4月11日から2019年10月10日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

【明治安田グローバルバランスオープン】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第18期計算期間末 (2019年4月10日現在)	第19期中間計算期間末 (2019年10月10日現在)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	2,423,880	2,147,511
親投資信託受益証券	176,172,230	165,828,240
未収入金	-	288,000
流動資産合計	178,596,110	168,263,751
資産合計	178,596,110	168,263,751
負債の部		
流動負債		
未払解約金	9,880	288,273
未払受託者報酬	79,358	73,669
未払委託者報酬	1,408,594	1,307,637
その他未払費用	5,161	4,761
流動負債合計	1,502,993	1,674,340
負債合計	1,502,993	1,674,340
純資産の部		
元本等		
元本	141,312,159	133,056,484
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	35,780,958	33,532,927
(分配準備積立金)	43,200,033	39,723,495
元本等合計	177,093,117	166,589,411
純資産合計	177,093,117	166,589,411
負債純資産合計	178,596,110	168,263,751

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第18期中間計算期間 (自 2018年4月11日 至 2018年10月10日)	第19期中間計算期間 (自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)
営業収益		
有価証券売買等損益	6,938,430	1,075,110
営業収益合計	6,938,430	1,075,110
営業費用		
受託者報酬	90,902	73,669
委託者報酬	1,613,539	1,307,637
その他費用	6,566	5,280
営業費用合計	1,711,007	1,386,586
営業利益又は営業損失()	5,227,423	311,476
経常利益又は経常損失()	5,227,423	311,476
中間純利益又は中間純損失()	5,227,423	311,476
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	324,120	160,751
期首剰余金又は期首欠損金()	46,860,684	35,780,958
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,667,681	810,064
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,667,681	810,064
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,767,354	2,907,370
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,767,354	2,907,370
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	50,664,314	33,532,927

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	当ファンドの計算期間は、2019年4月11日から2020年4月10日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、2019年4月11日から2019年10月10日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

第18期計算期間末 (2019年4月10日現在)	第19期中間計算期間末 (2019年10月10日現在)
1. 計算期間の末日における受益権の総数 141,312,159口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 133,056,484口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.2532円 (10,000口当たり純資産額) (12,532円)	2. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.2520円 (10,000口当たり純資産額) (12,520円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第18期中間計算期間（自 2018年4月11日 至 2018年10月10日）
該当事項はございません。

第19期中間計算期間（自 2019年4月11日 至 2019年10月10日）
該当事項はございません。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の時価等に関する事項

	第18期計算期間 (自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)	第19期中間計算期間 (自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	親投資信託受益証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	親投資信託受益証券 「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(重要な後発事象に関する注記)

第18期計算期間 (自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)	第19期中間計算期間 (自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)
-	委託会社は、2019年10月15日の経営会議において、信託約款第48条の規定に基づき、繰上償還の手続きを進めることを決定いたしました。今後、受益者による異議申立期間を経て、繰上償還の可否が決定されます。

(その他の注記)

1. 元本の移動

	第18期計算期間 (自 2018年4月11日 至 2019年4月10日)	第19期中間計算期間 (自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)
期首元本額	157,692,170円	141,312,159円
期中追加設定元本額	8,913,329円	3,339,150円
期中一部解約元本額	25,293,340円	11,594,825円

2. デリバティブ取引関係

第18期計算期間末(2019年4月10日現在)

該当事項はございません。

第19期中間計算期間末(2019年10月10日現在)

該当事項はございません。

（参考）

当ファンドは「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド、明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

同親投資信託の状況は次の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	(2019年10月10日現在)
科目	金額(円)
資産の部	
流動資産	
金銭信託	22,058,295
株式	5,511,850,600
未収配当金	48,043,350
流動資産合計	5,581,952,245
資産合計	5,581,952,245
負債の部	
流動負債	
未払解約金	1,795,000
その他未払費用	9,116
流動負債合計	1,804,116
負債合計	1,804,116
純資産の部	
元本等	
元本	4,646,851,586
剰余金	
剰余金又は欠損金()	933,296,543
元本等合計	5,580,148,129
純資産合計	5,580,148,129
負債純資産合計	5,581,952,245

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	貸借対照表は、ファンドの中間計算期間末の2019年10月10日現在であります。 なお、当親投資信託の計算期間は、当期末が休日のため、2019年4月19日から2020年4月20日までとなっております。

(その他の注記)

(2019年10月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間（自 2019年4月11日 至 2019年10月10日）の元本状況	
期首（2019年4月11日）の元本額	4,689,879,429円
対象期間中の追加設定元本額	323,343,135円
対象期間中の一部解約元本額	366,370,978円
2019年10月10日現在の元本額の内訳	
ノーロード明治安田5資産バランス（安定コース）	27,669,489円
ノーロード明治安田5資産バランス（安定成長コース）	60,366,536円
ノーロード明治安田5資産バランス（積極コース）	90,769,146円
ノーロード明治安田日本株式アクティブ	268,612,564円
明治安田日本株式リサーチオープン	247,553,041円
明治安田DC日本株式リサーチオープン	1,447,538,928円
明治安田DCハートフルライフ（プラン70）	780,220,829円
明治安田グローバルバランスオープン	40,890,642円
明治安田DCグローバルバランスオープン	566,564,982円
明治安田DCハートフルライフ（プラン30）	303,742,643円
明治安田DCハートフルライフ（プラン50）	754,316,780円
明治安田VA日本株式オープン（適格機関投資家私募）	45,711,103円
明治安田VAハートフルライフ30（適格機関投資家私募）	5,493,065円
明治安田VAハートフルライフ50（適格機関投資家私募）	7,401,838円
計	4,646,851,586円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.2008円
(10,000口当たり純資産額)	(12,008円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（参考）

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年10月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
金銭信託	152,223,409
株式	4,113,445,900
未収配当金	21,960,525
流動資産合計	4,287,629,834
資産合計	4,287,629,834
負債の部	
流動負債	
未払解約金	1,789,000
その他未払費用	18,104
流動負債合計	1,807,104
負債合計	1,807,104
純資産の部	
元本等	
元本	1,615,008,014
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	2,670,814,716
元本等合計	4,285,822,730
純資産合計	4,285,822,730
負債純資産合計	4,287,629,834

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	貸借対照表は、ファンドの中間計算期間末の2019年10月10日現在であります。 なお、当親投資信託の計算期間は、当期末が休日のため、2019年4月19日から2020年4月20日までとなっております。

(その他の注記)

(2019年10月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間（自 2019年4月11日 至 2019年10月10日）の元本状況	
期首（2019年4月11日）の元本額	1,637,599,626円
対象期間中の追加設定元本額	186,689,092円
対象期間中の一部解約元本額	209,280,704円
2019年10月10日現在の元本額の内訳	
明治安田DC中小型株式オープン	862,034,010円
明治安田日本中小型成長株式ファンド	565,079,050円
明治安田日本株式リサーチオープン	10,695,547円
明治安田DC日本株式リサーチオープン	64,508,569円
明治安田DCハートフルライフ（プラン70）	34,787,223円
明治安田グローバルバランスオープン	1,889,406円
明治安田DCグローバルバランスオープン	26,178,067円
明治安田DCハートフルライフ（プラン30）	13,519,067円
明治安田DCハートフルライフ（プラン50）	33,720,180円
明治安田VA日本株式オープン（適格機関投資家私募）	2,033,135円
明治安田VAハートフルライフ30（適格機関投資家私募）	235,168円
明治安田VAハートフルライフ50（適格機関投資家私募）	328,592円
計	1,615,008,014円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.6537円
（10,000口当たり純資産額）	(26,537円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(参考)

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド

(1) 貸借対照表

	(2019年10月10日現在)
科目	金額(円)
資産の部	
流動資産	
金銭信託	1,021,374,586
国債証券	17,684,829,200
地方債証券	199,070,000
特殊債券	14,547,140
社債券	20,558,610,300
未収入金	2,933,706,500
未収利息	56,121,001
前払費用	2,233,734
流動資産合計	42,470,492,461
資産合計	42,470,492,461
負債の部	
流動負債	
未払金	3,122,075,100
未払解約金	3,209,000
その他未払費用	102,313
流動負債合計	3,125,386,413
負債合計	3,125,386,413
純資産の部	
元本等	
元本	26,386,755,400
剰余金	
剰余金又は欠損金()	12,958,350,648
元本等合計	39,345,106,048
純資産合計	39,345,106,048
負債純資産合計	42,470,492,461

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他	貸借対照表は、ファンドの中間計算期間末の2019年10月10日現在であります。 なお、当親投資信託の計算期間は、2019年4月11日から2020年4月10日までとなっております。

(その他の注記)

(2019年10月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間(自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)の元本状況	
期首(2019年4月11日)の元本額	23,820,445,073円
対象期間中の追加設定元本額	5,110,375,483円
対象期間中の一部解約元本額	2,544,065,156円
2019年10月10日現在の元本額の内訳	
明治安田先進国コアファンド(年1回決算型)	34,219,814円
明治安田DC先進国コアファンド	69,543,704円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定コース)	111,093,299円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定成長コース)	72,176,396円
ノーロード明治安田5資産バランス(積極コース)	35,530,254円
明治安田日本債券オープン(年1回決算型)	110,162,939円
明治安田DCハートフルライフ(プラン70)	296,712,558円
明治安田グローバルバランスオープン	34,517,038円
明治安田DCグローバルバランスオープン	478,231,850円
明治安田日本債券オープン(毎月決算型)	4,107,459,985円
明治安田DCハートフルライフ(プラン30)	783,446,858円
明治安田DCハートフルライフ(プラン50)	867,730,818円
明治安田DC日本債券オープン	9,791,071,981円
明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)	13,887,834円
明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)	8,624,599円
明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPF ファンド(適格機関投資家私募)	9,572,345,473円
計	26,386,755,400円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.4911円
(10,000口当たり純資産額)	(14,911円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（参考）

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年10月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
預金	130,205,884
金銭信託	69,957,970
株式	14,625,111,108
投資証券	320,206,481
未収入金	63,150,959
未収配当金	14,858,659
流動資産合計	15,223,491,061
資産合計	15,223,491,061
負債の部	
流動負債	
未払金	59,327,734
未払解約金	1,647,000
その他未払費用	26,652
流動負債合計	61,001,386
負債合計	61,001,386
純資産の部	
元本等	
元本	6,175,462,719
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	8,987,026,956
元本等合計	15,162,489,675
純資産合計	15,162,489,675
負債純資産合計	15,223,491,061

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、金融商品取引業者等から提示される気配相場、または運用会社等が公表する基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>(3) 為替予約取引 個別法に基づき、計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p> <p>なお、外貨建資産等の会計処理は「投資信託財産計算規則」第60条及び第61条に基づいております。</p>
3. 費用・収益の計上基準	<p>(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、株式及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額、未だ確定していない場合には入金時に計上しております。</p> <p>(2) 有価証券売買等損益及び為替予約による為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>
4. その他	<p>貸借対照表は、ファンドの中間計算期間末の2019年10月10日現在であります。</p> <p>なお、当親投資信託の計算期間は、2019年4月11日から2020年4月10日までとなっております。</p>

(その他の注記)

(2019年10月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間(自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)の元本状況	
期首(2019年4月11日)の元本額	7,415,735,806円
対象期間中の追加設定元本額	2,105,179,185円
対象期間中の一部解約元本額	3,345,452,272円
2019年10月10日現在の元本額の内訳	
明治安田先進国コアファンド(年1回決算型)	10,510,503円
明治安田DC先進国コアファンド	21,376,306円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定コース)	13,418,313円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定成長コース)	29,241,895円
ノーロード明治安田5資産バランス(積極コース)	29,170,646円
明治安田DCハートフルライフ(プラン70)	227,340,147円
明治安田グローバルバランスオープン	12,821,850円
明治安田DCグローバルバランスオープン	177,664,185円
明治安田DC外国株式リサーチオープン	3,830,324,023円
明治安田DCハートフルライフ(プラン30)	79,497,276円
明治安田DCハートフルライフ(プラン50)	260,680,232円
明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)	1,391,794円
明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)	2,673,434円
明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPファンド(適格機関投資家私募)	1,479,352,115円
計	6,175,462,719円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.4553円
(10,000口当たり純資産額)	(24,553円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（参考）

以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

（１）貸借対照表

	（2019年10月10日現在）
科目	金額（円）
資産の部	
流動資産	
預金	1,851,010
金銭信託	104,124,957
国債証券	25,209,951,638
地方債証券	136,572,729
社債券	429,816,068
未収利息	148,155,746
前払費用	25,120,587
流動資産合計	26,055,592,735
資産合計	26,055,592,735
負債の部	
流動負債	
未払解約金	2,233,000
その他未払費用	12,368
流動負債合計	2,245,368
負債合計	2,245,368
純資産の部	
元本等	
元本	11,225,315,504
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	14,828,031,863
元本等合計	26,053,347,367
純資産合計	26,053,347,367
負債純資産合計	26,055,592,735

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 個別法に基づき、計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p> <p>なお、外貨建資産等の会計処理は「投資信託財産計算規則」第60条及び第61条に基づいております。</p>
3. 費用・収益の計上基準	<p>有価証券売買等損益及び為替予約による為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>
4. その他	<p>貸借対照表は、ファンドの中間計算期間末の2019年10月10日現在であります。</p> <p>なお、当親投資信託の計算期間は、2019年4月11日から2020年4月10日までとなっております。</p>

(その他の注記)

(2019年10月10日現在)	
1. 元本の移動	
対象期間(自 2019年4月11日 至 2019年10月10日)の元本状況	
期首(2019年4月11日)の元本額	10,824,900,702円
対象期間中の追加設定元本額	1,038,042,530円
対象期間中の一部解約元本額	637,627,728円
2019年10月10日現在の元本額の内訳	
明治安田先進国コアファンド(年1回決算型)	14,841,276円
明治安田DC先進国コアファンド	30,159,429円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定コース)	28,899,021円
ノーロード明治安田5資産バランス(安定成長コース)	31,470,127円
ノーロード明治安田5資産バランス(積極コース)	23,642,333円
明治安田DCハートフルライフ(プラン70)	98,105,190円
明治安田グローバルバランスオープン	12,393,037円
明治安田DCグローバルバランスオープン	171,703,840円
明治安田外国債券オープン	264,796,198円
明治安田DCハートフルライフ(プラン30)	84,882,817円
明治安田DCハートフルライフ(プラン50)	141,475,448円
明治安田DC外国債券オープン	3,293,436,745円
明治安田外国債券オープン(毎月分配型)	4,249,861,534円
グローバル・インカム・プラス(毎月分配型)	423,740,541円
明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)	1,512,001円
明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)	1,401,640円
明治安田VA外国債券オープン(適格機関投資家私募)	7,681,113円
明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPファンド(適格機関投資家私募)	2,345,313,214円
計	11,225,315,504円
2. 対象期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.3209円
(10,000口当たり純資産額)	(23,209円)

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2【ファンドの現況】

(2019年10月31日現在)

【純資産額計算書】

資産総額	172,018,462 円
負債総額	1,572,833 円
純資産総額 (-)	170,445,629 円
発行済口数	132,437,159 口
1口当たり純資産額 (/)	1.2870 円
(1万口当たり純資産額)	(12,870 円)

(参考)

. 明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	5,959,534,190 円
負債総額	4,332,024 円
純資産総額 (-)	5,955,202,166 円
発行済口数	4,726,980,949 口
1口当たり純資産額 (/)	1.2598 円
(1万口当たり純資産額)	(12,598 円)

. 明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	4,455,948,476 円
負債総額	18,141,260 円
純資産総額 (-)	4,437,807,216 円
発行済口数	1,577,909,367 口
1口当たり純資産額 (/)	2.8125 円
(1万口当たり純資産額)	(28,125 円)

・明治安田日本債券ポートフォリオ・マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	40,839,132,143 円
負債総額	1,210,702,619 円
純資産総額（ - ）	39,628,429,524 円
発行済口数	26,681,177,889 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.4853 円
（1万口当たり純資産額）	（14,853 円）

・明治安田外国株式ポートフォリオ・マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	19,164,838,106 円
負債総額	1,459,524,309 円
純資産総額（ - ）	17,705,313,797 円
発行済口数	6,784,027,700 口
1口当たり純資産額（ / ）	2.6099 円
（1万口当たり純資産額）	（26,099 円）

・明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	26,973,732,322 円
負債総額	723,893,930 円
純資産総額（ - ）	26,249,838,392 円
発行済口数	11,179,179,875 口
1口当たり純資産額（ / ）	2.3481 円
（1万口当たり純資産額）	（23,481 円）

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換の事務等

該当事項はありません。

委託会社は、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

したがって、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

(2) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

(3) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

前項の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4) 受益権の譲渡制限および譲渡の対抗要件

譲渡制限はありません。ただし、受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(5) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6) 質権口記載又は記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

(7) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額

本書提出日現在の資本金の額： 10億円

会社が発行する株式総数： 33,220株

発行済株式総数： 18,887株

< 過去5年間における資本金の額の推移 >

該当事項はありません。

(2) 委託会社の機構

会社の意思決定機構

経営の意思決定機関として取締役会をおきます。取締役会は、法令、定款に定める事項ならびに本会社の業務執行に関する重要事項を決定するほか、執行役員を選任し、本会社の業務執行を委任します。執行役員は取締役会において決定された基本方針に則り、本会社の業務執行を行います。

投資運用の意思決定機構

1. 投資政策委員会にて、マクロ経済環境・市況環境に関する分析、資産配分・資産毎の運用戦略に関する検討を行います。
2. ファンドの運用担当者は、投資政策委員会における分析・検討等を踏まえて運用計画を策定し、運用計画に基づき、有価証券等の売買をトレーディング部門に指図します。
3. ファンドの運用の基本規程等の遵守状況の管理、運用資産のリスク管理は、運用部門から独立したコンプライアンス・リスク管理部、運用企画部が行います。
4. 投資管理委員会にて、ファンドの運用パフォーマンスの評価等を行い、これを運用部門にフィードバックすることにより、より精度の高い運用体制を維持するよう努めています。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）およびその受益権の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

2019年10月31日現在、委託会社が運用の指図を行っている証券投資信託は以下の通りです（ただし、親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額
追加型株式投資信託	148 本	1,738,326,621,776 円
単位型株式投資信託	6 本	20,697,680,231 円
合計	154 本	1,759,024,302,007 円

3【委託会社等の経理状況】

1．財務諸表の作成方法について

委託会社である明治安田アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	8,848,374	8,783,641
前払費用	120,943	166,084
未収委託者報酬	1,195,215	1,653,543
未収運用受託報酬	121,276	124,755
未収投資助言報酬	241,655	256,406
その他	171	186
流動資産合計	10,527,636	10,984,617
固定資産		
有形固定資産		
建物	¹ 183,994	¹ 167,904
器具備品	¹ 171,123	¹ 153,164
建設仮勘定	258	35,501
有形固定資産合計	355,375	356,569
無形固定資産		
ソフトウェア	72,467	60,361
電話加入権	6,662	6,662
その他	26	3
ソフトウェア仮勘定	-	13,000
無形固定資産合計	79,156	80,028
投資その他の資産		
投資有価証券	-	2,022
長期差入保証金	181,690	181,690
長期前払費用	5,381	4,920
前払年金費用	65,364	45,606
繰延税金資産	23,583	43,576
投資その他の資産合計	276,019	277,816
固定資産合計	710,552	714,413
資産合計	11,238,188	11,699,031

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	66,282	87,372
未払金	947,328	917,223
未払収益分配金	132	134
未払償還金	7,137	-
未払手数料	411,569	600,682
その他未払金	528,489	316,406
未払費用	34,681	40,858
未払法人税等	237,896	398,894
未払消費税等	59,288	93,070
賞与引当金	111,465	125,179
流動負債合計	1,456,943	1,662,600
固定負債		
資産除去債務	58,490	58,882
固定負債合計	58,490	58,882
負債合計	1,515,433	1,721,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	660,443	660,443
その他資本剰余金	2,854,339	2,854,339
資本剰余金合計	3,514,783	3,514,783
利益剰余金		
利益準備金	83,040	83,040
その他利益剰余金		
別途積立金	3,092,001	3,092,001
繰越利益剰余金	2,032,929	2,287,707
利益剰余金合計	5,207,971	5,462,748
株主資本合計	9,722,754	9,977,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	15
評価・換算差額等合計	-	15
純資産合計	9,722,754	9,977,548
負債・純資産合計	11,238,188	11,699,031

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	4,855,026	6,438,402
受入手数料	5,274	4,468
運用受託報酬	1,999,074	1,821,257
投資助言報酬	435,317	581,193
営業収益合計	7,294,693	8,845,322
営業費用		
支払手数料	1,675,008	2,241,473
広告宣伝費	70,117	43,065
公告費	-	375
調査費	1,378,602	1,580,451
調査費	574,087	584,064
委託調査費	804,514	996,386
委託計算費	341,672	365,866
営業雑経費	98,265	157,569
通信費	14,032	22,936
印刷費	70,234	118,976
協会費	8,466	9,325
諸会費	5,531	5,804
営業雑費	0	525
営業費用合計	3,563,665	4,388,800
一般管理費		
給料	1,504,298	1,657,528
役員報酬	64,993	76,585
給料・手当	1,163,033	1,269,478
賞与	276,272	311,465
賞与引当金繰入	111,465	125,179
法定福利費	229,143	251,898
福利厚生費	37,638	31,313
交際費	1,309	2,071
寄付金	200	200
旅費交通費	29,907	34,359
租税公課	61,257	71,711
不動産賃借料	157,238	202,713
退職給付費用	43,818	84,659
固定資産減価償却費	75,829	88,029
事務委託費	97,645	98,081
諸経費	78,926	99,121
一般管理費合計	2,428,681	2,746,868
営業利益	1,302,346	1,709,653

（単位：千円）

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業外収益		
受取利息	179	179
受取配当金	9	-
投資有価証券売却益	98	-
償還金等時効完成分	28	7,169
保険契約返戻金・配当金	¹ 1,164	¹ 1,332
為替差益	631	-
雑益	663	691
営業外収益合計	2,775	9,373
営業外費用		
為替差損	-	48
雑損失	663	1,547
時効成立後支払償還金	1,564	-
営業外費用合計	2,228	1,596
経常利益	1,302,892	1,717,430
特別損失		
固定資産除却損	² 10,559	-
移設関連費用	30,245	-
特別損失合計	40,805	-
税引前当期純利益	1,262,087	1,717,430
法人税、住民税及び事業税	372,601	548,652
法人税等調整額	44,522	19,999
法人税等合計	328,078	528,652
当期純利益	934,008	1,188,777

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783

	株主資本				
	利益準備金	利益剰余金			株主資本 合計
		その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	83,040	3,092,001	1,789,505	4,964,546	9,479,330
当期変動額					
剰余金の配当			690,584	690,584	690,584
当期純利益			934,008	934,008	934,008
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	243,424	243,424	243,424
当期末残高	83,040	3,092,001	2,032,929	5,207,971	9,722,754

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	36	36	9,479,367
当期変動額			
剰余金の配当			690,584
当期純利益			934,008
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	36	36	36
当期変動額合計	36	36	243,387
当期末残高	-	-	9,722,754

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783

	株主資本				
	利益準備金	利益剰余金			株主資本 合計
		その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	83,040	3,092,001	2,032,929	5,207,971	9,722,754
当期変動額					
剰余金の配当			933,999	933,999	933,999
当期純利益			1,188,777	1,188,777	1,188,777
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	254,777	254,777	254,777
当期末残高	83,040	3,092,001	2,287,707	5,462,748	9,977,532

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	-	-	9,722,754
当期変動額			
剰余金の配当			933,999
当期純利益			1,188,777
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	15	15	15
当期変動額合計	15	15	254,793
当期末残高	15	15	9,977,548

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法 その他有価証券 時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)
2. 固定資産の減価償却方法 (1) 有形固定資産 定額法 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 6年～18年 器具備品 3年～20年

<p>(2) 無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。</p>
<p>3. 引当金の計上基準 (1) 賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、当事業年度に見合う支給見込額に基づき計上しております。 (2) 退職給付引当金は、従業員に対する退職金の支払に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を、簡便法により計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の会計処理方法 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。</p>

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」57,561千円は「固定負債」の「繰延税金負債」33,978千円と相殺して、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」23,583千円として表示しており、変更前と比べ資産合計が33,978千円、負債合計が33,978千円減少しております。

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
建物	33,110千円	50,882千円
器具備品	233,830千円	283,070千円

(損益計算書関係)

1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
保険契約返戻金・配当金	1,164千円	1,332千円

2 前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

固定資産除却損の内容は、主に建物付属設備6,108千円、システム関係3,084千円、什器備品1,362千円であります。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式	18,887株	-	-	18,887株

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2017年6月28日 定時株主総会	普通株式	690,584,268円	36,564円00銭	2017年3月31日	2017年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	933,999,924円	49,452円00銭	2018年3月31日	2018年6月27日

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式	18,887株	-	-	18,887株

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	933,999,924円	49,452円00銭	2018年3月31日	2018年6月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,188,766,667円	62,941円00銭	2019年3月31日	2019年6月20日

(リース取引関係)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1年内	8,789	8,789
1年超	29,296	20,507
合計	38,085	29,296

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用について財務内容の健全性を損なうことのないよう、主に安全性の高い金融資産で運用しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びに金融商品にかかるリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬、未収運用受託報酬は、主に当社が運用指図を行う信託財産より支弁され、当社は当該信託財産の内容を把握しており、当該営業債権の回収にかかるリスクは僅少であります。また、営業債権である未収投資助言報酬は、顧客の信用リスクに晒されており、投資助言先ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、四半期ごとに回収可能性を把握する体制としております。差入保証金は、賃貸借契約先の森ビルに対する敷金であり、差入先の信用リスクに晒されており、差入先の信用リスクについては、資産の自己査定及び償却引当規程に従い、定期的に管理をしております。投資有価証券は全て事業推進目的で保有している証券投資信託であり、基準価格の変動リスクにさらされております。価格変動リスクについては、定期的に時価の把握を行い管理をしております。

営業債務である未払手数料、並びにその他未払金は、1年以内の支払期日です。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2018年3月31日）

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	8,848,374	8,848,374	-
(2) 未収委託者報酬	1,195,215	1,195,215	-
(3) 未収運用受託報酬	121,276	121,276	-
(4) 未収投資助言報酬	241,655	241,655	-
(5) 投資有価証券 其他有価証券	-	-	-
(6) 長期差入保証金	181,690	181,208	481
資産計	10,588,211	10,587,730	481
(1) 未払手数料	411,569	411,569	-
(2) その他未払金	528,489	528,489	-
負債計	940,058	940,058	-

当事業年度（2019年3月31日）

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	8,783,641	8,783,641	-
(2) 未収委託者報酬	1,653,543	1,653,543	-
(3) 未収運用受託報酬	124,755	124,755	-
(4) 未収投資助言報酬	256,406	256,406	-
(5) 投資有価証券 其他有価証券	2,022	2,022	-
(6) 長期差入保証金	181,690	184,263	2,572
資産計	11,002,059	11,004,632	2,572
(1) 未払手数料	600,682	600,682	-
(2) その他未払金	316,406	316,406	-
負債計	917,089	917,089	-

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資産

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬、(4) 未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6) 長期差入保証金

長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しております。

負債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（2018年3月31日）

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金・預金	8,848,087	-	-	-
未収委託者報酬	1,195,215	-	-	-
未収運用受託報酬	121,276	-	-	-
未収投資助言報酬	241,655	-	-	-
投資有価証券 其他有価証券のうち 満期のあるもの	-	-	-	-
長期差入保証金	-	-	181,690	-
合計	10,406,234	-	181,690	-

当事業年度（2019年3月31日）

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金・預金	8,783,536	-	-	-
未収委託者報酬	1,653,543	-	-	-
未収運用受託報酬	124,755	-	-	-
未収投資助言報酬	256,406	-	-	-
投資有価証券 その他有価証券のうち 満期のあるもの	-	1,004	-	-
長期差入保証金	-	-	181,690	-
合計	10,818,241	1,004	181,690	-

(有価証券関係)

1. その他有価証券

前事業年度（2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2019年3月31日）

区分	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が取得原 価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	2,022	2,000	22
小計	2,022	2,000	22
貸借対照表計上額が取得原 価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	-	-	-
小計	-	-	-
合計	2,022	2,000	22

2. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

区分	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他(投資信託)	1,198	98	-

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

3. 減損処理を行った有価証券

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を全く利用しておりませんので該当事項はありません。

(退職給付関係)

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を併用しております。

なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金（前払年金費用）及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、前払年金費用の期首残高と期末残高の調整表

前払年金費用の期首残高	48,679	千円
退職給付費用	43,818	"
退職給付の支払額	-	"
制度への拠出額	60,503	"
前払年金費用の期末残高	65,364	"

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	618,696	千円
年金資産	684,333	"
	65,637	"
非積立型制度の退職給付債務	273	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	65,364	"
前払年金費用	65,364	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	65,364	"

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	43,818	千円
----------------	--------	----

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を併用しております。

なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金（前払年金費用）及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、前払年金費用の期首残高と期末残高の調整表

前払年金費用の期首残高	65,364	千円
退職給付費用	84,659	"
退職給付の支払額	-	"
制度への拠出額	64,901	"
前払年金費用の期末残高	45,606	"

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	702,199	千円
年金資産	748,078	"
	45,879	"
非積立型制度の退職給付債務	273	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	45,606	"
前払年金費用	45,606	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	45,606	"

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	84,659	千円
----------------	--------	----

（ストック・オプション等関係）

該当事項はありません。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

	前事業年度 (2018年3月31日)		当事業年度 (2019年3月31日)	
繰延税金資産				
賞与引当金繰入限度超過額	34,130	千円	38,330	千円
未払事業税	16,621	"	24,142	"
資産除去債務	17,909	"	18,029	"
その他	8,629	"	9,379	"
繰延税金資産小計	77,291	"	89,882	"
評価性引当額	19,484	"	19,573	"
繰延税金資産合計	57,806	"	70,308	"
繰延税金負債				
その他有価証券評価差額金	-	"	7	"
資産除去費用	14,208	"	12,760	"
前払年金費用	20,014	"	13,964	"
繰延税金負債合計	34,222	"	26,732	"
繰延税金資産の純額	23,583	"	43,576	"

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 (2018年3月31日)		当事業年度 (2019年3月31日)	
法定実効税率	30.86	%	-	%
（調整）				
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.02	"	-	"
評価性引当額の増減	4.08	"	-	"
雇用拡大促進税制の特別控除	1.03	"	-	"
住民税均等割	0.18	"	-	"
その他	0.04	"	-	"
税効果会計適用後の法人税等の負担率	25.99	%	-	%

（注）当事業年度は、法定実効税率と税効果適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しています。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本社施設の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を主たる資産の取得から耐用年数満了時（15年）としており、割引率は0.027%～1.314%を適用しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
期首残高	28,843	千円	58,490	千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	29,266	"	-	"
時の経過による調整額	380	"	391	"
期末残高	58,490	千円	58,882	千円

（賃貸等不動産関係）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社の事業は、資産運用サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	投資信託 （運用業務）	投資信託 （販売業務）	投資顧問 （投資一任）	投資顧問 （投資助言）	合計
外部顧客への営業収益	4,855,026	5,274	1,999,074	435,317	7,294,693

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	投資信託 （運用業務）	投資信託 （販売業務）	投資顧問 （投資一任）	投資顧問 （投資助言）	合計
外部顧客への営業収益	6,438,402	4,468	1,821,257	581,193	8,845,322

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社の親会社及び法人主要株主等

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	260,000	生命保険業	(被所有) 直接 92.86	資産運用サービスの提供、当社投信商品の販売、及び役員の兼任	投資助言報酬	396,472	未収投資助言報酬	221,851
							支払手数料料	351,238	未払手数料料	114,770

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	260,000	生命保険業	(被所有) 直接 92.86	資産運用サービスの提供、当社投信商品の販売、及び役員の兼任	投資助言報酬	406,364	未収投資助言報酬	215,154
							支払手数料料	438,123	未払手数料料	126,032

取引条件ないし取引条件の決定方針等

投資助言報酬並びに支払手数料については、契約に基づき決定しております。

(注) 上記取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

明治安田生命保険相互会社(非上場)

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	514,785円55銭	528,275円96銭
1株当たり当期純利益金額	49,452円47銭	62,941円57銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1株当たり純資産額

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	9,722,754	9,977,548
普通株式に係る純資産額(千円)	9,722,754	9,977,548
差額の主な内訳	-	-
普通株式の発行済株式数(株)	18,887	18,887
普通株式の自己株式数(株)	-	-
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	18,887	18,887

1株当たり当期純利益金額

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(千円)	934,008	1,188,777
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-

普通株式に係る当期純利益(千円)	934,008	1,188,777
普通株式の期中平均株式数(株)	18,887	18,887

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

委託会社の最近中間会計期間における経理の状況

1. 中間財務諸表の作成方法について

委託会社である明治安田アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条・第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間会計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人の中間監査を受けております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

当中間会計期間末 (2019年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金・預金	7,729,565
未収委託者報酬	1,758,796
未収運用受託報酬	390,295
未収投資助言報酬	253,657
その他	127,600
流動資産合計	10,259,914
固定資産	
有形固定資産	
建物	¹ 158,972
器具備品	¹ 133,198
建設仮勘定	35,192
有形固定資産合計	327,363
無形固定資産	
ソフトウェア	61,559
電話加入権	6,662
ソフトウェア仮勘定	2,000
無形固定資産合計	70,222
投資その他の資産	
投資有価証券	2,119
長期差入保証金	181,690
長期前払費用	3,643
前払年金費用	46,390
繰延税金資産	44,014
投資その他の資産合計	277,857
固定資産合計	675,444
資産合計	10,935,359

当中間会計期間末 (2019年9月30日)	
負債の部	
流動負債	
未払手数料	626,857
未払法人税等	295,661
賞与引当金	134,535
その他	2,439,305
流動負債合計	1,496,359
固定負債	
資産除去債務	59,081
固定負債合計	59,081
負債合計	1,555,440
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000,000
資本剰余金	
資本準備金	660,443
その他資本剰余金	2,854,339
資本剰余金合計	3,514,783
利益剰余金	
利益準備金	83,040
その他利益剰余金	
別途積立金	3,092,001
繰越利益剰余金	1,690,010
利益剰余金合計	4,865,052
株主資本合計	9,379,835
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	82
評価・換算差額等合計	82
純資産合計	9,379,918
負債・純資産合計	10,935,359

中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
営業収益	
委託者報酬	3,479,392
受入手数料	955
運用受託報酬	916,539
投資助言報酬	275,231
営業収益合計	4,672,118
営業費用	
支払手数料	1,202,181
その他営業費用	1,140,807
営業費用合計	2,342,988
一般管理費	¹ 1,474,964
営業利益	854,165
営業外収益	² 2,196
営業外費用	³ 2,312
経常利益	854,048
特別利益	-
特別損失	-
税引前中間純利益	854,048
法人税、住民税及び事業税	263,446
法人税等調整額	467
法人税等合計	262,978
中間純利益	591,070

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783
当中間期変動額				
剰余金の配当				
中間純利益				
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	-	-	-	-
当中間期末残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783

	株主資本				
	利益準備金	利益剰余金			株主資本 合計
		その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	83,040	3,092,001	2,287,707	5,462,748	9,977,532
当中間期変動額					
剰余金の配当			1,188,766	1,188,766	1,188,766
中間純利益			591,070	591,070	591,070
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	-	-	597,696	597,696	597,696
当中間期末残高	83,040	3,092,001	1,690,010	4,865,052	9,379,835

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	15	15	9,977,548
当中間期変動額			
剰余金の配当			1,188,766
中間純利益			591,070
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	66	66	66
当中間期変動額合計	66	66	597,629
当中間期末残高	82	82	9,379,918

[注記事項]

(重要な会計方針)

当中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	
その他有価証券	
時価のあるもの	
中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）	
2. 固定資産の減価償却方法	
(1)有形固定資産	
定額法	
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。	
建物 6年～18年	
器具備品 3年～20年	
(2)無形固定資産	
定額法	
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。	
3. 引当金の計上基準	
(1)賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、当中間会計期間に見合う支給見込額に基づき計上しております。	
(2)退職給付引当金は、従業員に対する退職金の支払に備えるため、当中間会計期間末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を、簡便法により計上しております。	
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	
消費税等の会計処理方法	
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。	

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表関係)

当中間会計期間末 (2019年9月30日)	
1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。	
建物	59,813千円
器具備品	305,877千円
2 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。	

(中間損益計算書関係)

当中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	
1 当中間会計期間末の減価償却実施額は次のとおりであります。	
有形固定資産	31,738千円
無形固定資産	11,805千円
2 営業外収益のうち主なもの	
保険契約返戻金・配当金	1,389千円
3 営業外費用のうち主なもの	
時効成立後支払分配金	2,312千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)					
1. 発行済株式に関する事項					
株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末	
普通株式	18,887株	-	-	18,887株	
2. 自己株式に関する事項 該当事項はありません。					
3. 新株予約権等に関する事項 該当事項はありません。					
4. 配当に関する事項					
(1) 配当金支払額					
決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	1,188,766,667円	62,941円00銭	2019年3月31日	2019年6月20日
(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの 該当事項はありません。					

(リース取引関係)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
1年内	8,789
1年超	16,113
合計	24,902

(金融商品関係)

金融商品の時価等に関する事項

2019年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	7,729,565	7,729,565	-
(2)未収委託者報酬	1,758,796	1,758,796	-
(3)未収運用受託報酬	390,295	390,295	-
(4)未収投資助言報酬	253,657	253,657	-
(5)投資有価証券			
その他有価証券	2,119	2,119	-
(6)長期差入保証金	181,690	184,162	2,472
資産計	10,316,124	10,318,596	2,472
(1)未払手数料	626,857	626,857	-
負債計	626,857	626,857	-

(注1)金融商品の時価の算定方法

資産

(1)現金・預金、(2)未収委託者報酬、(3)未収運用受託報酬、(4)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5)投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6)長期差入保証金

長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しております。

負債

(1)未払手数料

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(有価証券関係)

1. その他有価証券

当中間会計期間末(2019年9月30日)

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	2,119	2,000	119
小計	2,119	2,000	119
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他(投資信託)	-	-	-
小計	-	-	-
合計	2,119	2,000	119

2. 当中間会計期間中に売却したその他有価証券

該当事項はありません。

3. 減損処理を行った有価証券

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの

当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減は次のとおりであります。

期首残高	58,882千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	-
時の経過による調整額	198千円
当中間会計期間末残高	<u>59,081千円</u>

（賃貸等不動産関係）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社の事業は、資産運用サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	投資信託 (運用業務)	投資信託 (販売業務)	投資顧問 (投資一任)	投資顧問 (投資助言)	合計
外部顧客への売上高	3,479,392	955	916,539	275,231	4,672,118

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

当中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	
1株当たり純資産額	496,633円57銭
1株当たり中間純利益金額	31,295円07銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
中間純利益金額(千円)	591,070
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益金額(千円)	591,070
普通株式の期中平均株式数(株)	18,887

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (2) 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (3) 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下（4）（5）において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。
- (4) 委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- (5) 上記（3）（4）に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

- (1) 定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要となります。

- (2) 訴訟事件その他の重要事項

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】**1【名称、資本金の額及び事業の内容】****(1) 受託会社**

(2019年3月末現在)

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

(2019年3月末現在)

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
株式会社SBI証券	48,323	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	7,495	
信金中央金庫	690,998	全国の信用金庫の中央金融機関として、信用金庫の余裕資金の効率運用と信用金庫間の資金の需給調整、信用金庫業界の信用力の維持向上および業務機能の保管を図っています。

信金中央金庫との間に取交わされた「証券投資信託受益証券の取次業務に関する基本契約書」に基づいて、取次登録金融機関（信用金庫）の本支店または出張所においても募集等の取次ぎを行います。信金中央金庫の資本金の額は「出資金」の額です。

2【関係業務の概要】**(1) 受託会社**

受託銀行として、ファンドの信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡、その他付随する業務等を行います。なお、受託会社は、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。

(2) 販売会社

ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、受益者に対する運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

3【資本関係】

(1) 受託会社

該当事項はありません。

(2) 販売会社

該当事項はありません。

〔参考情報：再信託受託会社の概要〕

名称、資本金の額及び事業の内容

(2019年3月末現在)

名称	資本金の額 (百万円)	事業の内容
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	10,000	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

関係業務の概要

受託会社との信託契約（再信託契約）に基づき、当ファンドの信託事務の一部（信託財産の管理）を委託され、その事務を行うことがあります。

資本関係

該当ありません。

第3【その他】

- (1) 目論見書の表紙等に委託会社のロゴ・マーク、図案、キャッチ・コピー、投資家あるいは受益者向けメッセージ等を採用し、ファンドの形態等の記載をすることがあります。
- (2) 交付目論見書の表紙に、以下の内容を記載することがあります。
 - ・ 金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書である旨
 - ・ 目論見書の使用開始日
 - ・ 委託会社の金融商品取引業者登録番号、設立年月日、資本金、委託会社の投資信託財産の合計純資産総額
 - ・ 詳細情報の入手方法
 - 委託会社のホームページアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含みます。）、電話番号および受付時間等
 - 請求目論見書の入手方法および投資信託約款（以下「約款」という。）が請求目論見書に掲載されている旨
 - ・ 届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。
 - 届出をした日および当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
 - 届出をした日、届出が効力を生じている旨および効力発生日
 - ・ 商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）に基づき事前に受益者の意向を確認する旨
 - ・ 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
 - ・ 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
 - ・ 「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
- (3) 届出書第一部「証券情報」、第二部「ファンド情報」の主たる内容を要約し、「1. ファンドの目的・特色」、「2. 投資リスク」、「4. 手続・手数料等」として、交付目論見書に記載します。
- (4) 交付目論見書に商品分類および属性区分の一覧表を掲載します。
- (5) 交付目論見書の「3. 運用実績」に委託会社のホームページアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含みます。）を掲載することがあります。またこれらのアドレスにアクセスすることにより最新の運用状況を入手できる旨を記載することがあります。
- (6) 請求目論見書に約款を掲載し、届出書第一部「証券情報」、第二部「ファンド情報」の詳細な内容については、当該約款を参照する旨を記載することで届出書の内容とすることがあります。
- (7) 届出書第一部「証券情報」、第二部「ファンド情報」の記載内容については、投資家の理解に資するため、当該内容を説明した図表等を付加し、交付目論見書に記載することがあります。
- (8) 目論見書は電子媒体等として使用されるほかインターネットなどに掲載される場合があります。
- (9) 投信評価機関、投信評価会社等からファンドに対するレーティングを取得し、当該レーティングを使用することがあります。
- (10) 目論見書の別称として、次を用いることがあります。
 - 「投資信託説明書（目論見書）」
 - 「投資信託説明書（交付目論見書）」
 - 「投資信託説明書（請求目論見書）」
- (11) 交付目論見書に金融商品取引法第37条の3の規定に基づく契約締結前書面に関する事項を記載することがあります。

独立監査人の監査報告書

2019年6月7日

明治安田アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 熊 木 幸 雄

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 蓑 輪 康 喜

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている明治安田アセットマネジメント株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第33期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、明治安田アセットマネジメント株式会社の2019年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2019年5月31日

明治安田アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重 俊寛指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福村 寛

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている明治安田グローバルバランスオープンの2018年4月11日から2019年4月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、明治安田グローバルバランスオープンの2019年4月10日現在の信託財産の状況及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

明治安田アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2019年11月8日

明治安田アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 熊木 幸雄

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 蓑輪 康喜

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている明治安田アセットマネジメント株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第34期事業年度の中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、明治安田アセットマネジメント株式会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2019年11月29日

明治安田アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重 俊寛 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福村 寛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている明治安田グローバルバランスオープン（2019年4月11日から2019年10月10日まで）の中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、明治安田グローバルバランスオープン（2019年10月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2019年4月11日から2019年10月10日まで））の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

強調事項

重要な後発事象に関する注記に記載されているとおり、委託会社は、2019年10月15日の経営会議において、信託約款第48条の規定に基づき、繰上償還の手続きを進めることを決定した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

明治安田アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

